

愛労連第74回定期大会

付属文書

2027 年度

■第1号決定 付属文書②

- ・愛労連 2026 年度活動日誌（2025 年 7 月 15 日～2026 年 7 月 12 日）
- ・愛労連 NEWS（NO.604 / 2025.7.24 ～ NO.730 / 2026.7.15）
- ・おもな新聞報道記事（2025 年 7 月 22 日～2026 年 7 月 5 日）

愛労連2026年度活動日誌（2025年7月15日～2026年7月12日）

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
A i 第 4 6 回事務局会議	7 月 1 5 日	西尾・竹内・佐賀・市川・小松・高田
A i 第 2 5 回幹事会	7 月 1 6 日	幹事 2 1、事務局 3
全労連幹事会	7 月 16-17日	竹内
秋のキャラバン実行委員会	7 月 1 7 日	小松
全国一般アクリル都労委結審期日	7 月 1 8 日	煤本
非正規センターオンライン学習会④	7 月 1 8 日	高田
大会資料セット作業	7 月 1 8 日	
憲法と平和を守る街宣 B	7 月 1 9 日	
消費者大会講座	7 月 2 0 日	高田
愛労連第 7 2 回定期大会	7 月 2 1 日	幹事 2 7、事務局 4
A i 第 1 回事務局会議	7 月 2 2 日	西尾・竹内・佐賀・小松・高田・市川・煤本
被爆 8 0 年あいち県民のつどい実行委員会	7 月 2 3 日	高田
A i 青年協幹事会	7 月 2 3 日	川崎・小松
JMITUオハラ労働委員会審問①	7 月 2 4 日	西尾・竹内・北村・小松・煤本・住田・市川
消費者大会実行委員会	7 月 2 4 日	高田
年金者組合定期大会	7 月 2 5 日	西尾・渡邊よ
A i パ臨連幹事会	7 月 2 5 日	若井・高田
生活保護・25条宣伝	7 月 2 5 日	佐賀
全労連第 6 7 回評議員会	7 月 26-27日	西尾・竹内
J M I T U 定期大会	7 月 2 6 日	佐賀・北村
自治労連愛知県本部定期大会	7 月 2 6 日	武藤・若井・佐賀・荒川・小松・高木
憲法と平和を守る街宣 C	7 月 2 6 日	
原水爆禁止世界大会愛知県代表団会議	7 月 2 6 日	寺田・高田
郵政ユニオン定期大会	7 月 2 7 日	メッセージ
はたらく女性の中央集会実行委員会	7 月 2 8 日	浜島・高田
地域手当違憲訴訟学習会	7 月 2 8 日	柴田・竹内・佐賀
社保協理事会	7 月 2 8 日	小松
春の自治体キャラバン実行委員会	7 月 2 8 日	佐賀
平和大会学びと交流のつどい「気候危機」相談	7 月 2 8 日	市川
A i 第 2 回事務局会議	7 月 2 9 日	西尾・竹内・佐賀・市川・小松・高田
愛知最賃審議会第 1 回専門部会	7 月 2 9 日	竹内・高田・市川
平和大会実行委員会	7 月 2 9 日	松本・市川
A i 最低賃金・公契約問題対策委員会	7 月 3 0 日	竹内・高木・薄・市川
愛労連ローカルユニオン大会	7 月 3 0 日	西尾・市川
A i 労働相談センター全体会	7 月 3 0 日	谷藤・煤本・市川
安保破棄実行委員会	7 月 3 0 日	市川
第 5 2 0 回愛知地方最低賃金審議会	7 月 3 1 日	西尾・竹内・若井・高田・住田・市川
憲法と平和を守る愛知の会	7 月 3 1 日	市川
日本平和大会青年打ち合わせ	7 月 3 1 日	小松
A i 青年協ピアガーデン交流会	8 月 2 日	川崎・小松
全国一般アクリル支援共闘会議	8 月 2 日	竹内・煤本く
生保支援連絡会総会	8 月 3 日	林・佐賀・小松
原水爆禁止世界大会国際会議	8 月 3-4日	
サマセミブロック実行委員会	8 月 4 日	小松
原水爆禁止世界大会広島大会	8 月 4-6日	西尾・寺田・浜島・磯村・松本
原水爆禁止世界大会オンライン視聴会	8 月 4 日	近藤・高田
A i 第 3 回事務局会議	8 月 5 日	西尾・竹内・佐賀・市川・小松・高田
第 5 2 1 回愛知地方最低賃金審議会	8 月 5 日	竹内・近藤・高田・市川

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
原水爆禁止労働組合国際会議	8月5日	西尾・高田
原水爆禁止世界大会オンライン視聴会（広島）	8月6日	高田
A i 第1回幹事会	8月6日	幹事22、事務局1
愛知県弁護士会会長との懇談	8月7日	西尾・武藤・佐賀・磯村
クール・クライメート県教育委員会要請	8月7日	竹内
名労連結成準備事務局会議	8月7日	竹内・佐賀
424共同行動実行委員会	8月7日	小松
原水爆禁止2025年世界大会・長崎	8月7日	
原水爆禁止世界大会オンライン視聴会（長崎）	8月7日	高田
共済会事務局会議	8月7日	小松
A i 新聞編集委員会	8月8日	林・寺田・竹内・櫻井・薄・高田
憲法と平和を守る愛知の会宣伝	8月8日	
愛知憲法会議無料憲法講座	8月9日	
A i 四役会議	8月12日	西尾・柴田・寺田・谷藤・浜島・武藤・若井・竹内・佐賀
あいち平和のための戦争展	8月14-17日	竹内
A i 組織強化学習教育委員会	8月18日	寺田・竹内・北村・高田
社保協四役会議	8月18日	小松
A i 第4回事務局会議（文書のみ）	8月19日	西尾・竹内・佐賀・市川・小松・高田・煤本め
民間労組名古屋市人事委員会申し入れ	8月19日	若井・竹内・薄・近藤
最賃審議会第3回専門部会	8月19日	市川
JMITUオハラ労働委員会審問②	8月19日	西尾・小松・煤本
9の日宣伝	8月19日	高田
あいち総がかり行動集会&デモ	8月19日	竹内・住田
JMITUオハラ労働委員会審問③	8月20日	西尾・佐賀・近藤・煤本・住田・高田
第7回安保破棄実行委員会	8月20日	市川
原水協理事会	8月20日	高田
愛知県消費者大会「鍋屋上野浄水場見学会」	8月20日	高田
全労連幹事会	8月20-21日	竹内
第522回愛知地方最低賃金審議会	8月21日	市川
最賃審議会第4回専門部会	8月21日	市川
被爆80年あいち平和のつどい実行委員会	8月21日	
ふたたび戦争させないあいち大行動実行委員会	8月21日	竹内
第30回あいち機関紙宣伝学校実行委員会	8月21日	高田
A i 女性協第1回幹事会	8月21日	浜島・高田
秋の自治体キャラバン実行委員会	8月22日	小松
日本平和大会「ピースシャウト」打ち合わせ	8月22日	小松
愛知健康センター総会	8月23日	佐賀
ヒロシマ・ナガサキパネル展「原爆と人間」	8月23-24日	西尾・高田
A i 青年協幹事会	8月25日	川崎・小松
生活保護支援連絡会25条宣伝	8月25日	
平和大会実行委員会	8月25日	松本・市川
A i 第5回事務局会議	8月26日	西尾・竹内・佐賀・市川・小松・高田
最賃異議申し出宣伝	8月26日	竹内・佐賀・松本・住田・高木・薄・高田・市川
A i 第2回幹事会	8月27日	幹事20、事務局1
A i パ臨第2回連幹事会	8月27日	若井・佐賀・高田
全労連会計年度任用職員組組織化PT	8月27日	佐賀
愛知共済会理事会	8月27日	西尾・加藤ゆ・煤本く・高木・小松
レバカレ公務非正規分科会打ち合わせ	8月28日	竹内・佐賀
消費者大会実行委員会	8月28日	高田
革新県政の会政策委員会	8月28日	佐賀

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
自治体女性職員の権利向上 P J 打ち合わせ	8 月 2 9 日	佐賀
憲法と平和を守る愛知の会宣伝	8 月 3 0 日	小松・住田・市川
今こそ聞きたい！若者気候訴訟学習会	8 月 3 0 日	竹内
中村区平和和盆踊り	8 月 3 0 日	
自治労連愛知県本部執行委員会	8 月 3 0 日	武藤・佐賀・高木
自治労連あいち非正規公共評・自治体一般労組 執行委員会合同会議	8 月 3 0 日	佐賀
サマセミブロック実行委員会	9 月 1 日	小松
ふたたび戦争させないあいち大行動実行委員会	9 月 1 日	
公務共闘・愛労連宣伝行動	9 月 1 日	竹内・佐賀・磯村・住田 ・高木・高田・松本
愛知県人事委員会要請	9 月 1 日	西尾・高木・松本
A i ケア労働対策委員会	9 月 1 日	西尾・竹内・磯村・近藤 ・高木
介護新署名決起集会	9 月 1 日	
春の自治体キャラバン実行委員会	9 月 1 日	佐賀
レバカレ分科会説明会	9 月 1 日	竹内・松本
A i 第 6 回事務局会議	9 月 2 日	西尾・竹内・佐賀・市川・ 小松・高田
ケア労働者大幅賃上げアクションスタート集会	9 月 3 日	西尾・浜島・竹内・薄・ 近藤
学習協常任理事会	9 月 3 日	高田
建交労愛知県建築士事務所協会裁判	9 月 4 日	谷藤
あいち総がかり行動ニュース発送作業	9 月 5 日	
検数労連定期大会	9 月 6 日	西尾・尾崎
愛知憲法会議無料憲法講座	9 月 6 日	
福祉保育労定期大会	9 月 7 日	浜島・薄
尾中地区労連定期大会	9 月 7 日	佐賀
春の自治体キャラバン議会意見陳述（西尾市）	9 月 8 日	佐賀
第523回最賃審議会（異議審）	9 月 8 日	西尾・竹内・住田・市川
全国一般アクリル爭議支援共闘会議	9 月 8 日	煤本・竹内
サマセミブロック実行委員会	9 月 8 日	小松
社保協理事会	9 月 8 日	小松
A i 第 8 回事務局会議	9 月 1 6 日	西尾・竹内・佐賀・市 川・高田
A i 単産・地域代表者会議	9 月 1 7 日	西尾・柴田・谷藤・寺田 ・竹内・佐賀・青木・磯 村・薄・北村・小松・櫻 井・炭竈・高木・高田・ 武藤・渡辺・市川
若者気候訴訟第4回口頭弁論期日	9 月 1 7 日	竹内・磯村・高田
原水協理事会	9 月 1 7 日	
青年ネットスタッフ会議	9 月 1 8 日	小松
A i ケア労働対策委員会	9 月 1 9 日	西尾・竹内・薄・近藤・ 高木
一宮地区労連定期大会	9 月 1 9 日	西尾
社保協地域医療委員会(424)	9 月 1 9 日	小松
全国一般定期大会	9 月 2 0 日	西尾・煤本
建交労定期大会	9 月 2 1 日	西尾・谷藤
医労連ユニオンセミナー	9 月 2 1 日	西尾・近藤
ふたたび戦争させないあいち大行動	9 月 2 1 日	西尾・寺田・竹内・薄・ 小松・住田・高木・高田
A i 第 9 回事務局会議	9 月 2 2 日	西尾・竹内・佐賀・市川・ 高田
はたらく女性の中央集会実行委	9 月 2 2 日	浜島・高田
日本平和大会実行委員会	9 月 2 2 日	松本・市川
マイナ保険証一本化反対宣伝	9 月 2 3 日	

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
名労連結成関係単・地代表者会議②	9月23日	寺田・若井・渡辺よ・竹内・薄・北村・煤本・高木・西田
全労連幹事会	9月24日	竹内
A i 女性協幹事会	9月24日	浜島・高田
A i 労働相談センター全体会	9月24日	谷藤・煤本・市川
千種・名東労連定期大会	9月24日	佐賀
安保破棄実行委員会常任幹事会	9月24日	市川
消費者大会実行委員会	9月24日	高田
名南労連定期大会	9月24日	柴田
愛高教宣伝	9月24日	西尾・寺田・竹内・磯村 櫻井・住田・高木・高田
革新市政の会・総務代表世話人会	9月25日	
A i パ臨連幹事会	9月25日	若井・佐賀
A i 組織拡大・強化推進委員会	9月25日	西尾・竹内・近藤・柴田 ・炭竈・北村・高田・松本
2025秋の国民集会	9月25日	近藤
年金者組合社会保障学習会	9月25日	渡辺よ
クール・クライメートあいち事務局会議	9月26日	竹内
核兵器廃絶国際デー宣伝	9月26日	高田
全労連青年部定期大会	9月27-28日	小松
戦後・被爆80年 あいち平和のつどい	9月27日	西尾・寺田・浜島・武藤 ・佐賀・荒川・磯村・薄 ・尾崎・近藤・北村・煤本 ・高木・高田・市川 (監査／高木・佐竹)
日本母親大会in東京&オンライン視聴会	9月28-29日	浜島・高田
春の自治体キャラバン実行委員会	9月29日	佐賀・薄
A i 第10回事務局会議	9月30日	西尾・竹内・佐賀・市川・高田
A i 青年協幹事会	9月30日	川崎・小松
平和大会「学びと交流のつどい」打ち合わせ	9月30日	市川
愛知社保協介護学習会	9月30日	磯村・近藤
地域手当違憲訴訟第4回口頭弁論	10月1日	
A i 第4回幹事会	10月1日	幹事21、事務局1
さよならインボイス宣伝行動	10月1日	
鉄道の安全とサービスの充実を求める東海の会	10月2日	佐賀
名城病院裁判証人尋問①	10月2日	西尾・濱島・磯村・北村 ・近藤
名城病院裁判証人尋問②	10月3日	西尾・濱島・竹内・磯村 ・近藤・高田
日本平和大会国際シンポジウム	10月4日	
名張毒ぶどう酒事件奥西さん獄死10年行動	10月4日	竹内
なくそう官製ワープア大阪集会	10月4日	西尾・佐賀・磯村
平和大会実行委員会	10月6日	松本・市川
社保協四役会議	10月6日	小松
あいち総がかり行動ニュース発送	10月6日	
原水協69行動宣伝	10月6日	高田
9. 21大行動実行委員会	10月6日	竹内
A i 第11回事務局会議	10月7日	西尾・竹内・佐賀・小松高田 ・市川・煤本
秋キャラ団長事務局長会議	10月8日	谷藤・竹内・小松・高木 ・高田
秋キャラ資料セット	10月8日	小松
労働会館入居団体会議	10月9日	若井・竹内・薄・加藤ゆ ・北村・煤本く・市川・煤本め

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
9の日宣伝	10月9日	小松
A i 女性協幹事会	10月9日	濱島・高田
知多労連定期大会	10月10日	西尾
名北労連定期大会	10月10日	竹内
青年ネットスタッフ会議	10月10日	小松
"JR利用者アンケート"結果記者発表	10月10日	佐賀
愛知国公定期大会	10月11日	柴田・竹内・炭竈
憲法と平和を守る街宣A	10月11日	西尾・佐賀
東海労働弁護団総会	10月11日	西尾・佐賀
レバカレ2025	10月11-13日	西尾・武藤・竹内・佐賀 ・磯村・薄・小松・近藤 ・高木・高田・松本・武藤
国民救援会定期大会	10月12日	若井
だまっちゃおれん！訴訟サポーターズ総会	10月13日	
はたらく女性集会inあいち愛知実行委員打合せ	10月13日	高田
A i 第12回事務局会議	10月14日	西尾・竹内・佐賀・小松高田・市川
A i 四役会議	10月14日	西尾・柴田・寺田・濱島・武藤・若井・竹内・佐賀
はたらく女性の中央集会in愛知実行委員会	10月14日	高田
西三河労連定期総会（メッセージ）	10月14日	櫻井
中川地域センター大会（メッセージ）	10月14日	
A i 第5回幹事会	10月15日	
自治労連名古屋ブロック決起集会	10月15日	
A i 第3回ケア労働者対策会議	10月16日	西尾・竹内・薄・高木・近藤
社会的な賃金闘争対策委員会	10月16日	竹内・薄・小松・市川
消費者大会実行委	10月16日	高田
愛知共済会事務局会議	10月16日	小松
日本平和大会実行委員会	10月16日	松本・市川
A i 新聞編集委員会	10月16日	寺田・竹内・薄・高田
A i 青年協代表委員会	10月17日	川崎・小松
改定最低賃金周知と1500円めざす宣伝	10月18日	寺田・竹内・薄・尾崎・櫻井・住田・近藤・高田・市川
健康C東海セミナーinあいち	10月18日	西尾・佐賀・高田・薄・小松・高木
尾東労連定期大会	10月18日	西尾
憲法と平和を守る街宣B	10月18日	
日本平和大会「ピースシャウト2025」打ち合わせ&作業	10月18日	小松
全国法律関連労働組合協議会定期大会	10月18日	西尾
東海法労定期大会	10月19日	寺田
消費者大会講座「食料に飢える日本」	10月19日	高田
あいち総がかり行動宣伝（金山・名駅・栄）	10月19日	竹内・住田
A i 第13回事務局会議	10月20日	西尾・竹内・佐賀・小松高田・市川・煤本め
はたらく女性の中央集会実行委員会	10月20日	濱島・高田
被爆80年平和のつどい実行委	10月20日	高田
秋の自治体キャラバン（大府・豊明）	10月21日	西尾・近藤・市川
革新市政の会定期総会	10月21日	西尾・寺田・武藤・竹内磯村・近藤・高木
原水協財政委員会	10月21日	竹内
秋の自治体キャラバン（武豊・東海・知多）	10月22日	竹内・小松
愛労委公正任命を求める宣伝	10月22日	竹内・小松・住田・高木・高田・松本

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
秋の自治体キャラバン（半田・阿久比・東郷）	1 0 月 2 3 日	谷藤・小松
全労連東海北陸ブロック第3回幹事会	1 0 月 2 3 日	西尾・竹内・高田
クール・クライメートあいち事務局会議	1 0 月 2 3 日	竹内
A i 組織拡大推進委員会	1 0 月 2 3 日	
秋の自治体キャラバン（常滑・南知多・美浜）	1 0 月 2 4 日	佐賀・高田
日本平和大会フィールドワーク	1 0 月 2 4 日	谷藤・加藤ゆ
港地区労定期大会	1 0 月 2 4 日	竹内・近藤
全労連最賃スタート集会	1 0 月 2 4 日	竹内・市川
非核・平和愛知県・名古屋市要請	1 0 月 2 4 日	西尾・磯村
国際人権愛知連絡会（中止）	1 0 月 2 4 日	
日本平和大会in愛知	1 0 月 25-26 日	延べ3000人
憲法と平和を守る街宣C	1 0 月 2 5 日	
福祉予算削るな！県民集会	1 0 月 2 6 日	武藤・佐賀・薄・小松・市川
安保破棄実行委員会常任幹事会	1 0 月 2 7 日	市川
社保協理事会	1 0 月 2 7 日	小松
A i 第14回事務局会議	1 0 月 2 8 日	西尾・竹内・佐賀・小松高田・市川
全国一般アクリル支援共闘	1 0 月 2 8 日	竹内・煤本
いのちのとりで裁判10.28大決起集会	1 0 月 2 8 日	
A i 青年協幹事会	1 0 月 2 8 日	川崎・小松
愛自交定期大会	1 0 月 2 9 日	西尾・加藤ゆ
愛知共済会理事会	1 0 月 2 9 日	西尾・小松・高木
労働法制中央連絡会2025年総会	1 0 月 3 0 日	高田
A i 第6回臨時幹事会	1 0 月 3 0 日	幹事19、事務局1
瑞穂区労連定期大会	1 0 月 3 0 日	高田・渡辺き
「対話と学びあい」推進集会	1 0 月 3 0 日	
名労連設立事務局会議	1 0 月 3 1 日	竹内
愛高教10.31県庁前街宣	1 0 月 3 1 日	西尾・柴田・寺田・竹内・磯村・高木・高田・松本
中村地域センター定期大会	1 0 月 3 1 日	佐賀
土曜日宣伝市民団体等街宣活動	1 1 月 1 日	
愛知母親大会袋詰め作業	1 1 月 1 日	
中川フェスティバル	1 1 月 2 日	
建交労保育パート支部大会	1 1 月 2 日	佐賀
全国介護学習交流集会	1 1 月 2 日	
能登チャリティーコンサート	1 1 月 2 日	磯村
あいち九条の会・県民のつどい	1 1 月 3 日	佐賀
A i 第15回事務局会議	1 1 月 4 日	竹内・小松・高田・市川
社保協地域医療委員会	1 1 月 4 日	
あいち総がかり行動運営委員会	1 1 月 4 日	竹内
秋闘集中回答指定日	1 1 月 5 日	
A i 第7回幹事会	1 1 月 5 日	幹事19、事務局1
労働法制改悪反対学習会	1 1 月 5 日	佐賀
2025 秋季年末闘争秋の地域総行動	1 1 月 6 日	
原水協69宣伝行動	1 1 月 6 日	高田
秋の自治体キャラバン名古屋市交渉	1 1 月 6 日	渡辺よ・竹内・磯村小松・高木
天白地域センター定期大会	1 1 月 6 日	西尾
社保協四役会議	1 1 月 6 日	小松
みなと医療生協労組スト	1 1 月 6 日	竹内・近藤・松本
名南会労組スト	1 1 月 6 日	西尾・若井・竹内・佐賀・松本
A i 新聞編集委員会	1 1 月 7 日	寺田・竹内・薄・高田
ドクターナース介護ウェブ	1 1 月 8 日	濱島・近藤
第13次能登ボランティア	1 1 月 8 日	磯村
災対連全国交流集会	1 1 月 9 日	磯村

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
憲法と平和を守る街宣A	11月8日	西尾・小松
消費者大会講座「ノーベル平和賞受賞報告」	11月8日	高田
東濃信金裁判支援する会総会	11月8日	
第71回愛知母親大会	11月9日	濱島・荒川・近藤・高田
介護なんでも電話相談	11月10日	
愛労委公正任命を求める要請・宣伝	11月10日	西尾・濱島・竹内・小松 ・近藤・住田・高田・市川
A i 第16回事務局会議	11月11日	西尾・竹内・佐賀・小松・高田・市川
A i 四役会議	11月11日	西尾・柴田・寺田・谷藤 ・濱島・武藤・若井・竹内・佐賀
JMITUオハラ分会愛労委審問	11月11日	小松・高田・市川
日本高齢者大会	11月11-12日	渡辺よ
第104回栄総行動	11月12日	小松・櫻井・松本・佐竹
全労連第12回幹事会	11月12-13日	竹内
革新県政の会・代表常任幹事会	11月13日	
秋の自治体キャラバン県交渉	11月13日	西尾・武藤・渡辺よ・小松
オンライン労働学校「学びの森」	11月13日	
共済会事務局会議	11月13日	小松
過労死等防止等防止対策推進シンポジウム	11月14日	西尾・佐賀
全労連東海北陸ブロック第4回幹事会	11月14日	竹内
424共同行動県との懇談	11月14日	小松・近藤
名古屋市消費生活フェア	11月15日	
第28回パート・臨時・非常勤などの元気が出る集会	11月16日	若井・佐賀・磯村・近藤・高田
クール・クライメートあいち総会	11月16日	竹内
OTC類似薬保険外し問題シンポ	11月16日	
ひまわり集会in静岡	11月16日	
全労連東海北陸ブロック会計監査	11月16日	竹内・高田
はたらく女性の中央集会in愛知実行委員会	11月17日	濱島・高田
社保協理事会	11月17日	小松
A i 第17回事務局会議	11月18日	西尾・竹内・佐賀・小松・高田・市川
A i 第8回幹事会	11月19日	幹事18人、事務局1
A i 女性協幹事会	11月19日	濱島・荒川・高田
安保破棄実行委員会	11月19日	市川
9の日宣伝	11月19日	西尾・高田
あいち総がかり行動11.19集会	11月19日	竹内
春の自治体キャラバン実行委員会	11月20日	竹内・小松
社会的な賃金闘争対策委員会	11月20日	竹内・薄・小松・市川
A i 青年協幹事会	11月20日	川崎・小松
愛知高齢者大会	11月20日	渡辺よ・市川
新介護署名提出集会	11月20日	
消費者大会実行委員会	11月20日	高田
核兵器禁止条約署名提出行動	11月21日	西尾・薄・高田
金融ユニオン名労連オルグ	11月22日	竹内
憲法と平和を守る街宣C	11月22日	
倉敷民商弾圧事件・無罪を勝ち取る愛知の会	11月22日	
愛知共済会共済学校	11月22日	西尾・加藤・北村・小松 ・煤本・高木
名労連第3回単産地域代表者会議	11月23日	寺田・若井・渡辺よ・竹内・佐賀・薄・煤本・高木
地域医療を守る運動全国交流集会	11月24日	
あいち総がかり行動デモ行進有料問題学習会	11月24日	竹内

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
伊賀市議会百上議員訪問	1 1 月 2 5 日	西尾・佐賀・高木
A i 第 1 8 回事務局会議	1 1 月 2 5 日	西尾・竹内・佐賀・小松・高田・市川
革新県政の会・県要請	1 1 月 2 6 日	佐賀
A i 女性協労働局要請	1 1 月 2 6 日	浜島・荒川・高田
全労連・春闘共闘 2 0 2 6 国民春闘討論集会	1 1 月 26-27 日	西尾・佐賀
秋の自治体キャラバン実行委員会	1 1 月 2 6 日	小松・近藤
憲法と平和を守る愛知の会世話人会	1 1 月 2 6 日	市川
A i 労働相談センター全体会	1 1 月 2 7 日	市川
オンライン労働学校「学びの森」	1 1 月 2 7 日	
はたらく女性の中央集会in愛知 会場立ち会い	1 1 月 2 7 日	高田
クール・クライメート愛知県懇談	1 1 月 2 7 日	
あいち総がかり事務局会議	1 1 月 2 7 日	竹内
はたらく女性の中央集会in愛知実行委員会	1 1 月 2 8 日	濱島・荒川・高田
クール・クライメートあいち事務局会議	1 1 月 2 8 日	竹内
年金裁判原告団解散集会	1 1 月 2 8 日	渡辺よ
憲法と平和を守る街宣 A ～ C	1 1 月 2 9 日	小松・住田
名張毒ぶどう酒事件 愛知の会総会	1 1 月 2 9 日	
はたらく女性の中央集会in愛知	1 1 月 29-30 日	西尾・浜島・若井・竹内・青木・荒川・薄・北村・住田・高木・高田・松本
韓国民主労総女性委員会ランチミーティング	1 1 月 3 0 日	西尾・荒川・高田
A i 青年協35周年記念企画・総会	1 1 月 3 0 日	柴田・佐賀・川崎・小松
生活保護シンポジウム	1 1 月 3 0 日	
平和大会実行委員会	1 2 月 1 日	松本・市川
あいち総がかり行動運営委員会	1 2 月 1 日	竹内
A i 第 1 9 回事務局会議	1 2 月 2 日	竹内・小松・高田・市川
サマセミブロック実行委員会	1 2 月 2 日	小松
社保協四役会議	1 2 月 2 日	小松
労働会館忘年会	1 2 月 2 日	西尾・若井・竹内・加藤ゆ・北村・近藤・櫻井・煤本く・市川・煤本め
2025秋の争議支援総行動	1 2 月 3 日	佐賀
A i 第 9 回幹事会	1 2 月 3 日	幹事 2 4、事務局 1
消費税・インボイス署名提出	1 2 月 3 日	
消費者大会見学講座「名大減災館 見学会」	1 2 月 3 日	高田
A i 新聞編集委員会	1 2 月 4 日	寺田・竹内・櫻井・高田
日本平和大会ピースシャウト総括会議	1 2 月 5 日	小松
革新愛知の会総会・記念講演	1 2 月 6 日	西尾・小松
国際人権学習会	1 2 月 6 日	佐賀
2 0 2 6 国民春闘討論集会	1 2 月 7 日	西尾・谷藤・寺田・武藤・渡辺よ・竹内・佐賀・青木・磯村・北村・小松・近藤・炭竈・住田・高木・高田・松本・市川
非正規公務員労働相談ホットライン	1 2 月 7 日	竹内・佐賀
高蔵寺弾薬庫一周平和マラソン	1 2 月 7 日	
母親大会赤紙配り	1 2 月 8 日	濱島・高田
A i 第 2 0 回事務局会議	1 2 月 9 日	西尾・竹内・佐賀・小松・高田・市川
A i 四役会議	1 2 月 9 日	西尾・柴田・寺田・武藤・濱島・若井・竹内・佐賀
9の日宣伝	1 2 月 9 日	小松
ケア労働者プロジェクト西尾市議会陳情	1 2 月 9 日	
全労連幹事会	1 2 月 1 0 日	竹内
A i 女性協幹事会	1 2 月 1 0 日	濱島・荒川・高田

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
春闘共闘役員会	1 2 月 1 0 日	西尾・谷藤・竹内・北村・高木
共済会事務局会議	1 2 月 1 0 日	小松
東海研・産業構造研究会	1 2 月 1 0 日	佐賀
全) 秋の組織強化・拡大交流集会	1 2 月 1 1 日	西尾・高田
オンライン労働学校「学びの森」	1 2 月 1 1 日	高田
建交労学童保育支部名労連オルグ	1 2 月 1 1 日	竹内
名護市長選決起集会in愛知	1 2 月 1 2 日	高田・佐竹
道労連非正規公務員問題学習会	1 2 月 1 3 日	西尾・佐賀
全労連東海北陸ブロック幹事会	1 2 月 1 3 日	竹内
全労連東海北陸ブロック総会	1 2 月 13-14 日	竹内・佐賀・磯村・小松・高田
憲法と平和を守る街宣A	1 2 月 1 3 日	西尾・近藤・市川
全労連女性部春闘討論集会	1 2 月 1 4 日	高田
社保協理事会	1 2 月 1 5 日	小松
秋の自治体キャラバン半田市議会陳述	1 2 月 1 5 日	西尾
ケア労働者プロジェクト半田市議会陳情	1 2 月 1 5 日	濱島・西尾
A i 第 2 1 回事務局会議	1 2 月 1 6 日	西尾・竹内・佐賀・小松・高田・市川
社保協地域医療委員会	1 2 月 1 6 日	小松
A i 第 1 0 回幹事会	1 2 月 1 7 日	幹事 2 1、事務局 1
安保破棄実行委員会常任幹事会	1 2 月 1 7 日	市川
憲法と平和を守る愛知の会世話人会	1 2 月 1 7 日	
原水協理事会	1 2 月 1 7 日	
革新県政の会代表常任幹事会	1 2 月 1 8 日	竹内
A i 組織拡大強化推進委員会	1 2 月 1 8 日	西尾・柴田・高田
3. 8 国際女性デー愛知県集会実行委員会	1 2 月 1 8 日	高田
A i 会計監査	1 2 月 1 8 日	佐賀・小松・金川・佐竹・高木
秋の自治体キャラバン実行委員会	1 2 月 1 8 日	小松・近藤
愛知共済会理事会	1 2 月 1 8 日	西尾・小松・煤本・渡辺
オンライン労働学校「学びの森」	1 2 月 1 8 日	
消費者大会実行委員会	1 2 月 1 8 日	高田
レバカレ月イチオンライン企画②	1 2 月 1 9 日	西尾・柴田・濱島・高田・松本
春の自治体キャラバン実行委員会	1 2 月 1 9 日	竹内・薄・小松
特定利用港湾反対名古屋港宣伝	1 2 月 2 0 日	尾崎・高木
いのちと暮らしを守るなんでも相談会	1 2 月 2 0 日	
被爆者を励ます集い	1 2 月 2 1 日	
名労連設立事務局会議	1 2 月 2 2 日	竹内
A i 第 2 2 回事務局会議	1 2 月 2 3 日	西尾・竹内・佐賀・小松・高田・市川
全国一般アクリル爭議支援共闘会議	1 2 月 2 3 日	煤本
A i 青年協幹事会	1 2 月 2 3 日	川崎・小松
A i 社会的な賃金闘争対策委員会	1 2 月 2 4 日	竹内・薄・小松・市川
消費税クリスマス宣伝 (中止)	1 2 月 2 4 日	
名古屋越冬突入集会	1 2 月 2 8 日	西尾・武藤・竹内
原水協元旦行動	1 月 1 日	
総がかり行動運営委員会	1 月 5 日	竹内
2 0 2 6 国民春闘スタート宣伝	1 月 6 日	西尾・柴田・若井・寺田・竹内・佐賀・住田・近藤・高木・北村・薄・小松・高田・松本・市川
A i 第 2 3 回事務局会議	1 月 6 日	西尾・竹内・佐賀・小松・高田・市川
米軍のベネズエラへの大規模攻撃に抗議する緊急宣伝	1 月 6 日	西尾・谷藤・松本・市川
あいち総がかり行動ニュース発送	1 月 7 日	

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
A i 新聞編集委員会	1 月 8 日	竹内・櫻井・高田
中地域新年合同旗びらき	1 月 8 日	西尾・佐竹
福祉保育労旗びらき	1 月 8 日	柴田・薄
社保協四役会議	1 月 8 日	小松
若者気候訴訟第 5 回口頭弁論	1 月 8 日	竹内
全国一般旗びらき	1 月 9 日	濱島・煤本
知多労連旗びらき	1 月 9 日	佐賀
J M I T U 旗びらき	1 月 9 日	濱島・北村
東海法労旗開き	1 月 9 日	若井
9 の日宣伝	1 月 9 日	竹内
安保法制違憲訴訟打ち合わせ	1 月 9 日	竹内
A i 単産・地域代表者会議	1 月 1 0 日	西尾・柴田・寺田・若井 ・竹内・佐賀・青木・薄 ・加藤・北村・小松・櫻 井・住田・高田・渡辺き ・市川
A i ・春闘共闘新春旗びらき学習会	1 月 1 0 日	西尾・柴田・谷藤・寺田 ・濱島・武藤・若井・渡 辺よ・竹内・佐賀・青木 ・磯村・薄・櫻井・炭竈 ・北村・煤本・高木・市 川
検数労連旗びらき（メッセージ）	1 月 1 0 日	尾崎
憲法と平和を守る街宣 A	1 月 1 0 日	
革新県政の会・市政の会・革新懇共同新春のつ どい	1 月 1 0 日	西尾・谷藤・寺田・武藤 ・渡辺よ・竹内・青木・ 磯村・北村・近藤・高木
きずな新春旗びらき	1 月 1 1 日	西尾
反核・平和新春のつどい	1 月 1 2 日	西尾・寺田・武藤・竹内 ・北村・高田
A i 女性協新春のつどい	1 月 1 2 日	濱島・荒川・近藤・高田
A i 女性協幹事会	1 月 1 2 日	濱島・荒川・高田
A i 第 2 4 回事務局会議	1 月 1 3 日	西尾・竹内・佐賀・小松・ 高田・市川
A i 四役会議	1 月 1 3 日	西尾・柴田・寺田・谷藤 ・濱島・武藤・若井・竹 内・佐賀
中川地域センター旗開き（メッセージ）	1 月 1 3 日	
A i 第 1 1 回幹事会	1 月 1 4 日	幹事 1 8、事務局 1
尾東労連学習会旗開き（メッセージ）	1 月 1 4 日	
愛知共済会事務局会議	1 月 1 4 日	小松
消費者大会打合せ	1 月 1 4 日	高田
全国一律最低賃金国会議員要請（～16日）	1 月 15-16 日	西尾・柴田・谷藤・若井 ・竹内・佐賀・青木・薄 ・北村・小松・近藤・住 田・高田・松本・市川
オンライン労働学校「学びの森」	1 月 1 5 日	
名城病院裁判和解協議	1 月 1 6 日	
A i 青年協幹事会	1 月 1 6 日	川崎・小松
国民春闘共闘単産・地方代表者会議	1 月 1 6 日	西尾・竹内
名護市長選挙支援行動	1 月 17-18 日	高田
自治労連臨時大会	1 月 1 7 日	西尾・武藤・佐賀・荒川 ・磯村・高木
救援会・自由法曹団・争議団新春のつどい	1 月 1 7 日	西尾
憲法と平和を守る街宣 B	1 月 1 7 日	竹内・市川
医労連臨時大会	1 月 1 8 日	西尾・柴田・濱島・近藤
一宮地区労連旗開き	1 月 1 8 日	佐賀
全国一般ナトコ執行委員会	1 月 1 8 日	

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
医労連・社保協共同宣伝行動	1月18日	西尾・濱島・近藤
革新県政の会代表常任幹事会	1月19日	竹内
社保協理事会	1月19日	小松
あいち総がかり行動19集会&デモ	1月19日	谷藤・竹内・高木・住田
原発をなくすあいちの会中電申し入れ	1月19日	竹内
A i 第25回事務局会議	1月20日	西尾・竹内・佐賀・小松・高田・市川
サマセミブロック実行委員会	1月20日	小松
秋の自治体キャラバン実行委員会	1月20日	小松・近藤
全労連評議員会	1月21-22日	西尾・竹内
東三河労連新春のつどい	1月21日	竹内・青木
安保破棄実行委員会常任幹事会	1月21日	市川
愛知国公春闘討論集会	1月21日	西尾・柴田・炭竈
平和行進実行委員会／原水協理事会	1月21日	寺田・北村・高田
核兵器禁止条約（TPNW）発効5周年記念行動	1月22日	北村・高田・松本
東海自治体学校実行委員会	1月22日	佐賀
名労連設立事務局会議	1月22日	竹内
名北労連旗びらき	1月23日	若井
瑞穂区合同新年会	1月23日	西尾
消費者大会実行委員会	1月23日	
福保労地本委員会	1月24日	薄
全労連青年部春闘交流集会	1月24日	
A i 第73回臨時大会	1月25日	幹事22、監査1、事務局3
労働相談センター全体会議	1月26日	市川
中村地域合同旗びらき	1月26日	佐賀
クール・クライメート事務局会議	1月26日	竹内
総がかり行動事務局会議	1月26日	
A i 第26回事務局会議	1月27日	西尾・竹内・佐賀・小松・高田・市川
年金者組合新春のつどい	1月27日	西尾・渡辺よ
愛知県公契約条例協議の場	1月27日	市川
A i 第12回幹事会	1月28日	幹事19、事務局1
春のキャラバン実行委員会	1月29日	竹内・小松
自由で公正な選挙県警への申し入れ	1月29日	竹内
オンライン労働学校「学びの森」	1月29日	高田
愛知春闘共闘役員会	1月30日	西尾・谷藤・竹内
原水協財政部会	1月30日	竹内
第1次最賃デー名駅宣伝	1月31日	西尾・若井・柴田・竹内・佐賀・住田・高木・小松・高田・市川
憲法と平和を守る街宣（中止）	1月31日	
消費者大会名古屋市懇談会	2月2日	高田
保険証をもとに戻せ 院内集会	2月2日	
保険証をもとに戻せデジタル庁抗議行動	2月2日	
総がかり行動ニュース発送作業	2月2日	
あいち総がかり行動運営委員会	2月2日	竹内
はたらく女性の中央集会in愛知実行委員会	2月2日	濱島・高田
トヨタ総行動トヨタ・グループ企業要請	2月3日	若井・竹内・佐賀・櫻井
A i 第27回事務局会議	2月5日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
A i 社会的な賃金闘争対策委員会	2月5日	竹内・薄・小松・市川
消費者大会愛知県懇談会	2月5日	高田
愛労連新聞第7回編集委員会	2月5日	寺田・竹内・櫻井・高田
9の日宣伝	2月9日	市川
社保協四役会議	2月9日	小松
A i 第28回事務局会議	2月10日	竹内・佐賀・小松・高田・市川

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
A i 四役会議（中止）	2月10日	
第47回トヨタ総行動／早朝宣伝・決起集会	2月11日	幹事25、事務局1
A i 第13回幹事会	2月12日	幹事21、事務局1
尾中地区労連春闘学習決起集会	2月12日	佐賀
愛知共済会事務局会議	2月12日	小松
平和行進実行委員会	2月12日	
母親大会名古屋市要請行動	2月13日	濱島・高田
安保法制違憲訴訟控訴審原告尋問	2月13日	西尾・竹内・磯村・高田
憲法と平和を守る街宣A	2月14日	佐賀・高田
名労連結成スタートアップ集会	2月15日	渡邊よ・若井・竹内・薄・高木・市川
共済拡大全国交流集会（～16日）	2月15日	
愛知県原水協定期総会	2月15日	西尾・寺田・武藤・磯村・高田・佐竹
クール・クライメートあいち事務局会議	2月16日	竹内
社保協理事会	2月16日	小松
大軍拡・大増税NO！オンライン連続学習会①	2月16日	西尾
A i 第29回事務局会議	2月17日	竹内・佐賀・小松・高田・市川・煤本め
メーカー実行委員会	2月18日	西尾・竹内・佐賀・小松・高木
A i 女性協第7回幹事会	2月18日	濱島・高田
全労連第14回幹事会	2月18日	竹内
3・5中央行動国会請願デモ意思統一会議	2月18日	
社保協宣伝	2月18日	小松・近藤
安保破棄実行委員会	2月18日	
社保協地域医療委員会	2月18日	小松
単一協議会幹事会	2月18日	西尾・加藤ゆ
大軍拡・大増税NO！連絡会 オンライン連続学習会第1回	2月18日	西尾
3. 8国際女性デー実行委員会	2月18日	高田
春の自治体キャラバン実行委員会	2月19日	竹内・小松
サマセミブロック実行委員会	2月19日	小松
総がかり行動事務局会議	2月19日	
あいち総がかり行動一斉街宣	2月19日	竹内
A i 青年協幹事会	2月20日	川崎・小松
A i 非正規公務員組織化プロジェクト	2月20日	西尾・佐賀
2026国民春闘勝利愛知自動車デモ	2月22日	西尾・谷藤・尾崎・加藤ゆ
3. 1ビキニデー愛知県代表団会議	2月22日	西尾・寺田
特定利用港湾学習会	2月23日	谷藤・尾崎・高木
A i 第30回事務局会議	2月24日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
わくわく講座スクーリング& A i 組織拡大強化推進委員会	2月24日	西尾・柴田・竹内・松本・高田
A i 第14回幹事会	2月25日	
憲法と平和を守る愛知の会拡大世話人会	2月25日	
愛知共済会理事会	2月25日	煤本・高木
春の地域総行動	2月26日	
消費税・インボイス県議会請願提出	2月26日	佐賀
全医労全国統一宣伝行動（名古屋・豊橋）	2月27日	柴田・谷藤・若井・青木・磯村・薄・近藤・高木・松本
3. 1ビキニ日本原水協全国集会・国際交流会議	2月27日	西尾・佐竹
第2弾最賃国会議員要請	2月27日	
3. 1ビキニ日本原水協全国集会、全体集会・分科会	2月28日	西尾・磯村・高田・佐竹

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
第27回あいち社会保障学校	3月1日	武藤・若井・渡辺よ・竹内・磯村・薄・近藤・高木つ・高木み
3. 1 ビキニデー集会	3月1日	西尾・高田・佐竹
A i ケア労働対策委員会記者会見	3月2日	西尾・竹内・薄・近藤・高木
あいち総がかり行動運営委員会	3月2日	竹内
A i 編集委員会	3月2日	寺田・薄・高田
米とイスラエルによるイラン攻撃に抗議行動	3月2日	谷藤・磯村・高田・松本・市川
A i 第31回事務局会議	3月3日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
愛知県知事選挙1年前スタート集会	3月3日	西尾・武藤・竹内・磯村・高木
非正規センターオンライン学習会①	3月3日	佐賀
A i 社会的な賃金闘争対策委員会	3月4日	竹内・薄・小松・市川
非正規公務員の人事評価を問う院内集会	3月4日	佐賀
2026春闘勝利！3・5中央総決起行動	3月5日	西尾・柴田・佐賀
社保協宣伝	3月5日	小松
革新市政の会市施設利用料等値上げ反対宣伝	3月5日	竹内・磯村・松本
国際女性デー・非正規公務員制度 記者会見	3月6日	西尾・竹内・佐賀・磯村・小松・市川
「女性の休日」映画上映会&交流会&街宣	3月6日	西尾・浜島・荒川・近藤・高田・松本・市川
長距離ミサイルを作るな！配備するな！3.7小牧集会	3月6日	谷藤・竹内・薄・高木
原発ゼロNAGOYA ACTION	3月7日	西尾・武藤・竹内・高田
A i 青年協26春闘決起交流集会	3月7日	川崎・小松
9の日宣伝	3月9日	西尾・佐賀・小松
社保協四役会議	3月9日	小松
第52回東海自治体学校実行委員会	3月9日	佐賀
A i 第32回事務局会議	3月10日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
最賃国会議員要請（日野）	3月10日	佐賀
A i 四役会議	3月10日	
JMITU川本製作所支部ストライキ	3月10日	佐賀・北村
「特定利用港湾」早朝宣伝・集会・デモ	3月11日	西尾・尾崎・小松・高木
2026国民春闘集中回答指定日	3月11日	
総がかり行動事務局会議	3月11日	
だまっちゃおれん!3.11屋外集会・デモ	3月11日	西尾・竹内・佐賀・市川
大軍拡・大増税NO！オンライン連続学習会②	3月11日	
2026国民春闘全国統一行動日	3月12日	
医労連・国共病組東海ストライキ	3月12日	柴田・高田
医労連・国共病組名城ストライキ	3月12日	柴田・佐賀・薄・小松・近藤・高木
医労連・南医療生協労組ストライキ	3月12日	西尾・柴田・濱島・高田
医労連・名南会労組ストライキ	3月12日	西尾・若井・柴田・濱島・近藤・高田
医労連・みなと医療労組ストライキ	3月12日	谷藤・若井・佐賀・北村・近藤・松本・市川
全国統一行動名古屋駅アクション	3月12日	西尾・柴田・谷藤・寺田・若井・竹内・尾崎・加藤ゆ・北村・小松・近藤・住田・高木・高田・松本・市川
JMITU通信産業本部愛知支部ストライキ	3月12日	若井・竹内・北村
全国一般回答促進要請（ナトコ・東信化成）	3月13日	竹内・恒川
名労連設立準備事務局会議	3月13日	竹内

会議・集会名称	日 時	幹事会参加者
2026第1回全労連春闘回答速報番組YouTube	3月13日	西尾
A i 青年協幹事会	3月13日	川崎・小松
重税反対統一行動・税と社会保障を考える懇談会	3月13日	佐賀
憲法と平和を守る街宣A	3月14日	柴田・竹内・高木・小松
あいち総がかり行動総会	3月14日	柴田・竹内・市川
京都府知事選挙支援行動	3月15日	西尾・武藤・竹内・薄・高木
春の自治体キャラバン実行委員会	3月16日	竹内・薄・小松
社保協理事会	3月16日	小松
A i 第33回事務局会議	3月17日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
単一協議会事務局会議	3月17日	西尾・加藤ゆ
3. 8 国際女性デー愛知県集会実行委員会	3月17日	高田
A i 第15回幹事会	3月18日	
ハゲ天裁判・支援する会結成総会	3月18日	西尾・櫻井
A i 女性協幹事会	3月18日	濱島・高田
安保破棄実行委員会	3月18日	市川
介護署名第2次提出行動	3月18日	
郵政ユニオンストライキ	3月19日	濱島・若井・竹内・近藤・高田
全労連地方選出幹事打ち合わせ	3月19日	竹内
愛知共済会事務局会議	3月19日	小松
令和の百姓一揆名古屋の陣	3月20日	西尾・佐賀・小松・市川
愛知県消費者大会講演会	3月21日	高田
全国一般アクリル爭議支援共闘会議	3月23日	竹内
消費者大会実行委員会	3月23日	高田
全労連女性の春闘懇談会	3月23日	濱島・高田
消費税・インボイス署名議員要請・提出集会	3月23日	佐賀
A i 第34回事務局会議	3月24日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
最賃審議会員途中辞任問題で労働局懇談	3月25日	竹内・市川
全労連単産・地方代表者会議	3月25-26日	西尾・竹内
A i わくわく講座閉校式	3月25日	西尾・柴田・北村・高田・松本
A i 労働相談センター全体会議	3月25日	谷藤・市川
東海大王ハラスメント裁判支援要請オルグ	3月26日	青木・高田
メーデー会場下見	3月26日	竹内・小松
サマセミブロック実行委員会	3月26日	小松
全労連東海北陸ブロック幹事会	3月27日	竹内
愛知県中央メーデー実行委員会	3月27日	竹内・小松・高木
長射程ミサイル配備をするな！宣伝・申し入れ	3月27日	西尾・磯村
マイナ保険証一本化反対宣伝	3月28日	
生活保護支援連絡会決起集会	3月29日	小松
名張毒ぶどう酒事件65年行動	3月29日	佐賀
革新県政の会代表常任幹事会	3月29日	竹内
A i 第35回事務局会議	3月31日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
消費税やめさせる会宣伝（雨天中止）	3月31日	
フレッシューズ（新社会人）宣伝行動	4月1日	柴田・谷藤・武藤・若井・竹内・佐賀・薄・磯村・加藤ゆ・北村・小松・近藤・住田・高木・高田・松本・市川
愛教労辞令交付式宣伝	4月1日	西尾・松本・住田
A i 第16回幹事会	4月1日	幹事22、事務局1
名市大職組市大病院新規説明会	4月1日	若井・近藤・住田・高田・松本

会議・集会名称	日 時	幹事会・事務局参加者
学習協理事会	4月1日	
国共病組東海新規説明会	4月1日	西尾
名市大職組西部医療センター新規説明会	4月2日	西尾・竹内・近藤・市川
春日井市職労本庁新規説明会	4月2日	西尾・竹内・高木
春日井市職労市民病院新規説明会	4月2日	近藤・高田
尾張健友会新規説明会	4月3日	西尾・近藤
NPT行動直前学習会	4月3日	高田
全医労名古屋医療センター新規説明会	4月6日	西尾・小松・近藤・松本
港地区労名労連オルグ	4月6日	竹内
A i 第36回事務局会議	4月7日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
労働会館幹事会	4月7日	西尾・加藤ゆ
A i 編集委員会	4月7日	寺田・竹内・高田
A i ・単産・地域代表者会議	4月8日	単産21、地域11、女性協1、事務局6
愛知共済会事務局会議	4月8日	小松
総がかり行動事務局会議	4月8日	
社保協四役会議	4月8日	
春の自治体キャラバン実行委員会	4月9日	竹内・薄・小松
春闘第2次全国統一行動・最賃ビッグアクション	4月9日	西尾・若井・武藤・柴田・谷藤・寺田・竹内・北村・松本・近藤・住田・小松・高田・市川
9の日宣伝	4月9日	小松
2026春闘回答速報番組②	4月9日	佐賀・磯村
大軍拡・大増税NO！オンライン連続学習会③	4月9日	
福祉予算削るな！春の学習会	4月11日	磯村・薄
A i 春のかっこいい交流会	4月11日	川崎・小松
憲法と平和を守る街宣A	4月11日	佐賀・薄・北村・小松・炭竈・住田
NPT愛知県代表団会議	4月11日	高田
愛友会被爆者行脚まとめ集会	4月11日	北村・高田
A i 第37回事務局会議	4月14日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
A i 四役会議	4月14日	西尾・柴田・谷藤・寺田・武藤・濱島・若井・渡辺よ・竹内・佐賀
憲法と平和を守る愛知の会拡大世話人会	4月15日	市川
全労連幹事会	4月15日	竹内
年金者組合緑支部名労連オルグ	4月15日	
A i 女性協幹事会	4月15日	濱島・荒川
第105回栄総行動	4月15日	武藤・佐賀・磯村・高木・松本・佐竹・高木
介護保険料「逆進性」学習会	4月15日	
憲法と平和を守る愛知の会	4月15日	市川
平和行進実行委・原水協理事会	4月15日	寺田・北村・高田
A i 社会的な賃金闘争対策委員会	4月16日	竹内・薄・市川
全労連労働相談活動交流会	4月16日	西尾・薄・市川
裁量労働制の拡大を許さない大集会	4月16日	
名労連結成事務局会議	4月16日	竹内
サマセミブロック実行委員会	4月16日	小松
全労連最賃活動交流集会2026	4月17日	西尾・竹内・近藤・高田・市川
レバカレ月1オンライン「家父長制を考える」	4月17日	西尾・高田
あいち総がかり行動4.19集会&デモ	4月19日	西尾・柴田・谷藤・武藤・若井・竹内・佐賀・薄・近藤・住田・高木・松本・市川

会議・集会名称	日 時	幹事会・事務局参加者
平和憲法を守る0419名駅前デモ	4月19日	竹内・市川
愛知県弁護士会就任披露	4月20日	西尾
社保協理事会	4月20日	小松
消費者大会実行委員会	4月20日	磯村・高田
若者気候訴訟第6回口頭弁論&スタンディング	4月20日	竹内・住田・高田
A i 第38回事務局会議	4月21日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
メーデー実行委員会	4月21日	西尾・武藤・竹内・佐賀・小松
A i 第17回幹事会	4月22日	
春の自治体キャラバン事前学習会	4月22日	西尾・谷藤・濱島・武藤・若井・竹内・薄・小松・住田・高木・高田・市川
公務員賃金署名キックオフ集会	4月22日	佐賀
愛知共済会理事会	4月23日	西尾・小松
安保破棄実行委員会総会	4月23日	若井・松本・市川
最賃署名団体要請	4月24日	竹内・薄
A i 青年協幹事会	4月24日	川崎・小松
消費税・インボイス宣伝	4月24日	佐賀
東三河ナースウェーブ	4月25日	西尾・濱島・近藤・高木
NPT再検討会議代表団派遣（～5/4）	4月25日	
消費者大会講座「PFOSの現状」	4月25日	
だまっちゃおれん訴訟報告集会	4月26日	
A i 第39回事務局会議	4月28日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
愛教労定期大会	4月29日	西尾・住田
メーデー前夜祭	4月29日	竹内・松本
メーデー会場設営	4月30日	竹内・佐賀・小松・住田
A i 新聞第10回編集委員会	4月30日	竹内・櫻井・高木・高田
第97回愛知県中央メーデー	5月1日	
愛知憲法会議市民のつどい	5月3日	寺田・武藤・渡辺よ・竹内・佐賀・磯村・高木・松本
あいち総がかり行動デモ行進	5月3日	武藤・竹内・佐賀・磯村・高木
労働会館全館の床掃除	5月6日	
A i 第18回幹事会	5月7日	幹事20、事務局1
春の自治体キャラバン（愛西・津島・大治）	5月8日	佐賀・磯村・小松・住田
春の自治体キャラバン（瀬戸・尾張旭・春日井）	5月8日	薄・高木
春の自治体キャラバン（東浦・刈谷・高浜）	5月8日	谷藤・武藤・薄
全労連東海北陸ブロック第2回幹事会	5月8日	竹内
名労連結成に向けた最終説明会	5月8日	竹内・北村
守山労連名労連オルグ（延期）	5月9日	
ドクター・ナース・介護ウェーブ	5月9日	武藤・近藤
憲法と平和を守る街宣A	5月9日	竹内・市川・渡辺き
東海北陸ブロック女性交流集会in静岡	5月9～10日	濱島・高田
A i 青年協新歓☆地引き網ツアー	5月10日	西尾・川崎・小松
愛高教スプリングジャンプ	5月10日	寺田・松本
消費者大会講座 防災減災学習	5月11日	
春の自治体キャラバン（豊山・北名古屋・清須）	5月11日	西尾・高田
春の自治体キャラバン（半田・東海・武豊）	5月11日	薄・高木
春の自治体キャラバン（小牧市・江南市）	5月11日	武藤
あいち総がかり行動運営委員会	5月11日	竹内
社保協四役会議	5月12日	小松
A i 四役会議	5月12日	西尾・柴田・寺田・谷藤・濱島・武藤・若井・竹内・佐賀

会議・集会名称	日 時	幹事会・事務局参加者
A i 第 4 0 回事務局会議	5 月 1 2 日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
春の自治体キャラバン（岡崎・豊田・みよし）	5 月 1 3 日	佐賀・市川
春の自治体キャラバン（犬山・扶桑・大口）	5 月 1 3 日	
春の自治体キャラバン（長久手・日進・東郷・豊明）	5 月 1 3 日	高木
全労連幹事会	5 月 13-14 日	竹内
東海大王製紙 P 労組ハラスメント裁判証人尋問	5 月 1 3 日	西尾・青木・高田
春の自治体キャラバン（知多・阿久比・大府）	5 月 1 4 日	西尾・佐賀
春の自治体キャラバン（一宮・稲沢・あま）	5 月 1 4 日	武藤
春の自治体キャラバン（蒲郡・豊川・新城）	5 月 1 4 日	高木
共済会事務局会議	5 月 1 4 日	小松
生活保護追加給付ホットライン	5 月 1 4 日	
全国一般アクリル中労委第1回期日	5 月 1 5 日	西尾
A i 第2三半期会計監査	5 月 1 5 日	佐賀・小松・佐竹・高木 み
労働会館事務局会議	5 月 1 5 日	
レバカレ月 1 オンライン「声かけの難関を乗り越えよう」	5 月 1 5 日	西尾・松本・恒川・高田
安保法制違憲訴訟最終弁論・結審期日	5 月 1 5 日	
A i 第 1 9 回幹事会	5 月 1 6 日	幹事 2 5、事務局 1
When we Fight 愛知の教育を語る会上映会	5 月 1 7 日	幹事 2 5、事務局 1
全労連単産・地方女性組織交流集会	5 月 1 7 日	高田
第 5 2 回東海自治体学校	5 月 1 7 日	西尾・柴田・武藤・竹内 ・佐賀・磯村・小松・高 木・市川
名労連結成事務局会議	5 月 1 8 日	竹内
社保協理事会	5 月 1 8 日	小松
A i 第 4 1 回事務局会議	5 月 1 9 日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
9 の日宣伝	5 月 1 9 日	
草の根 6 9 行動	5 月 1 9 日	高田・松本
あいち総がかり行動街頭デモ	5 月 1 9 日	竹内・市川
春の自治体キャラバン（常滑・南知多・美浜）	5 月 2 0 日	谷藤・小松
春の自治体キャラバン（碧南・西尾・幸田）	5 月 2 0 日	武藤・高木
春の自治体キャラバン（豊橋・田原）	5 月 2 0 日	若井
東海北陸ブロック労働相談研修会	5 月 2 0 日	竹内・市川
ライフトーク 2 0 2 6	5 月 2 0 日	竹内・市川
東海大王製紙 P 労組ハラスメント裁判第 2 回人証尋問	5 月 2 0 日	西尾・浜島・青木・薄・松本・高田
安保破棄実行委員会常任幹事会	5 月 2 0 日	市川
平和行進実委／原水協理事会	5 月 2 0 日	高田
春の自治体キャラバン（弥富・蟹江・飛島）	5 月 2 1 日	佐賀・住田・高田
春の自治体キャラバン（知立・安城）	5 月 2 1 日	武藤・薄
春の自治体キャラバン（設楽・豊根・東栄）	5 月 2 1 日	高木
サマセミブロック実行委員会	5 月 2 1 日	小松
クールクライメートあいち事務局会議	5 月 2 1 日	竹内
春の自治体キャラバン（岩倉）	5 月 2 2 日	
第 3 次最賃デー（名駅宣伝）	5 月 2 2 日	西尾・若井・柴田・武藤 ・竹内・佐賀・住田・高 木・近藤・小松・高田・市川
A i 青年協幹事会	5 月 2 2 日	川崎・小松
あいち平和行進出発集会	5 月 2 2 日	高田
愛友会定期総会	5 月 2 3 日	寺田
春の自治体キャラバン実行委員会	5 月 2 4 日	竹内・薄・小松
福祉保育労キンダーボルト分会結成お祝い会&記念学習会	5 月 2 4 日	薄・高田
全労連・メディア講座	5 月 2 4 日	西尾・薄・高田

会議・集会名称	日 時	幹事会・事務局参加者
A i 第 4 2 回事務局会議	5 月 2 6 日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
医労連あまこだ労組労働委員会	5 月 2 6 日	西尾・近藤
2026春の争議支援総行動	5 月 2 7 日	
A i 第 2 0 回幹事会	5 月 2 7 日	幹事 1 8、事務局 1
社保協地域医療委員会(424)	5 月 2 7 日	小松
憲法と平和を守る愛知の会	5 月 2 7 日	
あいち総がかり行動事務局会議	5 月 2 7 日	竹内
革新県政の会代表常任幹事会	5 月 2 8 日	武藤・竹内
労働相談センター第 6 回全体会議	5 月 2 8 日	谷藤・市川
福保労グリーンフェスティバル	5 月 2 9 日	薄
第 5 6 回愛知県消費者大会第 1 4 回実行委員会	5 月 2 9 日	高田
秋の自治体キャラバン実行委員会	5 月 2 9 日	小松
名労連結成大会	5 月 3 0 日	西尾・若井・竹内・佐賀・磯村・薄・北村・高田・佐竹
憲法と平和を守る街宣	5 月 3 0 日	西尾・住田・高田
あいち平和行進～愛知県入り	5 月 3 0 日	青木
若者憲法集会	5 月 3 1 日	
ケア労働者のための労働相談ホットライン	5 月 3 1 日	西尾・竹内・薄
あいち平和行進（奥三河地域）	5 月 3 1 日	青木・炭竈・高田
だまっちゃおれん訴訟・改組相談会	5 月 3 1 日	
全労連東海北陸ブロック最低賃金学習会	6 月 1 日	西尾・竹内・市川
関健一郎議員に最賃署名提出	6 月 1 日	西尾・武藤・竹内・青木
あいち平和行進（豊橋市～蒲郡市）	6 月 1 日	青木
あいち総がかり行動運営委員会	6 月 1 日	
あいち平和行進（岡崎市～安城市）	6 月 2 日	竹内・高田
愛知高齢者大会	6 月 2 日	渡辺よ
春の自治体キャラバン名古屋市懇談	6 月 3 日	武藤・竹内・高木
全労連地方労連事務局長交流会	6 月 3 日	竹内
あいち平和行進（知立市～刈谷市）中止	6 月 3 日	
学習協常任理事会	6 月 3 日	高田
社会的な賃金闘争対策委員会	6 月 4 日	竹内・市川
あいち平和行進（知多市～東海市）	6 月 4 日	
A i ケア労働対策委員会	6 月 4 日	西尾・薄・近藤・高木
A i 社会的な賃金闘争対策委員会	6 月 4 日	竹内・市川
あいち平和行進（瀬戸市～守山区）	6 月 5 日	佐賀
サマセミあいち実行委員会	6 月 5 日	川崎・小松
A i ケア労働・最賃愛知県懇談	6 月 5 日	西尾・竹内・薄・高木・市川
あいち平和行進（小牧～春日井地域）	6 月 6 日	
クール・クライメート火力発電所見学ツアー	6 月 6 日	竹内
全労連非正規全国交流集会	6 月 6-7 日	西尾・若井・佐賀
あいち平和行進（集中行進）ピースアクション	6 月 7 日	柴田・寺田・武藤・薄・北村・高田・松本・市川
あいち平和行進（岩倉市～江南市）	6 月 8 日	
消費者大会打ち合わせ	6 月 8 日	高田・竹内
A i 第 4 4 回事務局会議	6 月 1 6 日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
全労連幹事会・全労連地方組織幹事打ち合わせ	6 月 17-18 日	竹内
A i 女性協第 1 1 回幹事会	6 月 1 7 日	濱島・荒川・高田
平和行進実行委員会&原水協理事会	6 月 1 7 日	
安保破棄実行委員会常任幹事会	6 月 1 7 日	市川
愛知共済会一日事務局会議	6 月 1 7 日	小松
サマセミブロック実行委員会	6 月 1 8 日	小松
消費者大会実行委員会	6 月 1 9 日	高田
あいち総がかり行動6.19集会	6 月 1 9 日	西尾・寺田・竹内・磯村・住田・高木

会議・集会名称	日 時	幹事会・事務局参加者
第22回愛労連パート臨時労組連絡会総会	6月21日	西尾・柴田・濱島・若井・佐賀・磯村・薄・近藤・小松・高田・市川
春キャラ議会陳情（尾張旭市）	6月22日	竹内
社保協理事会	6月22日	小松
全労連オンラインメディア講座／労働組合のジェンダー表現をアップデートしよう②	6月22日	薄・高田
A i 第45回事務局会議	6月23日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
春キャラ議会陳情（半田市）	6月23日	小松
メーデー実行委員会	6月23日	西尾・竹内・佐賀・小松
労働会館幹事会	6月24日	西尾・加藤ゆ
秋の自治体キャラバン実行委員会	6月24日	小松・近藤
国民春闘共闘第2回単産地方代表者会議	6月24日	西尾・竹内
愛知共済会理事会	6月24日	渡邊よ・加藤ゆ・小松・高木
憲法と平和を守る愛知の会	6月24日	
瑞穂区労連解散大会	6月24日	竹内
春キャラ議会陳情（犬山市）	6月25日	小松
公務員賃金と最低賃金宣伝（雨天中止）	6月25日	
自治労連機関紙コンクール	6月25日	高田
JMITUオハラ中労委事件弁護団会議	6月25日	小松
最低賃金愛知学院前宣伝（雨天中止）	6月26日	
愛知最賃デー（労働局要請・最低生計費試算調査結果公表記者会見）・宣伝（雨天中止）	6月26日	西尾・武藤・若井・竹内・薄・小松・近藤・高田・市川
あいち総がかり行動事務局会議	6月26日	
県政ナイトあいち／愛知の兵器産業	6月26日	武藤・竹内
勤通大スクーリング&愛知学習協総会	6月27日	寺田・北村・高田
革新愛知の会2026年度世話人会	6月27日	西尾・武藤・竹内
きずな定期大会・結成45周年のつどい	6月28日	西尾
全労連26春の組織強化・拡大交流集会	6月28-29日	高田・恒川
春の自治体キャラバン実行委員会	6月29日	竹内・薄・小松
革新県政の会常任幹事会	6月29日	武藤・竹内
A i 第46回事務局会議	6月30日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
A i 第22回幹事会	7月1日	幹事21、事務局1
学習協常任理事会	7月1日	竹内・高田・市川
第525回愛知地方最低賃金審議会	7月2日	竹内・住田・高田・市川
A i 第3三半期会計監査	7月2日	佐賀・小松・佐竹・高木
公務員賃金と最低賃金宣伝②	7月2日	西尾・柴田・谷藤・武藤・竹内・磯村・住田・高田・市川
公務員賃金と最低賃金宣伝③	7月3日	竹内・磯村・小松・近藤・住田
A i 青年協幹事会	7月3日	川崎・小松
医労連定期大会	7月4日	西尾・谷藤・近藤
愛知共済会総会	7月5日	西尾・加藤ゆ・北村・小松
中央社保協総会	7月5日	
愛知県原水協草の根69行動（7日に変更）	7月6日	
あいち総がかり行動運営委員会	7月6日	竹内
A i 第47回事務局会議	7月7日	竹内・佐賀・小松・高田・市川
原水協核兵器禁止条約採択9周年記念行動	7月7日	磯村・高田・松本
A i 財政担当者会議	7月7日	谷藤・若井・竹内・佐賀・北村・小松・松本
A i 県政ナイトあいち／愛知の劣悪な社会保障	7月7日	武藤・高木

会議・集会名称	日 時	幹事会・事務局参加者
A i 第 1 0 回社会的な賃金闘争対策委員会	7 月 8 日	竹内・薄・市川
社保協四役会議	7 月 8 日	小松
A i 女性協幹事会	7 月 8 日	濱島・荒川・高田
9 の日宣伝	7 月 9 日	西尾・佐賀・市川
あいち平和行進まとめ集会	7 月 9 日	高田
全国一般アクリル争議中労委第 2 回調査	7 月 1 0 日	
韓国・民主労総のジェンダー平等の取り組みを学ぶ	7 月 1 0 日	西尾・近藤・高田
A i 新聞編集委員会	7 月 1 0 日	寺田・薄・桜井・高田
憲法と平和を守る愛知の会宣伝	7 月 1 1 日	薄・高田・市川
名労連第 2 回幹事会	7 月 1 1 日	竹内
自治体一般大府分会、国会議員との懇談	7 月 1 1 日	西尾
A i 女性協第 3 7 回総会・映画「五月の雨」上映&トーク	7 月 1 2 日	西尾・濱島・武藤・荒川・近藤・住田・高田
愛知社保協 2 0 2 6 年度（第 4 6 期）総会	7 月 1 2 日	柴田・谷藤・寺田・竹内・薄・小松・高木・松本

聴く、伝える、学びあう

愛労連第 72 回定期大会（7/21） 運動のすみずみに「対話と学びあい」を

愛労連は 7 月 21 日（月・祝）、名古屋市
中村区にあるフジコ
ミュニティセンター
で第 72 回定期大会を
開催し、代議員、特別
代議員、オブザーバ
ー、来賓など 167 人が
参加しました。

林達也副議長が開
会のあいさつ、議長団に矢野彩子代議員（医労連）、松本竹敏代議員（中村地域センタ



ー）を選出しました（写真右上）。来賓として全労連副議長の石川敏明さん、日本共産党愛知県委員会委員長の石山淳一さんが連帯のあいさつを行いました。

西尾美沙子議長はあいさつのなかで参議院選挙の結果をふまえて「日本人ファースト、核武装が安上がりだと主張する候補者がいた。私たち労働組合は先の戦争の痛苦の経験から差別・排外主義とたたかってきた。憲法を守り抜く」と強調。「物価高のなかで大幅賃上げ、最低賃金今すぐ 1500 円、

医療社会保障の予算増額」「5 万人対話で 5 千人の組合員拡大を」「対話と学びあいを大切に、労働者・国民の諸要求実現へ愛労連運動の輪を広げて行きましょう」と呼びかけました。

竹内創事務局長が情勢と運動方針、佐賀達也事務局長が決算と財政方針・予算を提案しました。続いて寺田英明副議長が「組織拡大表彰と新結成組合」の紹介、戦後・戦場 80 年セレモニーでは愛友会の大村謙則さんと高校生平和ゼミナールの代表がスピーチを行い、濱島ちか子副議長が特別決議「対話と学びあいで、戦争も核兵器もない未来をつくろう」を読み上げました。若井和則副議長が争議組合・争議団の紹介と特別決議の提案を行い採択しました。討論では 25 人（文書発言 1）が発言（単産 18、地域 5、青年協 1、女性協 1）。竹内事務局長が総括答弁を行いました。新たな執行部を選出（女性比率 35.5%）、大会スローガン及び大会宣言の提案・採択、柴田秀幸副議長が開会のあいさつを行い、西尾議長の団結がんばろうで閉会しました。大会の記事は、22 日に中日新聞が県内版カラーで、23 日にしんぶん赤旗が報道しました。大会の詳細は愛労連新聞 8 月 10 日号に掲載されます。

AIROREN ニュース

意見書、昨年超の 59 通

7 月 31 日の最賃審議会で説明か

愛労連は、最低賃金審議会あての「意見書」を昨年 47 通を上回る 59 通提出しようと呼びかけてきました。愛労連に到着したものを随時提出し、提出期限 7 月 24 日までに 59 通（愛労連関係）を提出することができました（写真は 24 日提出時）。

今回の「意見書」は、単産・地域の特色が明記され、現場から具体的な実態が記述され、そのうえで「今すぐ 1500 円」「1700 円必要」「中小企業支援」「意見陳述の実現」「すべての『審議』の公開」などを求めています。また、標題もひと目で意見書全体の内容がわかるようなものに工夫されています。

7 月 31 日に開催される審議会（下記）では、すべての「意見書」が審議会委員に配付され、労働局の担当から説明される予定です。どのような説明がされ、審議に活かされるか注目されます。

また、愛労連は昨年までの審議会資料が労働者の生計費にかかわるものが少なすぎることから、愛労連が行った最低生計費試算調査を審議の資料として活用すべきだと要請してきました。審議会で活用されるかも注目です。



最賃署名 9300 筆（紙）、オンライン署名 4997 筆を提出

愛労連は、昨年秋からとりくんだ「最賃署名」の第一次分を 7 月 4 日に提出してきましたが、24 日その後に集約された署名（紙：300 筆、オンライン 218）を提出しました（写真）。合計で 9300 筆と 4997 筆になります。昨年は紙：9210 筆とオンライン：4841 筆でした。紙の署名は目標の 1 万筆には届きませんでしたが、単産・地域の奮闘で昨年を上回ることができました。また、オンライン署名はその後増えており 7 月 28 日現在で 5086 筆となっています。QR コードがついたオンライン署名は今後もティッシュに入れ、街頭宣伝で配布していきます。

愛労連では、今後の宣伝活動として、中央最賃の目安額提示後と愛知地方最低賃金審議会からの答申後を計画しています。いずれも早期、三の丸の予定です。急の案内になりますが参加の準備をお願いします。

審議会を傍聴しよう

7 月 31 日（木）13:30～桜華会館

右の QR コードから 7 月 31 日の第 520 回愛知地方最低賃金審議会傍聴申込みを入力し送信する（他の審議会と間違えないように）。申し込み期限は 30 日の 17 時までです。



AIROREN ニュース

怒！意見陳述させず

7月31日の最賃審議会で労使委員が「予定しない」と結論

愛知地方最低賃金審議会が7月31日（木）午後2時から接合会館で開催され13人が傍聴しました。

愛労連が提出した署名（紙 9300 筆、オンライン署 4997 筆）が中央に置かれ、提出された 60 件（うち 1 件は使用者）の「意見書」が事務局から 22 分にわたり説明されました。

冒頭、愛労連の意見書が読み上げられ、次の内容が紹介されました（要旨）。「1600 円への引き上げ」「全国一律制」「中小企業支援」「二者協議も公開し議事録の作成を（中央では正式な場で協議、愛知は間の中）」「全国 47 地方審議会中、34 の審議会で意見陳述が実施され、昨年岐阜でも実施された。行方べき」「労働者の生計費の資料として愛労連作成の愛知県最低生計費試算調査の活用を」「答申書に改定額の経緯・理由・根拠の明示を」。

会長から質問がある委員は？とあり、使用者委員が「全国一律と愛知の審議との関係は？」「署名と意見書の関係は？」と発言しました。そして「意見陳述の申出があるが本年度、当審議会での必要性は？」とあり、労働者委員から「事前に目を通した。昨年を越える物価高で最賃近傍の労働者は厳しい生活があり大幅引き上げを求める。意見書の内容と方向性は同様で労働者委員としては予定しない。意見書をふまえて審議に臨みたい」とし、意見陳述の必要はないと発言しました。使用者委員も「必要ない」と発言し、会長が「意見陳述の場は必要ないか」と各委員に確認。多数決も拍手もされることなく「意見陳述なし」と結論付けました。



一方、29 日の専門部会とこの日の審議会に、愛労連の作成した「愛知県最低生計費試算調査（若年単身世帯）」などが配付されたのは初めてです。事務局の資料としての配付は初めてです。

【提出された意見書～7月31日の最賃審議会で配付された団体からの意見書名簿の順】

①愛知県労働組合連合会（愛労連）、②全日本建設交通一般労働組合（建交労）愛知学童保育支部、③全労連・全国一般労働組合愛知地方本部コアレス労組、④全労連・全国一般労働組合愛知地方本部日本アクリル支部、⑤全労連・全国一般労働組合愛知地方本部、⑥日本自治体労働組合連合会愛知本部、⑦生協労働組合あいち労働組合、⑧豊橋市職員労働組合、⑨愛知県高等学校教職員組合、⑩愛知県高等学校教職員組合豊川特別支援学校分會、⑪愛知県高等学校教職員組合名古屋南学校分會、⑫尾張中部地区労働組合連合会、⑬東三河労働組合連合会、⑭愛知県国家公務員一般労働組合、⑭愛労連非正規公務員 1 万人組織化プロジェクト、⑯朝日新聞労働組合、⑰全トヨタ労働組合（A TU）、⑱日本企業労務情報連携労働組合（JMITU）、⑲河川河川地労働組合連合会、⑳全日本国立短大労働組合（全短労）愛知地区協議会、㉑愛労連パート職員連絡会、㉒生協労働組合愛知協議会、㉓新都市職員組合、㉔全労連・全国一般労働組合愛知地方本部名古屋地域支部、㉕全労連・名古屋中部地域労働組合センター、㉖中京非正規ユニオン、㉗第 103 回全国労働行動実行委員会、㉘新東海の会、㉙愛知県道運労働組合連合会、㉚尾張東員労働組合、㉛愛知県高等学校教職員組合春日井分會、㉜愛労連労働相談センター、㉝名古屋ふれあいユニオン、㉞愛知地区農協関係労働組合連合会、㉟愛労連最低賃金・公契約対策委員会、㊱千種名古屋地域労働組合連合会、㊲名古屋市立大学教職員組合、㊳神宮寺労働組合、㊴愛労連女性協、㊵愛労連ローカルユニオン、㊶愛知県社会保険推進協議会、㊷愛労連・ケア対策会議、㊸愛知地域労働組合きずな、㊹北地区生活協同組合労働組合、㊺豊田産業労働者ユニオン名古屋支部、㊻豊田産業労働者ユニオン愛知県協議会、㊼愛知県教職員労働組合協議会、㊽愛知地区教職員労働組合、㊾尾北教職員労働組合、㊿一宮市教職員労働組合、㊿愛知県国公立教員関連労働組合共同会館、㊿全日本建設交通一般労働組合（建交労）愛知本部、㊿生協労働組合生協名古屋地区統一労組、㊿全国福祉教育労働組合東海連会本部、㊿自動車工業労働組合内車体オート工業連合会労働組合一般分會、㊿日付自動車労働組合、㊿ワークス豊田士派遣労組一般分會、㊿自動車工業労働組合内内車体オート工業連合会労働組合一般分會、㊿生活保護基準引き下げ反対愛知連絡会、㊿名古屋タレント協会

最低生計費を採用

全国初！最賃審議会資料に愛労連の試算調査

7月29日に開催された最賃審議会第1回専門部会に、愛労連が作成した「最低生計費試算調査結果（冊子とカラーリーフ（写真）」をはじめ、地域最低賃金と人口の社会的増減の比較図、若者が東京圏に流出、最低生計費総括表＝全国版の資料が採用されました。

最賃審議会事務局提供の資料として愛労連が作成した資料が入るのは初めての事です。

7月31日の審議会でも「最低生計費試算調査の冊子・カラーリーフ・カラーの署名用紙」が全員に配付されました。

これまで、労務局が提供してきたのは、労働者の生計費資料2点（二人以上の世帯など）、労働者の賃金4点、事業の賃金支払い能力12点でした（いずれも昨年）。6月24日の東海北陸ブロック要請、7月4日の愛労連要請（文書・署名提出）において労働者の生計費の資料の少なさと内容について追及した結果です。愛労連は説明（意見陳述）（15分程度）を求めましたが、実現はしていません。今後の課題です。

中央からの目安額を説明(8.5 審議会)

8月5日、第521回愛知地方最低賃金審議会が開催され（傍聴6人）、中央最賃審議会からの目安額（答申＝愛知63円など）の説明がありました（写真＝挨拶する小林洋子労働局長）。今後専門部会（次回は8月7日）で審議され、次の審議会は8月21日（木）と報告しました。

これまで労務局が提出した資料によると、8月21日に答申なら（異議書受付9月5日）、10月18日発効とされています。今後の審議が注目されます。

愛労連としては今後、①答申後に三の丸宣伝（8時～）、②異議書のとりくみ、③新最賃額周知と1500円宣伝（名古屋駅）を予定しています。



核兵器廃絶の決意

被爆 80 年、原水爆禁止 2025 年世界大会に西尾議長らが参加



8月3日から6日まで、原水爆禁止 2025 年世界大会が広島で開催され、愛知からは青年学生・中高生 27 人を含む約 200 人が参加（長崎含む）。被爆 80 年の節目の年に多くの若い世代が参加し、被爆者のない世界を訴えました。広島大会には、愛労連から西尾議長をはじめ、副議長の寺田さん（愛高教）、濱島さん（医労連）、幹事の磯村さん（自給労連）、加藤さん（タクシー協働会）、松本さん（愛高教）、単座から橋保労、自治労連、医労連のなかまなどが参加しました（写真は愛知の参加者）。

日本平和大会、実行委員会が加速

10月25日（土）～26日（日）、日本平和大会 in 愛知が開催されます。すでに実行委員会が 10 回開催され、26 日の夕刻から行われる「学びと交流のつどい」は 8 つテーマがあり、愛労連と単座が実行委員会に加わっています。参加は 2 日間で全体 2400 人、愛知から 1200 人、愛労連から 400 人が目標です。成功させましょう。



最賃・人勧大幅アップ

みんなのたたかいで勝ちとった大幅引き上げ

8月1日、厚労省が公表した「民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況」によれば、労働組合のある大企業（資本金 10 億円以上、従業員 1,000 人以上）390 社の 25 春闘の平均賃上げ妥結額は 18,829 円（5.58%）で、前年（17,415 円）比 1,214 円上回る結果でした。

それでも、実質賃金（2025 年 6 月）は 6 ヶ月連続のマイナス。夏季一時金が支給されたにもかかわらず下がっています。物価高騰に賃上げが追いつかない証です。

8月4日、ようやく 2025 年度の最低賃金の目安が、中央最低賃金審議会から厚労大臣に「答申」されました。その目安は、過去最大の全国平均で 63 円（6.0%増）引き上げで、時給 1,118 円となるものです。同日、石破首相は「内閣の『2020 年代に全国平均 1,500 円』という高い目標に御意をいただきながら、データに基づく真摯な議論が行われていったというふうに承知をいたしている」と語り、実質賃金の改善には最賃など「政策的（制度的な）賃上げ」が必要なことを認めました。

そして、8月7日には、国家公務員の給与にかかわる勧告が人事院から政府に示されました。その内容は月例給 3.62%（8%を超える賃上げは 84 年ぶり）、一時金 0.05 月の引き上げを求めるものです。川本総裁から「勧告」を受けとった首相は、「民間で広がりを見せている賃上げの状況が反映されたもので、公務員全体の人材確保に資する内容だ」と述べました。

社会的な賃金闘争が成果を生んでいる

「過去最高」や「84 年ぶり」となる成果を勝ちとったのは、私たちの運動の成果です。25 国民春闘で、生活を改善できる賃上げをめざし、首相が掲げる「賃上げこそが成長戦略の要」という理念を実現するには、政策的に「最低賃金」と「公務員賃金」などの引き上げでけん引する必要があります。まさに、愛労連が大会方針で掲げた「社会的な賃金闘争」が賃上げを勝ち取れる方針である事を示しています。

秋学期末闘争では、「公的価格」の引き上げによるケア労働者の処遇改善、目安額を上回る愛知県最低賃金の実現、人事院勧告を超える地方公務員の賃上げ、非正規公務員制度の改善による男女の賃金格差の是正など、みんなの運動で前進を勝ちとるチャンスです。



（上）過去最高の引き上げを決めた中央最低賃金審議会、（下）石破首相に 34 年ぶりの賃上げ勧告を手渡す人事院の川本総裁

ジェンダー平等で懇談

愛知県弁護士会と愛労連 8月7日/2時間

愛労連と愛知県弁護士会は8月7日(木)、愛知県弁護士会館で、「ジェンダー平等」をテーマに懇談を行いました。

愛知県弁護士会からは川合伸子会長(写真の右から2人目)、小川洋子副会長



(同右)はじめ、西村俊一副会長、宮崎亮弁護士。愛労連からは西尾美沙子議長、武藤貴子副議長(自治労連愛知県本部新委員長)、磯村和佳子幹事(名古屋市職労新委員長)、佐賀達也事務局次長が参加、懇談は2時間にわたりました。

愛知県は、ジェンダー格差が大きく、その背景に今もさまざまな場面に残る「性別役割意識」があること、愛知の男女賃金格差は、男性100に対して女性73.2と全国43位。管理職における女性の割合は全国最下位と課題が多く、これが女性の東京圏への人口流出につながっている背景のひとつにあることなど、内容の濃い意見交換の場となりました。

昨年の臨時大会(24.1.21)でのジェンダー平等宣言を採択し、非正規公務員の処遇改善のとりくみなどを紹介しました。

自治労連の新役員がごあいさつ

7月31日、先の大会で新任された自治労連委員長の武藤貴子さん(写真中央)、名古屋市職労委員長の磯村和佳子さん(同左)が着任のあいさつに、前愛労連副議長・自治労連委員長の林達也さんが退任のあいさつに來られました(愛労連事務所)。

武藤さんは愛労連副議長、磯村さんは愛労連幹事として奮闘されます。



過去最高も目安超えず

最賃審議会が1,140円を答申 労働者委員は反対(8/21)

愛労連の竹内事務局長は、8月21日の愛知地方最低賃金審議会(写真)から愛知労働局長への答申に対しての談話を発表しました。概要を紹介します。

1 愛知地方最低賃金審議会は8月21日、2025年度の愛知県の最低賃金を現在の1,077円から63円引き上げ、1,140円(5.8%)とする答申を愛知労働局長に行った。(効力発生10月18日)

2 19日、大村知事は赤澤経済再生担当(賃金向上担当)大臣の申し出を受け、「最賃上げに関する意見交換」を行った。赤澤大臣は「愛知県には全国の最低賃金の牽引役になってもらいたい」「目安額を超えて上げた場合には、国の補助金などによる重点的な支援など、最低賃金引上げに対応する中小企業・小規模事業者へ大胆な後押しを検討している」と説明した。20日、大村知事が臨時記者会見をし「気持ちとしては目安を超える引上げ」「目安額以上での決着が望ましい」と考えを述べ「今日中に審議会長に届ける」と回答した。愛知県知事が最低賃金の引き上げについて意見をするのは初めてのことで、知事のこうした行動を歓迎する。それにもかかわらず、



21日の審議会では、会長からも労働局からも、知事のコメントに対する「受け止め」「見解」「説明」等の発言がいつさなかったことは、県民にも県内の事業者に対しても不誠実であると指摘せざるを得ない。

3 愛労連は、この1年「今すぐ1,500円」を求める署名・宣伝を行ってきた。全国の運動も活発で、世論形成が図られ、物価高騰・実質賃金低下のなか、政府が「2020年代に全国平均1,500円」の目標をかかげた。全国では知事からも要請が行われ、目安額を上回る答申が相次いでいる。鳥取9円、島根8円、石川7円、福井6円、茨城6円、Aランク1円など、21地方中16地方(8/25時点では、28地方中21地方で75%)で目安を上回る答申が行われる中、愛知の目安どおりを労働者・県民は受け入れることはできない。

4 略

5 審議会では、愛労連が実施した「最低生計費試算調査」(20代:単身者)を労働局提出の資料として初めて採用したことは評価に値する。多くの地方審議会では実施されている意見陳述は実施されず、実施しない理由も明確でない愛知審議会の閉鎖的な姿勢は労働者・県民の理解を得ない。

6 愛労連は「審議会の活性化」を求めたが、公労使各1名の委員以外は、ほとんど発言がなく、皆無の委員が多数だった。委員には多額の手当が支給されており、それぞれが各分野を代表して選任されているのであり、全委員から発言があつて然るべきではないか。それが県民に付託された委員の役割だ。

7 愛労連は、異議書の提出(異議審9月8日)を県内労働者・労働組合に広く呼び掛けるとともに、大村県知事に改めて審議会に意見するよう求める。労働者・県民の生活を改善するために「最賃今すぐ1,500円、めざせ2,000円」の実現、全国一律最低賃金制度の確立に向けて奮闘する。

2025年8月21日 愛労連事務局長 竹内 創

63 円では足りない

答申に異議宣伝 東海テレビ・テレビ愛知・中日新聞・しんぶん赤旗が取材

8月21日(木)、愛知地方最低賃金審議会長は愛知労働局長に最低賃金 1140 円を答申。目安額どおりの 63 円引上げでは、物価上昇に追いつかず生活改善には足りない額です。

全国では 7 割を超える地方で目安額を上回る答申が相次いでいます。秋田 16 円、鳥取 9 円、島根 8 円、石川 7 円、福井 6 円、茨城 6 円、A ランクの千葉でも 1 円など、29 審議会中 21 審議会です。目安どおりでは労働者・県民は受け入れることはできません。また、大村知事が 8 月 20 日(臨時)と 21 日(定例)の記者会見は、初めて最賃引上げに触れました。

こうしたなか、愛労連は 8 月 26 日(火)午前 8 時から異議申出を呼びかける宣伝を行い 15 人が参加。ピラ(ティッシュ入れ=右) 658 部を配布しました。

東海テレビ、テレビ愛知、中日新聞、しんぶん赤旗が取材しました。最賃宣伝でこれほど多くの報道機関が取材するのは初めてです。



宣伝終了後、労働局賃金課に出向き、竹内事務局長が異議書(愛労連、全医労)とオンライン署名の追加分 1917 筆分を提出。署名の合計は、紙の署名 9300 筆分、オンライン署名 6914 筆分で合わせて 16214 筆分となりました。

意見書(59)を上回る異議書の提出を呼びかけています。

異議書提出は 9 月 5 日まで。労働局長に直送が、3 日までに愛労連に

異議あり
最低賃金 1,140 円では物価高に追いつきません
国・県・市・町・村の目安額を上げる
引上げを!

最低賃金の一丁目は生活計費
大村知事コメントをどう思いますか?
中・小企業は生活計費をどう思いますか?

全国で働く労働者の賃金引き上げ
もっと引き上げを!声を聞けよう

愛知労働組合 愛知労働組合 愛知労働組合
0120-378-080



物価高超える賃上げを

名古屋市人事委員会へ給与勧告要請書提出(8月19日)

8月19日(火)、愛労連・医労連・建交労・生協労連・福祉保育労は連名で、名古屋市人事委員会に対して、「2025 年給与勧告に対する要請書」を提出しました(写真)。要請項目は 7 項目で「物価高騰を上回る月例給・一時金の引き上げ」「地域手当を基本給に組み入れる」「55 歳以上の昇給停止をやめる」「市職員の兼業制度の安易な拡大をしない」「私傷病による減免制度の賃金全額保障期間の拡大」「会計年度任用職員の労働法等の遵守」「長時間労働の解消と定員の増員」。



人事院が 8 月 7 日、国会と内閣に対し、国家公務員の給与と人事管理に関する勧告を行いました。月例級では官民格差が 1 万 5014 円(3.62%)あるとし、大卒者(一般)で 232,000 円(+5.5%、12,000 円)と若年層の改善に重点をおきつつも、中高年層などこれまで改善がすすんでいなかった世代にも昨年を上回る改善勧告が出されました。一時金についても 0.05 月(12 月支給分の期末手当 0.25 月、勤勉手当 0.25 月)引き上げ、年間 4.65 月と昨年を上回る勧告となっています。こうした改善は、私たちのこれまでの運動が大きな役割を果たしました。



長年にわたって要求してきた比較企業規模については、50 人以上から 100 人以上に戻しましたが、本府省職員のみ東京 23 区内の 1000 人以上の企業規模を対象に比較を行いました。

期間業務職員の処遇について一切触れられていません。改善は進んでいますが、正規と非正規の不合理な格差があります。

なお、公務共闘・自治労連・愛労連は、9 月 1 日(月)、愛知県人事委員会に申し入れを行います。それに先立ち 8 時から三の丸で宣伝を行います。

異議あり
最低賃金 1,140 円では物価高に追いつきません
国・県・市・町・村の目安額を上げる
引上げを!

最大の収入だったものの、国の中央最低賃金審議会が示した目安と同額だった。物価高が響く中で、労働者の生活実態を慮っていないとして突如とした。
愛労連連下の組合役員 15 人が参加。「最低賃金 1,140 円では物価高に追いつきません」と書かれた横断幕を掲げ、通勤客に最低賃金のさらなる引き上げの必要性を訴えるチラシを配った。

愛知労働局によると、今回の給与の異議申し立てを 9 月 5 日まで受け付けている。異議があった場合、9 月 8 日に審議会を開く。

8 月 27 日の中日新聞(県内版)。同日、しんぶん赤旗にも掲載。
26 日には、東海テレビ(昼)とテレビ愛知(夕方)も報道した。

実質賃金上げる勧告を

愛労連・公務共闘・自治労連が愛知県人事委員会に要請（9/1）

9月1日（月）愛労連・公務共闘・自治労連は、愛知県人事委員会に対し、「2025年給与勧告に対する要請書」を提出しました。要請団は愛高教2名、自治労連2名、福保労1名、愛教労1名、名高教1名、愛労連1名で、愛知県人事委員会からは4名が参加しました。

要請内容は、給与改善、教職員処遇、非正規雇用、主務教諭制度、通勤環境、ハラスメント対策、週休3日制度など幅広い課題です。

はじめに、愛労連の西尾議長は「人事院勧告が30年ぶりにすべての階層で給与引き上げを勧告したことを歓迎する。しかし、物価高騰で実質賃金は低下しており、県民のくらしを守る立場でも愛知県



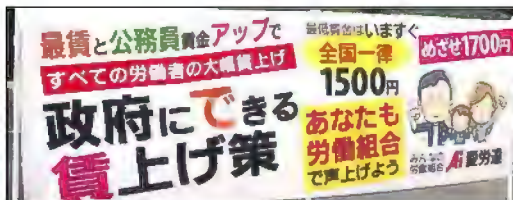
の給与をはじめ処遇の改善に努めるよう要請する」とあいさつをしました。

懇談では、「民間大企業（トヨタなど）では賃上げ進行、県も積極的な引き上げを求める」、「主務教諭制度は分断・差別につながり強く反対」「担任・副担任制度は教員間に分断を持ち込むものであり、個別加算手当は不要」「公共交通が使いづらい学校現場の現実に即した通勤手当制度、駐車場整備を」「単なる給与引き上げにとどまらず、公務職場全体の労働環境・制度設計の見直しを」「定年延長者の賃金は、仕事が変わらないのに定年前に比較して7割、実際は6割で見直しを求める」、「民間福祉・保育への影響も見据えた県の人事政策、県の監査体制強化、人員体制の整備も急務」「すべての非正規・会計年度任用職員の安定雇用・格差是正、四月週を実現、パートタイム・有期雇用労働法の適用を」「ジェンダーギャップ指数の改善など女性職員の処遇改善を」など求めました。

愛知県人事委員会は、一定の理解を示しつつ、国基準を踏まえた上でのバランスの取れた改善を目指すとし、個別課題についても継続的に検討する姿勢を見せました。

ピラ 550 枚配布

要請に先立ち、8時から三の丸で宣伝行動を実施。10人が参加して、最賃引き上げも同時に訴え、ピラ 550 枚を配布しました。



医療・介護・福祉の充実を

いよいよ始まるケア労働者賃上げアクション

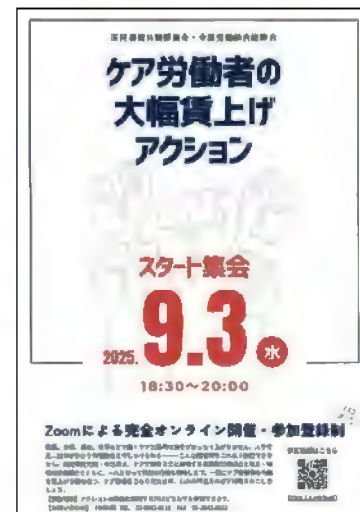
愛労連秋半年末闘争の重点の1つである「ケア労働者の大幅賃上げアクション」。その具体化を議論する第1回ケア労働者対策委員会が9月1日に行われました。推進体制は、愛労連と関係単産（医労連、福保労、自治労連、生協労連、建交労、名古屋市職労）で構成されます。

関係単産だけでなく、すべての単産・地域でケア労働者の大幅賃上げを推進する行動を展開します。

国民春闘共闘委員会・全労連は、9月3日（水）18:30～20:00まで完全オンラインでアクションスタート集会（右のピラ）を開催します。愛労連から福祉保育労働東海地本の西田知也書記次長が特別報告します。参加登録は右のQRコードから。



11.6地域総行動（全国統一行動日）でも宣伝などを計画します。運動の展開は、単産・地域代表者会議（9月17日）にて報告します。



「将来、自分が加害者になりたくない」 若者気候訴訟学習会



「明日を生きるための若者気候訴訟」と「クール・クライメートあいち」は30日、ウイングあいちで学習会を開催し、会場とオンライン合わせて約70人が参加しました。弁護団の小出薫弁護士から、「いまさらだけど訊きたい若者気候訴訟」と題して、気候危機とCO2排出、削減のとりくみの現状と訴訟で何を根拠に排出差し止めを求めているかなどの説明がされ、1問1答で質疑が行われました。その後、2人の原告（写真）がベネラーとなり、気候危機や原告となった思い、将来に自らが加害者になりたくないという原点などを語りました。9月17日（水）には、14時から第4回口頭弁論が行われ、原告が意見陳述を行います。傍聴をお願いします。

目安上回る地方 82.2%

異議申出の受付、9月5日（金）まで

全国では、例年
以上に審議を重
ねている地方審
議会の答申が相
次いでいます。

【目安を上まわ
る地方】

+16 円：秋田、
+15 円：群馬、岩
手、福島/+14
円：愛媛、長崎
/+13 円：山形、

+12 円：青森/+10 円：佐賀/+9 円：鳥取、鹿児島/+8
円：島根/+7 円：石川、宮崎、沖縄、高知/+6 円：福
井、茨城、/+3 円：香川、徳島/+2 円：新潟、北海道、
宮城、奈良、広島、福岡、岡山、和歌山/+1 円：栃木、
千葉、兵庫、三重、富山、岐阜、山口、山梨、京都。

【目安通り】東京、神奈川、埼玉、長野、滋賀、大阪、愛知、静岡

【目安を上まわる地方数（ランク別）】

A（6 地方）/1、 B（28 地方）/25、 C（13 地方）/11 ⇒45 地方中 37（82.2%）が上回っています。

一方、発効日を 11 月以降に指定したのは約 56%にのぼっています。

9月3日までに団体・個人 37 通の異議申出を提出

愛知審議会は 8 月 21 日、目安額 63 円通りの答申を行いました。同日、愛知労働局長は、この答申に対
する「異議の内容及び理由を記載した異議申出」の公示を行い、「9 月 5 日までに愛知労働局長あてに提出
をされたい」と通知しました。愛労連事務局では、愛労連に送られてきた団体・個人の「異議申出」を 9
月 3 日までに 37 通労働局に提出しました。4 日中に愛労連に送っていただければ持ってい
きます。昨年は 54 通で 40 分説明しました。

提出された異議申出の審議をする愛知地方最低賃金審議会が 9 月 8 日（月）午前 9 時 30
分から KKR 名古屋で開催されます。多くの参加で傍聴しましょう。申し込みは⇒



異議 59 も 1,140 円決定

申出内容 40 分説明、新最賃額 10/18 効力発生

9 月 8 日、KKR ホテル名古屋で第 523 回愛知地方最低賃金審議会（異議審）が開催されました。傍聴者
は 11 人、報道関係は 4 社でした。

9 時 30 分開会。労働局長から審議会会長あてに「最低賃金審議会の意見に関する異議の申出」について
諮問が行われました。提出のあった「異議申出」60 通（うち一通は使用者団体）（昨年は 54 通）の説明を
事務局が約 40 分行いました。

主な内容は、①答申額 1,140 円では足りないこと、②審議会会長が愛知県知事のコメントを無視したこと、③愛労連の生計費資料説明や意見陳述をさせ
ないこと、④非公開・議事録なしの休会中の「協議」に対すること、⑤ 8.21 答申に「経過・理由・
根拠」の記述がない、⑥違法判決の生活保護費と
比較していること、⑦中小企業への「支援要望」
（国と県に対して）です。



この異議申出の内容について、労働者委員から「我々が主張してきたことと同じだ。物価高騰で生活改善
ができないことも主張してきた。昨年の 50 円、今年 63 円の引上げは前向きに受け止めるが、我々の要求か
らすれば残念な額だ。価格転嫁も必要だ。全国 39 審議会でも目安額を上回っていることは大きな流れだ。来
年も続くのでその波から遅れないようにしなければならない。東海を引っ張る力を愛知から発信しなけれ
ばならない。愛知県知事からの発言を審議会会長としてコメントしたほうがよい。中小企業への支援強化、
年収の壁、社会保障の見直しなど実効ある施策を政府・行政に求めたい」。

使用者委員から「これだけ多くの異議申出があったということは最賃の関心の高さを表している。中小企
業支援の声が多く寄せられたことに感謝する。地方では発効日を 3 月にするなどの動きもあるが、それでは
（効果も）半減する。発効日をいち早くしたほうがよいと考える。支払い能力から 3.32%、35 円を主張し
てきた。改めて審議をすれば発効日がずれるこ
とになる」。

中山会長、またも知事発言無視

中山会長から「物価動向、賃金アップ、価格転
嫁、統計データから議論してきた。異議もあるが、公益としては 8 月 21 日の答申通り決定したいというの
が結論だ」とし、多数の異議申出にあった知事の発言に対するコメントもなく、答申することが決定するこ
とが適当と結論づけました。

このあと会長から局長に対し「時間額 1,140 円」などの答申が手交されました。労働局長は「愛労連はじ
め 60 件の異議申出があり審議され、その結果 8 月 21 日の答申通りと決定いただいた。9 月 18 日に官報掲
載、10 月 18 日効力発生となる。今後、新最賃額の周知、広報活動に全力を尽くす。中小、零細企業への支
援は（助成金など）、関係団体と自治体が連携し周知に総力をあげる」とあいさつしました。

つながる公共の再生

秋闘ケア労働者大幅賃上げアクションスタート

25 秋闘ケア労働者の大幅賃上げアクションスタート集会在 9 月 3 日、国民春闘共闘委員会、全労連の主催でオンライン開催されました。

決意表明は、日本医労連、福祉保育労、自治労連、全国一般、生協労連、建交労、東京地表、愛労連の 8 団体。

愛労連は、福祉保育労の西田書記次長、生協労連はコープあいちの小林さん、建交労は学童保育愛知県本部の立嶋さんと愛知から 3 人が発言しました。西田さんは、①愛労連ケア労働者対策委員会で産別を超えた運動を追求し、連帯が強化されたこと、②福祉サービス会社「恵」不正問題でのとりくみで行政の監査体制強化を求め、県と市が相当職員の増員を行ったことなど「社会的な賃金闘争」と「公共の再生」を一体にとりくんだ成果などを報告しました。また、これらのとりくみを通じて、昨年 7 月の結成当時 15 人だった福祉保育労の組合員が 40 人に増え、4 事業所では過半数を握っていることを報告しました。

集会は全体で約 170 人、愛知からは 20 余人が参加しました。



残業時間切り捨て、勝手に有休など不満蓄積

仁聖会労働組合結成～医労連

9 月 6 日、碧南市にある透析クリニックの「医療法人仁聖会 碧南クリニック」で新しい組合が結成されました。

組合名は、「仁聖会労働組合」です。ハラスメントの相談がきっかけですが、残業時間が 1 時間未満切り捨て、有給休暇を取得する際に理由を何度も聞か

れる、勝手に有給休暇が入れられるなどの不満が多数出てきました。職場環境を改善して働きやすい職場にするため仲間を増やすなかでの結成です。西三河労連にも加盟しました。9 月には要求書を提出し、10 月に団体交渉も予定しています。結成大会には、全国からメッセージが寄せられました。

最賃

来年へ大きな財産

署名・宣伝・要請・意見書・異議書・報道

愛労連 NEWS 617 号 (9/8) やマスコミ報道でもあるように、愛知県の最低賃金は、10 月 18 日 (土) から 1,140 円になります。

愛労連の竹内事務局長は 9 日、「最低賃金 1,140 円では生活を改善できない」とする談話を発表し、単産・地域組織とテレビ・新聞の報道機関に送りました。(談話全文は、愛労連の HP にアップ)

談話では、「異議申出」が近年最高の 59 件 (24 年=54 件、23 年=47 件、22 年 36 件) となった背景に「10 月



7.14 名古屋駅



6.19 愛知学院前

から飲食料品の値上げが 3 千品目を超えることなど生活不安が背景にある」とし、異議書全体の内容を 8 点にわたり説明しています。「答申額では足りない」「全国で 8 割の審議会が目安を上回る答申を出している」「愛知県知事を目安額を上回るコメントを会長が無視」などです。

また、「愛労連は、昨年秋から署名や宣

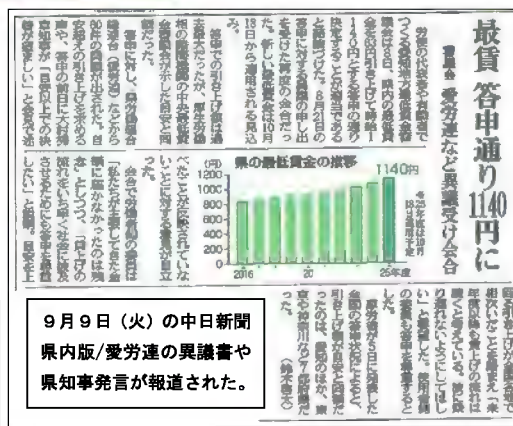
伝活動とともに、労働局・審議会・県知事への要請、昨年大幅引き上げを後押しした徳島県庁からの学習、近年では最高となった意見書・異議書の提出運動にとりくみ、大幅引上げの必要性を世論化してきた」と述べています。こうした活動は、テレビ・新聞が報道してきました

来年につながる大きな財産です。

新最賃周知&1,500 円宣伝

10 月 18 日 (土) 11 時～12 時

名古屋駅



9 月 9 日 (火) の中日新聞
県内版/愛労連の異議書や
県知事発言が報道された。

ストップ、戦争への道

あと1カ月余、日本平和大会 in 愛知 (10/25-26)



10月25日(土)～26日(日)に愛知県で開催される「日本平和大会」が、あと1カ月余に迫りました。

実行委員会は昨年より開催され8月25日で11回を数えます。10月25日の16時から、8つのテーマで行われる「学びと交流のつどい～愛知から見る平和の今～」の打ち合わせも同時並行的で開催されており、連労、医労連、愛高教、自治労連、年金者組合、福祉保育労、名古屋市職労、愛労連事務局が奮闘しています。

いま、県内各地で、さまざまな団体が「パンフ：ストップ！戦争する国づくり、チェンジ！平和外交の道へ」を活用したミニ学習会を行っています。

愛労連では8月27日の幹事会で愛知県平和委員会の矢野事務局長(写真)を迎えて30分学習を行いました。パンフレット(一部)は、単産・地域組織に送付していますので、計画をお願いします。(講師依頼は062-931-0070/平和委員会まで)。

全国から多くの参加者が愛知に来ます。大会の成功のためには、会場案内、会場設営、受付、パレード先導の運転手など、多くの要員が必要です。みなさんのご協力をおねがいします。



地域運動への期待大

東三河労連が第37回定期大会(9/14)

9月14日(日)
アイブテザ豊橋小ホールにて東三河労連第37回定期大会が行われ、代議員、役員、傍聴、来賓など60人参加しました。開会のあいさつに立った伊藤議長は、「東三河労連が地域



の振興の発展に貢献してきたこと、豊橋公園アリーナ問題の住民投票でも一定の動きを作り出してきたことなどについて話しました。



愛労連の佐賀事務局長(写真)、「東三河労連の地域での役割、そして平和行進等でも高校生や奥三河の仲間まで幅広く活躍の場を広げたことを評価」、また「世代交代が焦眉の課題となっているが、労働組合がこの問題を克服していくためには、子育て世代でも、非正規雇用でも、若者でも、誰でも参加できる組織のあり方を作り出していかなければならない」と訴えました。

討論では、①東海大王パッケージ労組：裁判支援に感謝、12月には、東京で再度争議支援行動をする。年明けには48人の法廷を得意で埋め尽くしたい。強力な粘り強い支援を！、②蒲郡市職労：地産網中止が7年ほど続いている。楽しみに持っている組合員から予備日を設けてでも実施してほしいとの声がある「蒲郡市民病院が10億円の赤字状態。2026年の診療報酬改定に向けて、東三河労連としても強い行動を提案してほしい」、③年金者組合：「社会保障に対する攻撃は非常に強い。10月12日には年金一投。組織拡大も全力でとりくんでいるが実情は厳しい。現役の皆さんも退職したら年金者組合に加入してほしい」。全議題が提案通り可決され、最後に全員で集合写真を撮って閉会しました。(東三河労連発)



いいね！3つの大切

「対話と学びあい」集中期間に向けて準備をすすめよう

愛労連は、「対話と学びあい」推進、仲間増やし集中期間」を11月～2月（準備会館9月～10月）に設定し、「仲間を増やして要求実現」の実践にむけて、職場の全組合員・未加入者を対象にした「要求対話」「作戦対話」「仲間ふやし対話」を展開しようと呼びかけています。

月間後半の1月と2月は春闘アンケートのとりまとめと要求練り上げ、「作戦対話」と「仲間ふやし対話」をすすめます。

10月11日（土）から13日（月）に開催する「レバカレ2025」は、全労連の組織と運動の飛躍をはかる機会として成功に全力を上げます。レバカレの参加は、9月19日時点で愛知から37人、この数は全国参加の10%でダントツ1位。自治労連からは21人の参加が予定されています。まだ、集約中の単産もあり、愛知の参加者はさらに増える見通しです。

愛労連は9月25日（木）、「対話と学びあい」の学習として、愛高教書記次長の松本陵子さんが組織拡大の実践を通じて感じた「労働組合の大切さ」「濃厚対話の大切さ」「1人ひとりの大切さ」の「3つの大切」を話します。組織拡大がなかなか進まない、「対話と学びあい」ってどうすればいいの？と悩んでいる役員へのメッセージです。多くの参加を呼びかけています。



会場あふれる参加

9月14日（日）労働会館東館ホールで革新・愛知の会の講演会が行われ会場あふれる180人が参加しました。講師は一橋大学の渡辺治名誉教授でテーマは「参議院選挙後の激変する情勢と求められる革新運動」。渡辺氏は「消費税減税、医療・介護の充実を訴える運動を革の根から。政治を変えるための共同を大きくしよう」と呼びかけました。



仲間ふやしと可視化を

全国一般 昨年比7人上回る

9月20日、労働会館本館会議室にて、全労連・全国一般愛知地本第53回定期大会が開催され、組合員は昨年7人を上回る純増で大会を迎えました。

方針案では組織拡大と要求実現のため『全員参加の組合活動4つの基本の実践』が提起されました。

①会議の定例開催、②法律や情勢等を学ぶ学習の定例開催
③労組活動や情勢等を伝えるニュースの定期発行、④職場の声を集めるアンケート活動、署名、行動への参加です。

建交労 組合員1500人を展望

9月21日、建交労第27回定期大会が労働会館東館ホールで開催されました。

建交労は、1500人 人県本部への回復をめざして運動を展開してきました。この1年間で増勢に転じた組織は、新植運支部で5人増、東海CS分会で1人増、労働あいち分会で1人増と3つの組合が昨年比を上回りました。名南地域支部・丸一運輸分会では建交労の活動に共感し7人が一気に建交労に加入、同じく名南地域支部・名新隆運支部では職場で組合が存在することが大事だと8人の仲間が建交労に加入しました。

新年度に向けて、組織拡大に力点おき、100人以上の純増をめざすこと、全組合員参加での春闘アンケートを8倍の4000人を集約、トラックの日宣伝などが提起されました。労働組合の存在を可視化する行動を重視しています。

また、学習の友・お話しを呼びかけ、「対話と学びあい」のとりくみを意思統一しました。



教育現場に分断持ち込むな

「改正」給特法の条例化を許さず 県庁前行動に100人超（愛高教）



愛高教は、9月24日（木）夕刻、「改正」給特法の条例化を許さないとりくみとして、県庁前行動を行いました。県教委と人事委員会への要請とともにコール・レスポンス等で盛り上がり、愛高教から90人以上、愛労連などから18人、名高教と愛教労からも参加があり、総勢100人超えの大盛況となりました。

愛高教では、8月末に全県オンライン会場で行動を提起し、約一ヶ月、参加者100人を目算に参加を呼びかけてきました。当日、14時30分から愛知県人事委員会へ要請署名を6千筆提出しました。

県庁前行動には参加予定でなかった人が参加してくれたり、組合未加入者を連れて来てくれたりと、愛高教の底力を実感し、さらには仲間への深い信頼を改めて感じる時間となりました。大盛況に満足せず、私たちの願いが叶うその日まで引き続きがんばります。

愛労連からの多大なる愛を常に感じています。いつも支えてくださり、本当にありがとうございます。次回は10月31日（金）16時半～です。（愛高教 松本綾子）

定時で帰れない9割

愛高教の集会で愛労連の西尾議長は「定時で帰れない教職員は9割、休日出勤している教職員も。愛知県は教育予算を増やせ」と訴えました。

でき、教員間が平等でなくなる。このままでは学校がもたない」と掲載しました。

中日新聞としんぶん赤旗が取材

この行動は、中日新聞としんぶん赤旗が取材。24日の中日新聞「県内版」に「主務教諭設置やめて 県人事委などに要請」の見出しで、カラー写真付きで報道しました。

「主務教諭の導入で管理する側とされる側で大きな壁が

対話がチカラになる

愛労連 2025 年秋季年末闘争方針を討論 単産・地域代表者会議（9/17）

愛労連は、9月17日（水）18時30分から労働会館で第1回単産地域代表者会議を開催し、幹事会が提案した秋季年末闘争方針を討論、単産・地域組織から26人、女性協1人、事務局6人の43人が参加しました。

西尾議長は、「対話と学びあい、仲間をふやし、ケア労働者をはじめ、すべての労働者の大幅賃上げを実現しよう」と訴えました。竹内事務局長は、3つの重点方針として、①秋闘の特別行動「ケア労働者の大幅賃上げアクション」、②対話と学びあい推進、仲間ふやし集中期間、③労働運動交流集会「レバカレ2025」の成功とそれぞれの行動の具体化を報告・提案しました。

討論では単産から8人、地域から5人が発言しました。

①来年度の診療報酬改定を待たずに署名・記者会見など行動（医労連）、②確定闘争と会計年度任用職員の組織化（自治労連）、③11月の労働局要請と働く女性の中央集会（女性協）、④11.2中川フェスティバルのとりくみ（中川地域センター）、⑤10月26日、26日開催の日本平和大会の成功（守山労連）、⑥9.14東三河労連定期大会の報告（東三河労連）、⑦10.4名張毒ぶどう酒事件10年行動（名古屋中地域センター）、⑧職場アンケートで800人を超える回答、「名労連」会館への参加（東海労労）、⑨小牧平和県民集会と日本平和大会の成功（尾中地区労連）、⑩給特法の問題点・長時間労働（愛高教）、⑪給特法で賃金引き下げも（愛教労）、⑫夏季夜間のスポットクーラー設置と組織拡大、会計年度任用職員の公募徹底めざす（自治労連・名古屋市中労）、⑬職場の回交で要求実現、11月の総行動で地域組織は福祉保育労分会に声をかけを（福祉保育労）。

竹内事務局長は討論を受けて、「元気の労働組合を作には対話が欠かせない。26春闘に向けて、この秋から一緒にがんばろう」と呼びかけました。

日本平和大会の要員の報告を10月3日までにお願いします。

平和のつどい 1800 人

被爆 80 年、被爆者とともに核兵器廃絶の思い新たに

愛知県原水爆被災者の会（愛友会）などによる実行委員会は 9 月 27 日、「戦後・被爆 80 年 あいち平和のつどい」を名古屋市公会堂で開催し、のべ 1800 人が参加しました。

愛知県民へ広く平和を訴えるつどいで、愛知県と名古屋市が後援しました。

午前中は「原爆犠牲者追悼慰霊祭～偲ぶ集い」が開催され、愛労連の西尾議長があいさつしました。西尾議長は「戦争をするな、核兵器をなくせと訴え続けています。武力による平和を否定し、個人が尊重される社会の実現を、核兵器廃絶の願いは私たちの運動の柱です」と語りました。



午後は文化企画として、朗読劇や高校生との座談会、合唱などのステージ、ノーベル平和賞メダルや原爆パネルなどの展示があり、県民が訪れ見入っていました。4 階ホールを使って行われたパネル展示の準備は 9 時から行われ、単座から多くの要員が参加、つどいの成功のために尽力しました。

熱気あふれた日本母親大会 全国 1 万 3 千人 愛知で視聴会

9 月 28 日～29 日、第 70 回日本母親大会が東京都内で開催されました。愛知では視聴会を労働会館で行い 23 人が参加しました（写真下）。県内各地にもオンライン会場が 20 カ所開設され 200 人以上が視聴しました。現地へは愛知県からは 84 人が参加、全国から東京会場とオンラインをあわせて約 13,000 人が参加しました。



全体会は、フリージャーナリストの布施祐仁氏が「戦後 80 年と不戦の決意～日本とアジアを再び戦場にしないために」と題して記念講演。外交での平和をめざす ASEAN のとりくみを例に外交と対話による信頼醸成が不可欠だと強調しました。会場全員参加の各地域エール交換や、運動報告、決議採択など多数の参加で、熱気溢れる団結した大会となりました。来年は宮城県で開催予定。

最低賃金を全国一律に

来年 3 月に国会提出、全労連署名が 10 月スタート

最低賃金は 2025 年改定によって、最高額は東京都の 1,226 円、最低額は 1,023 円、その格差は 203 円となりました。

現行の最低賃金制度では地域ごとに最低賃金額を決めるため、地域間格差が生じ、地方から都市部への人口流出、地域経済が疲弊する要因となっています。

また、発行日をこれまでの 10 月 1 日から遅らせる地方がふえ、その差は最大 6 カ月となり、同じ最賃額でも年収が大きく異なってしまう新たな地域間格差が顕在化しました。

署名は 10 月 10 日に単座・地域組織に発送します。来年 2 月末までとりくみ、3 月、国会に提出します。25 年の集約は、8536 筆、今回は 1 万筆が目です。

愛労連署名は 3 月から

これまでは、愛労連署名も同時期のスタートでしたが、今年度は 26 年 3 月スタートとします。愛労連署名は請願署名ではないこと、住所など個人情報の取り扱いから職場回覧が困難なところもあり、署名欄を「〇〇氏と氏名」（市町村まで記載するかさらに検封）記載の署名用紙とする予定です。集約期限は 6 月末とし、愛知労働局と最賃審議会に提出します。

なお、従来の全労連と愛労連を一緒にした A3 版は取りやめます。



近づく日本平和大会 愛労連参加目標 2 日で 400 人
in 愛知 10/25-26 参加確認を急ごう！

住居再建に多くの壁

9/27～28 能登半島地震・豪雨災害第12次ボランティア



全国災害対応・石川災害対応・全労連は7月に続き、能登半島地震・豪雨災害第12次ボランティアを9月27～28日の二日間で46人（愛知からは名古屋市職労から3人、東海法労から1人）が参加しました。

今回は、支援物資を配布するグループと草刈りをする

グループに分かれて支援に入りました。支援物資グループは27日に珠洲市、28日に輪島市の仮設住宅に入り直接自宅に訪問し物資を手渡しました。多くの方が「こんなによくして頂いて有り難いです。これ以上の賛況は言ってられません」と涙ながら話す人もいました。

声が多かったのは住宅問題です。新しく家を建てようと思っても業者が少なく、順番待ちで話が進まない。仮設住宅は入居から2年という規約があるとのことで、延長の手続きをした。また、新しく入居先が決まっても、退去時のルールが厳しく、心配という声も聞かれました。退去時のクリーニングは住民が行う必要があり、キッチンまわりなどが汚れていると再清掃を指示されるとのことでした。

危険な建物、電柱傾く ～参加者からの感想～

ニュースで聞くことはあっても、直接お話を聞くのとは感じ方が変わりました。行く前は、1年以上経ってもやることあるのかなと思っていました。しかし、まだ危険な建物があったり、傾いた電柱あったりと、まだまだ復興は進んでいないことがわかりました。

社会保障、着実に前進

10/21 から愛知自治体キャラバンがスタート 県内すべての自治体を訪問

2025年愛知自治体キャラバンが10月21日から10月24日まで行われます（名古屋市11/6、愛知県

11/13）。愛労連は春と秋、年2回のキャラバンにとりくみ、すべての自治体を訪問しています。秋のキャラバンは医療・福祉・介護など社会保障の充実と国や愛知県に意見書の提出を求めて要請する行動で、今回で46年目を迎えました。



「要請事項を実施した市町村割合の推移」（下表）でわかるように、国の社会保障連続削減のもとでも、地方自治体の医療・福祉・介護などの施策を着実に前進させてきました。憲法が保障する「権利とし

要請事項を実施した市町村割合の推移

(1%未満は四捨五入)

要 望 事 項	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2022年	2023年	2024年
介護保険の保険料自主減免	5%	54%	55%	44%	54%	54%	54%	52%
介護保険の利用料自主減免	8%	35%	44%	39%	35%	35%	35%	33%
住宅改修の受償責任強い	—	10%	70%	80%	81%	85%	100%	100%
福祉用具の受償責任強い	—	7%	51%	65%	76%	81%	98%	98%
加齢性認知症の認知症対応	—	—	—	—	4%	7%	13%	31%
障害者控除認定書の発行枚数	—	7,155	29,955	50,017	68,131	76,178	79,634	—
介護認定者等に障害者控除認定書を送付	—	—	69%	70%	81%	93%	93%	98%
介護認定者等に障害者控除認定書を送付	—	—	21%	37%	52%	59%	61%	65%
④小学校卒業までの医療費無料	0%	4%	82%	89%	100%	100%	100%	100%
⑤中学校卒業までの医療費無料	0%	1%	51%	85%	98%	98%	98%	100%
18歳年度末までの医療費無料(通院)	0%	0%	2%	6%	13%	50%	69%	87%
18歳年度末までの医療費無料(入院)	0%	0%	2%	9%	48%	87%	98%	100%
学校給食に独自補助(無償化を含む)	—	—	5%	20%	30%	41%	44%	57%
学校給食を完全無償化	—	—	0%	0%	2%	2%	6%	9%
☆国保・高年齢医療保険受給責任強い	10%	25%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
国保一部負担金減免制度	—	34%	75%	93%	96%	96%	96%	96%
☆高齢者用除眩球磨ワクチン助成	—	—	16%	100%	100%	100%	100%	100%
おたふくかぜワクチン助成	—	—	4%	15%	33%	41%	56%	59%
☆ロタウイルスワクチン助成	—	—	—	19%	100%	100%	100%	100%
帯状疱疹ワクチン助成	—	—	—	—	2%	13%	63%	81%
☆妊婦健診助成回数増大	—	16%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
文書圖書	13%	94%	93%	96%	100%	100%	100%	100%
自治体数	88	68	57	54	54	54	54	54

(注) 1.実施割合は自治体キャラバンなどの冊子作成時点の実施状況(実施確定した予定を含む)。
2.上記要請項目のうち④⑤の割合は愛知県の制度を、☆印の制度は国の制度を大きく変化した。
3.2000年～2023年の詳細データはP121参照。

ての社会保障」をひとつひとつ勝ち取っていく貴重なりくみです。

キャラバンを成功させるため、10月8日には(水)、労働会館本館で団長事務局長会議が開催され24人が参加しました。

重点項目を中心に陳情書の説明を社協副議長の澤田和男さん(写真左)、運営上の留意点を同事務局次長の伊藤剛さん(保険医協会=写真中央)、キャラバンコースの詳細(場所・時間等)を同松井克徳さん(自治労連)がそれぞれ説明・報告しました。

多様性ある委員構成を

愛知県労働委員会の公明正大な任命を求める署名始まる

歴代愛知県知事は、1989年から今日まで18期36年間にわたって愛知県労働委員会（以下、愛労委）の労働者委員7人すべてを連合愛知所員の労働組合役員のみを任命し、愛労連や中労組から推薦された者を排除してきました。

この不正な任命を争った裁判で、名古屋地裁は1999年5月の判決で、「労働運動において運動方針を異とする潮流・系統が存在する以上、労働者委員構成でも多様性を有することが望ましい」「すみやかに系統を反映した任命にすべき」と知事に是正を求めました。

この判決が後押しし、中央労働委員会（中労委）と北海道・宮城・長野・東京・埼玉・千葉・神奈川・京都・大阪・和歌山・高知の11都道府県労委で非連合の委員が任命されました。しかし、愛労委は旧態依然のままでした。

愛労連・愛知春闘共闘委員会・名古屋ふれあいユニオン・愛知争闘団連合会等は、個人と団体署名をとります。第1次集約は11月7日、最終は11月21日です。ご協力よろしくお願いします。（右が署名用紙）

憲法と平和を守ります。

10月11日（土）11時から12時、名古屋の地で憲法と平和を守る宣伝が行われました。愛労連から愛教労、国公、福祉保育労、年金者組合、愛労連事務局が参加しました。

労働者が団結することを擁護できる労働委員会に大村知事は公明正大な委員任命を

救済機関として労働者に信頼される愛労委に再生しよう

愛労連は、労働者の権利を守るため、労働委員会（以下、労働委）の再生を求め、大村知事に署名を提出しました。労働委は、労働者の権利を守るための重要な機関であり、労働者の団結を擁護し、労働者の権利を守るべきです。大村知事は、労働者の権利を守るため、労働委員会に公明正大な委員任命を行い、労働者の権利を守るべきです。

労働者が団結することを擁護できる労働委員会に大村知事は公明正大な委員任命を

救済機関として労働者に信頼される愛労委に再生しよう



愛労連・愛知春闘共闘委員会・名古屋ふれあいユニオン・愛知争闘団連合会
署名用紙（右） 印刷所：名古屋ふれあいユニオン 〒468-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館3F 電話 052-871-5433



踏み出せば変わる

レバカレ 2025 に全国から 700 人、愛知から 49 人



全労連は10月11日（土）～13日（月・祝）まで東京都内で初めての「労働運動交流集会 2025（レバカレ）」を開催、参加者は700人を超えました。3日間、5つに分けた70の分科会がエントリーされ、自由参加しました。

愛労連として「現場発！こうすればできる公務非正規のなかまづくり～組織化の処方箋～」を持ち込み、愛労連・東京公務公共一般労組・香川県労連・自治労連本部・自治労連愛知県本部・兵庫自治労連・自治労連新潟県事務所・建交労保育パート支部・首都圏青年ユニオンの8団体で運営しました。

愛労連から西尾議長・竹内事務局長・佐賀事務局長が日帰り参加、自治労連愛知県本部から1人、全体で49人が参加しました（写真右下：赤Tシャツが西尾議長）。参加者から「共感を感じる内容だった」などの感想が聞かれました。今後、達成度などを運営に関わった団体とともにまとめる予定です。

2日の全体会「労働運動の未来は誰が作るか」のパネリストに愛知自労体一般・大府分会の塩崎真由美さんが登場、労働組合は「魔法のツール」と発言、参加者の注目を集めました。（写真）



要求獲得、このパワーで

自治労連全国統一行動 名古屋ブロック決起集会

10月15日（水）18時30分から19時まで、名古屋役所前で、自治労連名古屋ブロック協議会（名古屋市職員労働組合、名古屋水道労働組合、名古屋港管理組合労働組合、名古屋役所関連労組）が主催する

「正規も非正規も賃金アップ、人員増を求める本庁舎前決起集会」が開催され、昨年を上回る850人が参加しました。

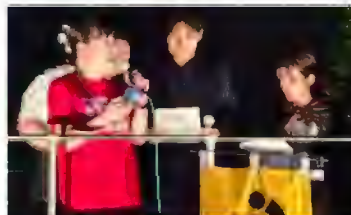
愛労連の西尾議長が「すべての仲間が、人間らしく働き、誇りを持って生きられる社会へ！人事院勧告を超える本当の賃上げと増員を。みんなの力で勝ち取りましょう」と力強い連帯のあいさつをしました（写真）。

リレートークでは、市職労環境局支部の江崎飛鳥さん、名水労の伊藤慎



章さん、港職労の脇坂宗勝さん、市職労教事支部の永井優子さん、市職労福祉支部の新家健司さん、市職労現業評議会の新矢加代子さんが発言。永井さんは（会計年度任用職員）、「小中学校で学校司書をしている。9年目になる。1人で最大4校を掛け持ちし、週1回・4時間しか行けない学校もある。タブレットもロッカーもなく、職員名簿に名前がないこともある。入学式、始業式にも呼ばれない。経験を積んでも5年ごとに公募試験を受け直す不安がある。安心して子どもたちと向き合いたい」とアピールしました。

閉会あいさつを自治労連名古屋ブロック議長の田原篤志さん（名水労：写真左の青いシャツ）が行い、団結がばらうが、夜空に響きました。



地域運動の意義深い

知多労連と名北労連が定期大会

10月10日（金）、知多労連（写真上）と名北労連（写真下）の定期大会が行われました。

知多労連は、平和の映画上映会、地域総行動、自治体キャラバンなど地域で運動が根付いています。さまざまな単産職場からの参加、複数の地域の年金者組合の参加があり、地域で運動を進めること地域労連の意義の深さを感じました。知多労連は愛労連の西尾議長が連帯のあいさつをしました。



地域から声上げる

名北労連は、第37回定期大会を開催しました。26年5月30日結成予定の名古屋地域労働組合総連合に合流した上で地域活動をさらに活性化しようの方針が前回大会に続き提起され、採択されました。

討論では、学童での賃上げに向けた奮闘などが報告されたほか、医療介護現場を守るために地域から声を上げようとの呼びかけもありました。同日日に北医療生協労組の団交が行われていることが紹介され、一同で連帯の意思を表明しました。愛労連の竹内事務局長が連帯のあいさつをしました。（熊谷）



改定最低賃金周知(発効日)・1500円実現
名古屋駅宣伝 10.18(土)1100~1200

1,140 円半数知らず

新最賃額周知宣伝に 20 人参加（10.18）



新しい最低賃金額発効日の 10 月 18 日（土）、愛労連

は多くの人が行き交う名古屋駅で、新最賃額の周知と 1,500 円実現の宣伝行動を実施、20 人が参加しました。配布したビラは 927 枚、「63 円上がります！愛知県の最低賃金」と印刷され、「10 月 18 日からスタート、1,140 円」の横断幕も注目を浴びました。

2 人で担当したシールアンケート。時間給で働いている方に希望額を聞くと、50 人中 23 人が「1,500 円」と答えました。「物価高で 1,500 円くらいはほしい」「中小企業は上げられない」「1,500 円だと月にどれくらいになりますか」などの会話が進みました。中日新聞（19 日県内版にカラーで報道）、赤旗、愛知民報が取材しました。地域でも宣伝が行われました。次号で紹介します。

命守る「国防」とは

愛知県消費者大会「突然消えた主食のコメ・・・」10/19

10 月 19 日（日）愛知県消費者大会の学習会がウインクあいちで開催され、35 人が参加しました。東京大学大学院 鈴木宣弘名誉教授が「私たちの食料、これからは・・・～突然消えた主食のコメ～食料に飢える日本を想像できますか？」をテーマに講演しました。「自動車などの輸出を伸ばすために農業を犠牲にする短絡的な政策がとられてきた。不測の事態に国民の命を守るのが「国防」なら、地域農業を守ることがこそ安全保障。トマホークやオスプレイのためにコオロギをかじって生き延びることはできない」と訴えました。また、種、除草剤、ゲノム食品、他国の状況、農業政策などが話されました。



あいち総がかり行動が名古屋市内 3 カ所で宣伝



10 月 19 日（日）、「ふたたび戦争をさせない」の横断幕を掲げ、あいち総がかり行動の金山・名古屋駅・栄宣伝が行われました。金山（写真：スピーチは国公の青山さん）には 19 人が参加。平日と違い、声をかけてくる通行人が多く、対話が広がりました。

千種名東・尾中労連が新最賃額周知

千種名東労連は、最賃が改定となる前日の 17 日、地下鉄「本山」駅で夕方の宣伝行動を行いました。7 人の参加でチラシを 130 枚配り、署名は 5 筆でした。

「明日から最賃が 63 円上がって 1140 円になります」とのスピーチに反応を示す人が多く、何人かの若者は拍手をしてくれ、長く話し込む人も多くいました（名東千種労連発）。尾中労連は、組合事務所の窓に「1140 円」横断幕を掲示（写真）、道行く人に周知しました（尾中労連発）。



今度の土日は平和大会

8つのテーマで「つどい」(25日)・「分科会」(26日)も

いよいよ今度の週末は日本平和大会です。全国から多くの参加が見込まれます。24日(金)はオプション企画で「愛知県内の基地・軍需産業を巡るフィールドワーク」。

25日(土)は、開会集会に続き、建交・医労連・愛高教・自治労連・年金者組合・愛労連事務局も実行委員会に加わった「愛知から見る平和の今～学びと交流のつどい」です。8つのテーマはいずれも大注目です。

26日(日)の分科会も多彩です。13時30分からは若宮広場で開会集会とパレードです。

大会を盛り上げ、政府が進めようとしている「戦後・被爆 80 年 大軍拡・戦争国家・死の商人国家への道」をストップさせましょう！

みなさん、是非とも参加してください。

自治体キャラバンスタート

10月21日(火) 2025年愛知自治体キャラバンがスタートしました。

第3コースは愛労連が責任団体です。12日13時30分からの大府市では(写真左)、団長でも

ある愛労連の西尾議長がいささし、重点項目にそって懇談しました。「入院・通院とも18歳年度末まで医療費の無料」を実施していない自治体は県内5自治体だけ。このうち、来年度から西尾市とあま市は無料化が決定していま

す。残りは岡崎市、大府市、高浜市。参加者が「ぜひ無料化」をと発言し、「見直し(改善)を検討している」と回答しました。



医療・保育・介護など処遇改善に関する陳情も行いました。写真は豊明市。



権利支えるケア労働

11.6 地域総行動/医療・介護・福祉労働者の大幅賃上げを

11月6日(木)は地域総行動です。ケア労働者の大幅賃上げを実現し、ケア職場を守り充実させるため、地域から世論を巻き起こす秋の総行動として位置づけています。これは私たちのいのちと健康、くらしを支える医療・介護・福祉など公共を再生する(国民の権利)たたかいです。国民負担増ではなく、国の公共を守る責任を明確にします。ケア労働者を主に組織する医労連・福祉保育労・自治労連・生協労連・建交労と地域組織一丸となり、愛労連全体ですめましょう。右のピラをティッシュに入れて配布します。地域組織・単座から参加をお願いします。

労働委員会の再生求め宣伝

愛知県労働委員会を再生するための団体・個人署名のとりくみが始まっています。第1次集約は11月7日、最終は11月21日です。

10月22日(水)は8時から県庁前で宣伝行動を実施しました。ふれあいユニオンからの参加を含め12人の参加があり、399枚のピラを配布しました。



自治体キャラバン2日目の10月22日(水)、14自治体で懇談が行われました。このうち、豊橋市の参加者は18人、市からも16人が参加しました。(写真)

平和と自由が一番だ

「戦争準備に税金使うな！」日本平和大会 in 愛知（10/25・26）に3千人余

名古屋市民会館をメイン会場に開催された「2025 年日本平和大会 in 愛知」。24 日のフィールドワーク 210 人、25 日の開会集会 1000 人（写真上）、つどい 725 人、青年のつどい「ピースシャウト」45 人、うたごえ交流会 103 人、26 日の分科会 495 人、閉会集会・パレード 500 人（写真上から 2 番目・若宮広場〜大須）で、延べ 3000 人以上が参加しました。

開会集会のリレートークで愛労連の西尾議長は「祖父が戦争で出征し 2 人の子を残して戦死。戦争は家族を引き裂き命を奪うもの。誰かがどこかでやっていることではなく、私たち 1 人ひとりにかかわる身近な問題」と話しました。

つどい・分科会盛況

25 日、午後 4 時からの「愛知から見る平和の今〜学びと交流のつどい」（テーマ 8 つ）は、建交労・医労連・愛高教・自治労連・年金者組合・福祉保育労・愛労連事務局が実行委員会に加わり、企画段階から話し合いを行ってきました。一部のつどいを除いて、参加確限が十分とれておらず心配されましたが、どの会場も定員いっぱいの参加でした（写真下から 2 番目は「命と暮らしを脅かす気候危機」）。

26 日の分科会（テーマ 8 つ）も盛況でした（写真下は戦後 80 年・日韓条約 60 年—平和な北東アジアを実現するための日韓市民の交流）。敬啓・会場案内など要員のみなさん、本当におつかれさまでした。



福祉予算を削るな

労働者・経営者・利用者などの実行委 愛知県民集会に 500 人が参加



建交労・福祉保育労・自治労連などの労働組合はじめ 14 団体でつくる実行委員会は 10 月 28 日（日）、「福祉予算削るな！福祉を金儲けにするな！第 27 次愛知県民集会」を若宮広場（名古屋市中区）で開催し、福祉・保育・介護関係者ら 500 人が参加しました。

「権利としての社会保障を実現しましょう」との集会宣言を採択し、多くの人が行きたい旗をパレード（写真右）しました。「福祉予算を増やせ」「福祉を金儲けにするな」の声が高まりました。



10 月 21 日から始まった自治体キャラバンは 24 日までに 52 自治体との懇談を終えました。10 月 28 日は東三河広域連合、11 月 6 日は名古屋市、10 日は岩倉市、13 日は愛知県との懇談が予定されています。



23 日（木）小牧市との懇談



24 日（金）常滑市との懇談

多彩な分科会、期待大

近づく第71回愛知母親大会/11月9日(日) 東別院会館

11月9日(日) 10時から東別院会館(地下鉄:「東別院」近く)で、第71回愛知母親大会が開催されます。

主催は実行委員会、愛労連女性協も参加しています。

母親大会は1964年、アメリカによるベトナム戦争での水爆実験をきっかけに1955年に「核戦争から子どもを守ろう」と始まりました。以来70年余「生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」のスローガンを掲げて取り組んでいます。

8つの分科会と3つの見学会

午前は、「子どものいきづらさを考える」「米問題から見える農業政策」「若者気候訴訟」「日本のジェンダーギャップ指数を考える」など8つの分科会です。

見学会は「ピースあいち」「中川瀬河クルーズ(締め切りしました)」「市政資料館」です。見学は事前申し込みが必要です。電話 052-881-5625 : FAX 052-881-5635 (連絡先明記)

午後の全体会は、13時30分からで、オープニングは名古屋西高校のみなさんによる津軽三味線の演奏、記念講演は「ジェンダー平等の実現をめざして」で、講師は名古屋北法律事務所の渡 明玉(べ みょん)弁護士です。

実行委員長の杉崎伊津子さんは、「国内では平和憲法をないがしろにして、アメリカ言いなりの戦争準備が推し進められ、新しい戦前という言葉が現実味を持っています」「これから本格的に始まるであろう改憲や排外主義の動きに対して、戦争は絶対させないと固く決意し、手をつなぎましょう」と参加を呼びかけています。

みんなで良い瑞穂区を

瑞穂区労連第37回定期大会(10/30)

10月30日(木)、瑞穂区労連第37回定期大会が開催されました。

議案書では、瑞穂区の状況について「40年前は20以上あった個人商店が今は5~6カ所。10以上あった市場は今はゼロ。町内会の入会者が減り、

子ども会もあちこちでなくなっている」ことに触れています。また、「地域総行動や平和行進のとくみ、瑞穂夏祭り(今年は中止したが、今後開催する予定)、共同のたたかい」が報告されています。方針では2026年5月の「名労連結成大会」をひかえ「名労連」に参加し、「地域協議会」として従来通りのとくみを進めるなどとしています。

討論ののち、提案された議案を採択しました。議長に山田貴徳さん(国公)、副議長に松下靖さん(年金者組合)、事務局長に石垣金太郎さん(福祉保育労)、事務局次長に小野仁美さん(きずな)を選出しました。愛労連から高田あゆみ幹事が連帯のあいさつをしました。



すべての子どもと教職員を大切にす学校に

愛高教は9月24日につづき、県教委に声を届ける「10.31 県庁前街宣」を夕刻に行い、雨の中でしたが約100人が参加しました。以下は愛高教からの報告です。

「改正」給特法の実施により、義務教育等教員特別手当(義務特手当)の担任加算(差別支給)が提示され、これからの交渉が正念場になります。加えて、「主務教諭」という新たな職(さらなる階層化)が提示される可能性と障がい児学級・学校の教職員に支給されている「給料の調整額」削減が提示される可能性もあります。教職員のことは、そのまま、子どもたちへの教育につながります。すべての子どもたちを大切に、すべての教職員を大切に、そんな学校現場を実現できるように我々ががんばります。今回、愛労連から30人参加いただきました。今後とも、熱烈サポートよろしく願いいたします。(愛高教書記次長 松本慶子)



県下駅頭でアピール

11.6 地域総行動 約 80 カ所で早朝から大奮闘

東三河労連では、7時15分～45分、豊橋駅での行動に10人が参加し1000枚のビラを配布しました。受け取りはコロナ以前に戻りつつあります。自治労連の長坂さんも上京前に参加しました。

西三河労連では、名鉄新城駅北口で宣伝。この駅は、トヨタ系や三菱など大企業労働者が利用しています。4人で約500部配布しました。昨日夕方は西尾駅で1人で180部配布しました。

瑞穂区労連は、地下鉄「新瑞橋」駅にて6人で250枚配布。夕方この場所で宣伝しました。

愛知国公は、国公一般の旗を掲げ、三の丸合同庁舎の前で宣伝しました。

港地区労は地下鉄「名古屋港」駅では2人で200部配布。名中センターは地下鉄「久屋大通」駅、海部・津島労連は「津島」駅で7人、愛高教の仲間も参加しました。天白地域センターは「平針」駅で宣伝しました。



大幅賃上げなんとしても

いのちと健康支えるケア労働に光を！「秋の地域総行動」（11/6）

愛労連は11月6日（木）、早朝から秋の地域総行動を実施しました。配布ビラで「ケア労働者の大幅賃上げを」と訴えました。

医療・介護・福祉・保育などケア労働者は、資格が必要など専門性が高く、いのちや健康、くらしを守る社会的役割が大きい仕事なのに、低賃金です。看護師は夜勤をしても全産業平均に届きません。ケア労働者の低い処遇・労働条件が人手不足に拍車をかけ、サービスの提供にも影響を及ぼしています。



2組合がスト突入～医労連～

医労連ではこの日、納得のいかない年末一時金回答に対し、2組合がストライキに突入しました。

みなと医療生協では、冬の一時金は昨年同月分回答で年度末一時金が0.2カ月のマイナス回答が提示されました。夏の一時金はマイナス0.4カ月だったことから、年度末もマイナスなら

年収が大幅にダウンします。この回答に対して、みなと医療生協労組は8時30分から指名ストライキに突入。名南会労組も昨年同月分回答のため、10時から2時間のストライキに入りました。

両ストライキには、県医労連とともに名南労連、港地区労、港医療生協労組、愛高教、生協労連、年金者組合、愛労連事務局の仲間が支援に入りました。東海テレビが夕方のニュースで放映しました。

愛知県労働委員会の再生をめざす宣伝 11月10日（月）17時～18時（県庁前）

近づく、はたらく女性集会

11/29 (土) ~30 (日) 名古屋で全国集会

11月29日(土)~30日(日)「第70回はたらく女性の中央集会」が名古屋市で開催されます。全国から延べ960人、愛知は延べ600人が参加目標です。来年開催の石川具からは、バスで33人の参加の申し込みが来ています。

集会は、1966年に東京で第1回集会が開催されて以来、労働組合女性部や女性団体がさまざまな困難を乗り越えて、統一と団結を守り毎年開催されてきました。

女性が手を取りあって

女性労働者・業者婦人・農林漁業の女性が共同して女性の働く権利や労働条件の改善・くらし・平和・ジェンダー平等の実現、女性の地位向上をめざして学習・交流・討論する場です。

29日は13時30分~16時10分まで、4つの分科会(労働会館本館)と2つの見学会です。

30日は10時30分~13時までウイル愛知(地下鉄「名古屋城」駅)にて全体会。弁護士の間村晴美さんが「戦後80年、ジェンダー平等で暴力のない社会へ~司法の現場から~」と題して講演します。参加協力は1日1000円、2日間2000円、学生は無料です。



愛知母親大会に600人

11月9日(日)東別院会館で第71回愛知母親大会が開催され、オンラインを含め600人以上が参加しました。

高校生の三味線や歌(ハ)弁護士ジェンダーの講演、女性協が担当した分科会は田巻弁護士が助言。全体会で建交労働保育パート支部の訴えでは(写真)、途中で激励の拍手が出て、発言した山田委員長が感激していました。



介護・国保などで懇談

秋の自治体キャラバン~名古屋市~(11/6)

11月6日(木)、秋の自治体キャラバンで名古屋市との懇談を行いました。

2時間の懇談で介護や国民健康保険について重点が置かれたましたが時間が足りませんでした。施策の重要性は共有できても財政上の問題から充実にできない事例も多く、市民税減税が施策を充実させる上で障壁になっていることが浮き彫りとなりました。

11月13日(木)は愛知県との懇談が予定されています。



こどもまつり、平和行進、文化のつどい

天白地域センターが大会 11月7日

天白地域センターの定期大会が11月7日(金)に行われました。名古屋市職労天白区役所支部・市税

務所支部・福祉事業所天白分会、年金者組合天白支部、福祉保育労はつとむ分会・天白福祉分会、建交労働学童保育支部天白分会の仲間たちが集まり、情勢学習、職場実態報告を行い交流しました。

天白地域センターでは、天白こどもまつり、平和行進、平和と文化のつどい、母親大会などを地域でとりくんできました。愛労連から西尾議長が連帯のあいさつをしました。



第28回パート・臨時・非常勤などの元気が出る集会
11月16日(日)13時30分~ 労働会館本館
講演：吉澤美和さん「非正規ディレクターの私が、一緒に話したいこと」

豊かな経験と多様性を

愛労委の再生で要請と宣伝（11/10）

第48期愛知県労働委員会（愛労委）委員の任命にあたり、県内の労働者・労働組合から頼りにされる愛労委に再生するため、愛労連は友誼関係にある中立労組とともに大村愛知県知事が公明正大な任命をするようとりくみを進めています。

11月10日(月)は、県知事への要請を行ったあと、夕刻から県庁本庁舎前で宣伝行動を行いました。

スピーチは、7名の労働者委員候補者のうち、大村美恵さん（写真下）、濱島ちか子さん、鶴丸周一郎さんが行いました。

気温が下がり、風も強いなかでしたが「ジェンダー・非正規・医療福祉、多様性、不当労働行為とのたたかい、豊かな経験と実績のベストメンバー」のビラ（右、西面あり）650枚を配布しました。



JNITU 通信産業本部の大村さん

団体・個人署名 11月21日(金)最終集約
遅れないようにお願いします。

不満を声と運動に

第28回パ臨・元気が出る集会に36人

11月16日(日)午後、愛労連「パート・臨時労組連絡会」が主催する「第28回パート・臨時・非常勤などの元気が出る集会」が労働会館で開催され、会場とリモート合わせて36人が参加しました。昨年度は「あいけ非正規公務員オクタームミーティング」との共同開催としたため2年ぶりの集会となりました。

愛労連の若井和則副議長は、あいさつで非正規労働の現状について「なぜ、こんなにひどい扱いをされるなかなど、怒りを声にしていこう」と話しました。

NHKスペシャル「未完のバトン」の制作のため愛
 労連（建交労保育パート支部）を取材されたフリーデ
 イレクターの吉塚美和さん（写真上）を招き、これま
 で製作に携わられた女性運動や非正規のたたかいに
 関する「映像」を見ながら、参加者の「対話」形式

吉峯さんは、フリー映像ディレクター・映画監督として、2013 年NHK「日本人は何を考えてきたのか」平塚らいてうと市川房枝～女たちは開放をめざす」でギャラクシー賞テレビ部門奨励賞受賞。2023 年監督



を務めた映画「この星はわたしの星じゃない」で女性文化賞受賞、2025年NHKスペシャル(前記)ではディレクターとして、名古屋市非正規保育士等 1200 人雇止め問題を取り上げました。講演で「社会的な問題に声を上げる女性たちを自分ごととして受け止め、映像作品に残すことで女性たちを応援し、社会を変えたい」と語りました。

「しゃべり場」形式のグループ討論も話が尽きず、いずれ

「しゃべり場」、話風密す

も「対話と学びあい」を実践する絶好の機会となりました。

(写真右は、集会后、労働会館での懇親会)



しごとより、いのち

過労死等防止対策推進シンポジウム（11/14）

11月14日（金）「過労死等防止対策推進シンポジウム」が中小企業振興会館メインホールで開催されました。

愛知労働局の報告のあと、「雇用社会に蔓延するハラスメントの背景に迫る～新聞記者の視点から～」と題して東海林智氏（毎日新聞社会部記者＝写真）が講演。取材経験を通して見えてきた過労死・過労自死やハラスメントの深層を語り、法律整備が進んでも被害は減らず、特に非正規や弱い立場の人ほど標的になりやすい現状を指摘。派遣社員のセクハラ、不動産営業のノルマ・パワハラ、コロナ下で困窮したシングルマザーなど、多くの事例から労働者の分断と貧困がハラスメントの温床になっていると述べました。企業や行政が過ちを認め、謝罪が再発防止の出発点だと強調。過労死遺族の苦しみを伝え続けることが社会を変える力になると訴えました。



過労死遺族の声として遺族が「小売業でバイヤー兼販売員として長時間労働やサービス残業を強いられた夫は、30歳で突然死した。生後5ヶ月の子を抱えた妻は深い喪失感と経済的困難の中、労災認定に9年半かけて闘った。今も繰り返し夢に苦しむが、「過労死は他人事ではない」と訴え、十分な睡眠と人間らしい働き方の大切さ、二度と遺族を生まない社会の実現を強く望んでいると声を上げました。

今度の土・日は、愛知で「はたらく女性」の中央集会～ぜひ参加を

29日(土)・30日(日)、第70回はたらく女性の中央集会が愛知で行われます。

29日は、4つの分科会と2つの見学分科会(右表:見学分科会は満席となりました)です。

30日は愛労連NEWS(640号)でも紹介したように「戦後80年、ジェンダー平等で暴力のない社会へ」と題し、弁護士の岡村晴美さんの記念講演です(ウィル愛知=東区:地下鉄「名古屋城駅」)。

くの参加をお待ちします。

[illegible]

豊かな高齢期めざして

第 25 回あいち高齢者大会に満席 280 人 (11/20)

11月20日(木)労働会館で第25回あいち高齢者大会が開催され会場いっぱいの280人が参加しました。

オープニングは、with-U&鼓風による和太鼓の演奏。鼓風は年金者組合港支部のなかまで今年立ち上げたばかりのチームです。

「年金上げろ」「心を合わせて打ちまくれ！」などの掛け声とともに、会場に力強い太鼓の音が響きました(写真下)。

実行委員長の渡辺博子さんはあいさつで「11月 11～12 日に行われた『第 38 回日本高齢者大会 in さいたま』は 2500 人が集まり大成功」、「現役世代と高齢者、日本人と外国人など分断と対立があらわれている社会」に警鐘をならし、軍事費増の一方で社会保障削減、憲法改悪の動きなど国政をめぐる現状を訴えました。

「年金 生きがい つながりを立て直す 安心して生きていくために いま大切にしたいこと」と題して、藤田孝典さんが記念講演。午後からは「安心の医療・介護をめざして」「高齢者の健康づくり 楽しんで体も心もリフレッシュ」など9つの分科会が催されました。

.....



愛勞委任命、署名提出

愛労委任命、署名提出

愛労連は 11 月 25 日、愛知県労働委員会委員の公明正大な任命を求める個人署名 3284 筆、団体署名 469 筆を愛知県（労働局労働福祉課担当）に提出しました（写真）。団体署名は全国からも多く寄せられました。12 月 1 日に任命発表が行われます。

今の政府、何とかしないと 核兵器禁止条約・批准を求める署名 344 万人

11月21日（金）日本被団協・原水協・原水禁3者による「日本政府に核兵器禁止条約・批准を求める署名の共同催出のつどい」が東京で行われました。

3者が一緒に署名を提出することは、歴史的なことです。愛労連から西尾議長、幹事の澤さんと高田さん、自治労連の林さん、名古屋市職労の神谷さんと長谷川さん、金融ユニオンの佐竹さん、東海法労の長尾さん、福祉保育労の香月さん、知多労連の熊谷さんが参加しました。



主催者あいさつを行った被団協の田中照巳代表委員は、「核のタブー、核兵器は使ってはいけないという道徳的規範をしっかりと作り上げてきたのに、裏されようとしている。高市首相になって中国との関係が非常に危うくなっている。非核三原則を見直しようとしている。今の政府を何とかしないとけない。核兵器は悪魔の道具。核保有国は使うことを前提として抑止力論を振りまき、その抑止力に日本政府は頼っている。日本政府が核兵器禁止条約に参加していくこと、そして核兵器禁止条約のための国際的な運動の先頭に立っていくことを求めている」と力いっぱい話しました。維新を除く政党が連帯のあいさつを行いました。各団体、地域から344万9012人分の署名を日本政府外務省外務審議官に手渡しました。

開会あいさつは、愛友会理事長・被団協代表理事の金本弘さん。「今日参加したかった被団協者がいます、支援者がいます。全国にいます。天国にもいます。『原爆許すまじ』を全国のみなさんに届けたい。政府が応えるまで何回でも行動を行いたい。今日はそのスタートです」と話し、「原爆許すまじ」を参加者で合唱。集会は311人が参加しました。感動的な行動に参加できました。みなさん、ありがとうございます。（愛労連議長 西尾美沙子）

生保、国が勝手に値引き 愛知連絡会が緊急抗議宣伝（11/25）

生活保護基準引き下げ反対愛知連絡会は11月25日、雨の中、栄で緊急の抗議宣伝を行いました（写真）。

「不当に引き下げられた生活保護基準額を元に戻せ！」とたたかってきた生活保護裁判は、今年6月、最高裁は国の引下げは違法とし、国会での追及により高市総理がやっと「お詫び」を口にしました。しかし、「最高裁判決への対応に関する専門委員会」は11月17日、原告以外について再減額改定を行う見解も併記し報告書をまとめました。それを受け、11月21日、厚生労働省は新たな引き下げ基準を定稿し、当時の利用者にその差額しか支払わない方針を打ち出しました。最高裁に訴えられたにも関わらず、勝手に補償額を値引きすること



など断じて許されませんし、原告とそうではない利用者に支給額の格差をつけることも許されません。

最高裁判決が違法としたのは、すべての生活保護利用世帯に適用されてきた厚生労働大臣告示です。改定前基準による差額保護費の全額補償を行うのが当たり前です。

「最高裁で憲法判決がでたのに！なんで！未だに違法状態！10年以上苦しんできたのに、まだ、さらに、苦しめるのか？！」という原告の叫びは、生存権を奪われていることへの失望、悔しさです。

宣伝で、原告の澤村さんは、「この問題は、生活保護者だけの問題ではありません。国の、こんな不正（詐欺的行政）を許していたら、次はあなたです」と訴えました。

生活保護基準は最低賃金とのかかわりはもちろんのこと、全ての人権保障につながる基準であることを考えれば、働いて生きる（しかない）労働者・労働組合の問題でもあります。ともに声を上げ続けていきましょう。

生活保護基準引き下げ反対愛知連絡会
物価偽装を糾す
生活保護シンポ
11月30日（日）13時半～16時
知事会館本館3階（456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7）
参加費無料 どちらでも参加可です（各団体・個人参加可）

「生活保護基準引き下げ反対愛知連絡会」は、生活保護基準引き下げに反対し、生活保護基準を元に戻すことを求め、国に対して訴訟を提起しています。このシンポジウムでは、原告の澤村さん、被告の代表者、生活保護基準引き下げに反対する関係者などが参加し、生活保護基準引き下げの現状、問題点、今後の展望について話し合います。

予定タイムテーブル
13:00 開会 13:10 開演
13:10 澤村さん「最高裁判決の原告と被告の立場」
13:30 被告代表者「生活保護基準引き下げの経緯と今後の展望」
14:00 質疑応答
14:30 閉会

Ustream配信 13:00からライブ配信開始（各団体・個人参加可）
Ustream配信 URL: https://www.ustream.tv/room/61111111111111111111
Ustream配信 13:00からライブ配信開始（各団体・個人参加可）
Ustream配信 URL: https://www.ustream.tv/room/61111111111111111111

ジェンダー平等、私たちの手で

第 70 回 はたらく女性の中央集會に 700 人超

11 月 29 日
(土) ~ 30 日
(日)、労働
会館とウイ
あいちを会
場に「第 70 回
はたらく女性
の中央集會」
が開催され 2
日間でオンラ
イン含め 700
人超が参加しました。



29 日は 4 つの分科会と 2 つの見学分科会で
約 380 人、有意義な時間となりました（写真
上は 2 日目全体会、下は 1 日目の第 4 分科会「くら
しのはて？身近な場所から社会を変える」）。

2 日目の全体会、オープニングは愛知教職員
合唱団「きぼう」による「もしも名字が選べた
ら」などのオリジナルソングの合唱。



記念講演では、ハラスメント問題にとりくむ岡村晴美弁護士が「戦後 80 年、ジェンダー平等で暴力のない社会へ～司法の現場から～」をテーマに「学校など狭い世界で全体主義の秩序を学習させていることで、ブラック企業と呼ばれる職場でも当たり前を感じる大衆が生み出されている」と話しました。

各団体の報告で愛知からは、「教育」「会計年度任用職員保育士」「郵政非正規問題」「子どもたちにもう 1 人保育士を」「学童保育」「医療問題」の各分野から発言。韓国国民労総の女性委員会が、この集會に賛同して来日しており、一緒に舞台上がり訴えを行いました。アピールと決議案を採択し盛り上がる中、集會を終えました。来年は石川で開催予定です。

2026 国民春闘討論集會
12/7(日) 10 時～16 時 刈谷市産業振興センター



賃上げで生活変える

「対話と学びあい」を实践、愛労連 2026 春闘討論集會（12/7）

愛労連・愛知国民春闘共
闘の 2026 国民春闘討論集
會が 12 月 7 日（日）、刈
谷市産業振興センターで開
催され 70 人が参加しまし
た。

司會は愛労連副議長の若
井さん（生協労連）が努め
ました。主催者あいさつで
愛労連の西尾議長は（写
真）、国会議員の定数削減、軍事費
予算増、米価、高齢者医療、生活保
護費の削減、名護市長選挙など私た
ちに影響がある政治の諸問題に触れ
たあと、「ケア労働の一時金削減を
跳ね返し、労働者全体の大幅賃上げ
の實現。公共の再生への動きなど私
たちの運動で変化もある。『対話と
学びあい』で 26 春闘を切り開こ
う」と呼びかけました。



全労連事務局次長の布施恵輔さんは（写真）「対話と学びあいで仲間を増やして要求を實現する春闘をめざして」と題して、国際・国内的に起こっている変化を分かりやすく紹介し、仲間づくり、組織の変革をはかるため「グループ討論＝対話と学びあい」（写真上）に入りました。12 グループにわかれ「自らの生活実感と賃上げで生活をどう変えたいか、賃金以外で實現したい要求」で討論。「対話と学びあい」トークセッションで、松本陵子さん（愛高教書記次長）、薄美穂子さん（福祉保育労働東海地本書記長）、安海美由美さん（建交労働愛知保育パート支部副委員長）、塩森真由美さん（自治労働愛知自治体一般労働大府分会分会長（写真左）が実践と成果を報告。さらにグループ討論で「自分は何をするか、何をえられるか」議論しました。



愛労連の竹内事務局長が「2026 国民春闘のおもなとりくみ」を説明、全体討論を行い、西尾議長の「がんばろう！」で閉会しました。

「多様性が大事」なら

第 48 期愛知県労働委員会労働者委員の不当任命で抗議

12月1日、愛知県知事は第48期愛知県労働委員会委員を任命しました。不当にも今回も労働者委員はすべて「連合愛知」所属の役員で占められました。

愛労連は11月に「公正正大な任命を」求める署名の提出や宣伝行動を実施してきました。1日には、竹内愛労連事務局長名で「大村知事は労働委員会を再生し、労働者の信頼を取り戻すために責任を果たせ」の談話を発表。私たちが求めてきた公益委員に半世紀ぶりに労働法学者が任命されたことは評価しました。

12月8日（月）、愛労連・愛知国民春闘共闘委員会・名古屋ふれあいユニオンは今回の任命について、愛知県大村知事に対し、「第48期労働者委員会労働者委員の不当任命に抗議する」とした申し入れを行いました。15人が参加、県からは労働局就業推進監と労働局福祉課長が出席しました（写真右）。



委員の選定基準は？ ジェンダー平等は？



参加者から「どうやって委員を選定したのか」「大企業の労働組合の役員だけでは多様な意見が反映されない」「ジェンダー平等をどう考えているのか（7人の労働者委員中、女性委員は2人）」「医療や福祉分野からの労働相談が多いが委員にいない」などと指摘しました。

これに対し、県側は「総合的に任命」「女性比率を優先してはいない」「（医療福祉の分野からの登用について）特定の産業分野から選任しているわけではない。分野に関係なく誠実に職務に専念している。多様な潮流については判断の材料の一つ。多様性

は大事」などと答えるにとどまりました。

なお、現在、最賃審議委員会労働者委員を務める松村実委員が任命されました。2年前も同じ事例で2名の最賃委員が任期途中で辞任しました。同様に辞任することになれば「任命責任」が問われることも指摘しました。申し入れに先立ち、8日、午前8時から愛知県庁本庁舎前で宣伝行動を行いました（写真左）。

「ほうあめ」で対話促進

非言語的コミュニケーションは、対話と学びあいの基本ツール



愛労連NEWS654号で掲載したように、12月7日（日）愛労連・愛知国民春闘共闘の2026国民春闘討論集会在開催されました。

全労連事務局次長の布施恵輔さんは、講演資料の（「対話を促進する方法〜グラウンドルールとリスペクトに加えて」）で非言語コミュニケーションを紹介しています。

①「微笑む」＝どんな内容の話でも表情の柔らかさが必要ですよ。（今回の資料には紹介されていません）

②「うなずき」＝言葉を発することなく、首を縦にふることです。

③「あいづち」＝「ふーん、そうなんだ」「そうですね」「なるほど」など、さまざまなバリエーションがあります。②に加えて相手を受け止めます。

④「目を見る（アイコンタクト）」＝相手を見ずに話をしている、会話になりません。「あなたの話を聴いてるよ」のサインです。①～④の最初の言葉をつなげると「ほうあめ」になります。普段は意識しませんが、この4つの非言語コミュニケーションを「意識」（覚えて）して対話をすすめましょう。

3つの「きく」を意識する

上記の討論集会ではトークセッションも行われました。愛高校の松本陵子さんは「濃厚対話」を説明しました。「対話とは、説得することとは違い、相手の話を傾聴し、相手の思いや願いを一緒に考える」ことが大切だと。「傾聴」は意識しないとできません。

そこで、①音として聞く、②自分を主として聞く、③相手を主として聴く。

「きく」と言っても様々ですが、この3つの「きく」の違いを知ることによって本当の「対話」が完成します。どんな違いがあるか、考えてみましょう。



「ほうあめ」で対話促進
対話と学びあいの基本ツール

2025.12.11
NO.655

スロー・スライの音と風
12月11日（日）開催
最賃審議委員会
心身の安全と安心の会
全労連のストライキをやってみよう
労働組合の中の重宝なツール
自分たちの未来を築いていこう

会場：名古屋市中区栄 栄東ビル
入場料：無料
お問い合わせ：052-871-5433

予算委員会に愛労連登場

最低賃金引き上げの審議で「最低生計費試算結果」を紹介

12月15日の参議院予算委員会で日本共産党の山添義典議員は、石破前政権が掲げていた2020年代に最低賃金1500円の達成目標を高市政権が標榜したこととめぐり、「大企業の内部留保に時限的に課税して財源をつくり、中小企業を直接支援し、最低賃金は全国一律1500円以上にしよう」求めました。

また、山添議員は、日本は世界と比べ最低賃金が低いと指摘。1500円は全国で行った人間らしい生活に必要な最低生計費にもとづいた額であることを指摘したうえで愛労連の調査結果を紹介。「名古屋市の若年単身者の場合最低生計費が時給で1806円必要、愛知県の地方最低賃金審議会（の資料）でも採用された」と指摘、「現在の最低賃金で足りるのか」と追及、上野賢一郎厚労相は答えられませんでした。

進行中の3つの署名

愛労連では今、最賃にかかわる3つの署名にとりかかっています。①全国一律最賃署名（個人）写真右＝2月末、②全国一律最賃と中小企業支援（団体）＝3月末、③全国一律最賃と奨励日の先送り・分散化の是正（団体）＝3月末。また、26年2月に「家計簿で生活費調査」を実施。今年中に通知文と家計簿（案）を提出の予定です。単身者を中心に「生活費調査」に多くの仲間参加を呼びかけます。

★2026年国民春闘スタート宣伝＝1月6日（火）8時～9時→名古屋駅渡り交番前
★愛労連単独・地域代表資金会＝1月10日（土）10時～12時→労働会館東館ホール
★愛労連・愛知国民春闘共闘 2026年新春旗びらき学習会：講演とトークセッション＝
1月10日（土）13時30分～16時→労働会館東館ホール
★全国一律最賃即時導入署名各地元会議員募集＝1月15日（木）、16日（金）
★愛労連73 国連時大会＝1月25日（日）10時～16時30分→名古屋市産業振興センター
★第47回トヨタ銀行＝2月11日（水祝）朝から三河豊田駅または本社前、刈谷駅、名古屋駅で宣伝、11時→決起集会・デモ→久屋大通公園・光の広場



辺野古新基地ストップ

大軍拡路線の政権に痛打を、1月25日は沖縄県名護市長選

沖縄県名護市の市長選挙が、1月18日告示、25日投票で行われます。辺野古新基地建設は、辺野古の海岸に各地から土砂が運び込まれているものの、県民の粘り強い基地建設反対のたたかいもあり、工事は計画通りに進んでいません。現市長は基地を受け入れ交付金に依存し市政を進めています。しかし、基地がある限り、米軍機の爆音による生活被害、電波障害、米軍機からの部品落下や墜落、PFASなどの環境汚染、なにより女性への性暴力事件が続きます。

全労連は、①辺野古新基地建設ストップのたたかいを進めるために重要な首長選挙であること、②候補者である翁長クミコさんの勝利は米軍による事件・事故が後を絶たない中で米軍基地依存からの脱却につながることで、③この間の名護市長選においても沖縄県労連の支援要請を受けて全労連として支援決定をしていることに加え、④来年秋に予定される沖縄県知事選に向け、日米軍事同盟最優先、大軍拡路線にひた走る高市政権に痛打を与える重要な選挙戦と位置づけ、翁長クミコさんの支援を行うことを決定しました。愛労連も12月3日の幹事会で支援を決定しました。

青山さんの現地報告

愛知国公の青山浩事務局長は（写真上）、11月下旬、安保政策中央実行委員会が主催した名護市での決起集会に参加し、12月12日に労働会館で行われた集会で辺野古堀め立てのずさんさを指摘しました。「軟弱地盤への砂杭の打ち込み



は約7万本。しかし、10月までに打設されたのはわずか約2900本、しかも6月以降工事は中断。工事は9年と見込んでいるがこのペースだと11年かかり、予算で計上されている9300億円のうち、すでに5000億円以上が使われている。こんな現金の使い方のあり方を国民全体で議論するとき」と話しました。

愛労連は旗布や現地支援行動にとりくみます。ボランティア派遣やカンパの協力をお願いしています。

2026年新春

旗びらき学習会

【第1部】講演
命と暮らしを守る力
ジェンダー平等・平和・労働者の未来
竹信三恵子さん
コーディネーター 竹信三恵子さん
ビデオレター 直上真奈さん（伊賀市議）
ハルラー 藤崎予さん（愛知教育行政員）
矢野彩子さん（愛知県労連書記長）
武藤了さん（自由労連愛知県本部執行委員長）

【第2部】
ジェンダーの視点から
「公共の再生」を考える
トークセッション

日時 2026年1月10日（土）
13:30～16:00

場所 労働会館東館ホール

QRコード

「給料上げて」声あげよう

2026 国民春闘スタート宣伝 名古屋駅前 (1/6)

「『給料上げて』と一人では言いにくい。労働組合はみんな力で合わせて会社と交渉したり、ストライキをして賃上げを実現したりしています」（右下、配布ピラ）。

愛労連・愛知国民春闘共同委員会が1月6日（火）早朝、名古屋駅前「賃上げで交渉しよう！みんなで2026春闘」のピラを768枚配布しました。気温は3℃、冷え込みが厳しいなかでしたが、参加した31人（14組織）は、元気に宣伝しました。

2025年の食料品の値上げは前年実績費約6割増の2万609品目、26年は1月～4月の4カ月で3693品目の値上げが判明しています（帝国データバンク）。

物価高を上回る賃上げで生活改善をなんとしても実現しましょう。



2026 年新春旗びらき学習会

○日時：1月10日（土）13：30～16：00
○場所：労働会館東館ホール
○講演：『命と暮らしを守る力』：竹内三恵子さん（ジャーナリスト、和光大学名誉教授）
○トークセッション：ジェンダー平等の視点から「公共の再生」を考える

国際法違反の侵略行為

米軍のベネズエラへの大規模攻撃に抗議の宣伝 (1/6)

米軍が1月3日、南米ベネズエラの首都カラカスで大規模攻撃を行い、マドゥロ大統領らを拘束し、米軍に連れ去ったことに対し、安保政策実行委員会と愛知県平和委員会は6日、12時から名古屋市栄で抗議の宣伝活動を行い35人が参加しました。

トランプ大統領は、米国民に多大な被害をもたらす麻薬密輸組織の首謀者だとするマドゥロ氏を米国内で獄くめたと説明していますが、こうした一方的な武力行使は、国連憲章を踏みにじる許されない行為です。

国連憲章は第2条第4項で、武力行使の原則禁止を定めています。他国から攻撃を受けた場合は例外として、自衛権の武力行使が認められていますが、今回はベネズエラ側から攻撃が行われた事実はありません。高市首相はこうした米国の行動を批判すべきです。日本政府はこれまで台湾と中国の問題について、「力による現状変更があってはならない」と繰り返してきました。米国の行動に無批判でいることはこれらの立場を突き崩すものとなります。この行動には、CBCテレビ、中日新聞、毎日新聞、赤旗が取材しました。



誘い合ってご参加を

今週の土曜日、竹信さんの講演とトークセッション

2026年新春

旗びらき 学習会

日時	2026年1月10日(土) 13:30~16:00
場所	労働会館東館ホール

※本日の会場は、東館の3階です。入場券は無料です。
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 労働会館東館3F
TEL: 03-5561-5431 FAX: 03-5561-5432



(第1部)講演

命と暮らしを守る力 ジェンダー平等・平權・労働者の未来

竹信三恵子さん
ジャーナリスト、龍谷大学名誉教授

1976年、静岡県岡部市に出生。岡山県立芸術短期大学を経て龍谷大学文学部に入学。1998年4月から雑誌『女性』の編集者として活動。2001年に『女性』を退職し、『女性』で培った経験を活かして『女性』の編集者として活動。2003年に『女性』を退職し、『女性』で培った経験を活かして『女性』の編集者として活動。

(第2部)

ジェンダーの視点から 「公共の再生」を考える トークセッション

コーディネーター 竹信三恵子さん
ビデオレター 百上真奈さん(伊賀市議) バネラ

堀江予ん(愛知教執行委員長)
矢野彩子さん(愛知県労務連書記長)
武藤貴子さん
(自治労愛知支部本部執行委員長)

みんなの労働組合 **あいち労連・愛知国民春闘共同委員会**

連絡先 T:454-0006 愛知地区本部事務局(栄町2丁)労働会館東館3F
FAX: 052-871-5431 F:052-871-5618

愛労連・愛知国民春闘共闘委員会が主催する、「2026 年新春旗びらき学習会」が今週土曜日に開催されます。二部構成で行われ内外で期待が高まっています。

第一部の講演は、メディアでもおなじみの竹信三恵子さん、労働問題などの著書も多数です。この間、非正規公務員問題では愛労連の活動にエールも送っていただいています。

第二部は、「公共の再生」でのトークセッション。ビデオレターでは、三重県伊賀市の共産党市会議員の百上真菜（ももがみ まな）さんがビデオレターで登場。市では、9年間続けてきた市役所の「窓口業務」の委託を検証したところ、委託費用が人件費削減を上回っていることがわかり、行政のコストカットにつながっていないばかりか、「公共サービス」の持続性を阻害していることも浮き彫りに。市は年次的に職員体制を整えた上で、再直営化（公営化）することが市議会で確認されました。この経過などが報告されます。また、3名の方からジェンダーの視点から縦横に語っていただきます。多くの方の参加をお待ちします。

写真：水仙 1月7日労働会館の近くの公園にて→

大幅賃上げなんとしても

単産・地域代表者会議で春闘方針第一次案を説明（1/10）



愛労連は1月10日（土）午前、第2回単産・地域代表者会議を労働会館東館で開催し、2026年国民春闘方針の第一次案を説明しました。意見を19日までにいただき、1月25日（日）第73回臨時大会（刈谷市産業振興センター）で討論し確定します。15単産19人、14地域19人、事務局6人の44人が参加しました。

司会は佐賀事務局次長、竹内事務局長が議案（春闘方針第1次案）を報告しました。

議案の冒頭は「成果を生み出しているが、実質賃金は上回っていない。これを実現するには職場の力関係だけでなく、産業・地域・全国の力関係を変えて、政治・行政を動かすことが必要」と述べています。賃金要求案は、「企業内・産業内最低賃金は時間額で1800円以上、月額27万円以上」「賃上げ要求は、月額3万3000円以上（約10%以上）、時間額250円以上（約17%以上）」「最低賃金を全国一律1800円以上、めざせ2000円」と提案しています。

要求額に確信を持つために、2月に「家計簿で生活費調査」を実施します。結果を対話や団交にも活用します。

討論では「賃上げと家計簿」「地域で要求書交流会」「平和」「ケア労働者の賃上げ」「非正規の組織化」「格差是正」「組織拡大」「ストで地域から応援」「給特法」など11人が発言しました。

また、佐賀事務局次長が幹事会としての「愛労連専従役員体制見直しプラン」について報告しました。

[illegible]

命と暮らしを守るには

2026 年新春旗びらき学習会に 121 人 (1/10)

愛労連・愛知国民春闘会は 1 月 10 日 (土) 午後、労働会館東館で旗びらき学習会を開催し 122 人 (オンライン 8) が参加しました。

愛労連の西尾議長 (写真の赤い T シャツ) はあいさつで「初の女性高市首相に期待はあるが、26 年度予算で軍事費は過去最大の 9 兆円超、一方で社会保障や教育は切り捨てられている」「変化をつくるのは私たち自身『おかしい』と言った力は必ず未来をつくる」と訴えました。

第一部は、竹信三恵子さん (ジャーナリスト、和光大学名誉教授=写真) から「命と暮らしを守る力」(ジェンダー平等・平和・労働者の未来) と題した講演です。「初の女性首相」について「反ジェンダー平等の政策の束を引っさげた初の

女性首相という矛盾」と酷評しました。「女性の貧困率は男性をほぼ上回り高齢期で特に拡大」「日本の非正規公務員の 4 分の 3 は女性」「平和なしでは社会保障は増えない→女性が外で活躍する基盤の喪失→男性の経済力への依存の強化→男性の負担と女性嫌悪→戦争への道」と語りました。



保育・教育・医療の現場から公共の再生を考えるトークセッション

第 2 部は「ジェンダーの視点から『公共の再生』を考えるトークセッション。ビデオレターで三重県伊賀市議会議員の百上真奈さん、「公共サービス」の市場化に問題意識を持ち市民と一緒に市政を動かしてした経験を語りました。

自治労連愛知県本部の執行委員長の武藤貴子さん、愛知県立高等学校教職員組合執行委員長の堀直予さん、愛知県医労連書記長の矢野彩子さんが現場の実態と改善運動を熱く話しました。



ジェンダーと家族を語る

愛労連女性協新春のつどい (1/12) に 50 人超

愛労連女性協の新春のつどいが 1 月 12 日 (月・休) 労働会館本館で行われ、50 人を超える参加がありました。

女性協幹事は、今年も着物を着て、花やお菓子、多様な出店など和やか雰囲気になりました。

オープニングは「手話っち乱舞隊 Break Through」(写真) の手話ダンス。

記念講演は、名古屋大学法学研究科教授の田村哲樹さん (写真) から「夫婦別姓のその未来へ～ジェンダー×家族を語ろう～」夫婦別姓が法制化されることのみが大事なのではなく、家族、職場などでも民主主義が存在しているかどうかが重要で、家族/親密圏での民主主義的な対話の大切さが話されました。グループに分かれての感想交流の時間があり、参加型で良かったと好評でした。



重要な名護市長選

1 月 10 日の旗びらき学習会のあと、安保廃棄実行委員会の青山さん

(国公) が 1 月 18 日告示、25 日投票で行われる沖縄県の名護市長選についての訴えを行いました。

青山さんは昨年 11 月 28～30 日の市長選勝利沖縄行動に参加、12 月 12 日に労働会館で行われた「決起集会」で報告しました。「誇りある名護市をつくる市民の会」は、同市議会議員の翁長クミコさんを市長候補として擁立。翁長さんは「沖縄市民の目線でいのちと暮らしを守るために市政の奪還」を訴えています。10 日、カンパを呼びかけ 30,390 円が集まり、檄布 (右) とともに沖縄県労連に送りました。国政選挙や今年行われる沖縄県知事選にも大きな影響を与える重要な選挙です。



なかまの交流がイイね

2026年 心通う旗びらき、単産と地域労連

単産・地域組織が「旗びらき」を開催しています。8日は名古屋中地域センターなど中地域合同旗びらきです。労働組合以外にも愛視協、新婦人、救援会が参加して各組織のとりくみを紹介・交流しました。西尾議長があいさつしました。

11日は「きずな」、昨年結成45周年を迎えるためにブレ企画を行いました。最賃1800円の峰の到達、仲間増やしに全力でがんばり、45周年の6月28日を迎えようと思いを固めました。

9日は東海法労、焼き肉、鍋、ちゃんちゃん焼きと盛り沢山。司法のIT化に対応するため全司法との連携を進めていて会場に

は全司法の書記さんも参加しています。愛労連からは若井副議長があいさつしました。

8日は福祉保育労、大川委員長は(写真)「1人1人が意見を言いやすい環境に」、愛労連の柴田副議長はあいさつで「トヨタ総行動」への参加を呼びかけました。



中地域 (1/8)



福祉保育労 (1/8)



全国一般 (1/9)



JMITU (1/9)



きずな (1/11)



東海法労 (1/9)

ジェンダー平等が大切

「新春旗びらき学習会」(1/10)の感想から



学習会終了後、竹信さん(中央)を囲んで懇談会が行われました。

竹信三恵子さんを迎えた1月10日の「新春旗びらき学習会」には121人が参加、講演とトークセッションに参加された皆さんから多くの感想が寄せられました。一部紹介します。

●25人に保育士1名とは

ジェンダー平等の大切さがよくわかった。パネラーの発言により、職場の実態が認識できた。幼児25人に1人の保育士とは本当にひどい。

★労働組合の役割を理解

ジェンダー平等が労働者の権利と平和を守るうえで不可欠であるということがよく理解できた。保育・教育・医療の現場が危機的な状況にあることもわかった。そのなかでがんばっている労働組合の役割がとても大切だということが理解できた。

■社会に大切な公共の大切

ジェンダー平等を掲げるため、女性の活躍をと言っているが、その女性が安心して活躍できる社会の仕組みや家庭のあり方の考えが追いついていないと感じた。社会に必要な公共の大切さが軽んじられ、本当に大事にしたいことができない現状にあると感じた。ケアワーカーをはじめ、公共の大切さ、必要性を訴えていくことが今後大事だと思う。

あいち総がかり行動

集会デモ

軍拡予算をくらしの予算に

2026年 1月19日月

久喜大通公園光の広場

18時30分～ 19時10分～

あいち総がかり行動

090-5876-5469

052-262-7061

最賃全国一律、地元全国会議員要綱
1月15日(木)、16日(金)

通常国会で請願採択を

国会議員に最賃全国一律で要請（1/15、16）

愛労連では昨年10月から最低賃金全国一律制度の法改正を求める請願署名（全労連署名）にとりくんでいます。2月末締め切りで、通常国会に提出されます。1月14日現在の集約数は1981筆、昨年の最終集約は8536筆。残り1カ月余り、ご奮闘をお願いします。集まった署名を紹介議員を応募していただいた議員を通じて国会に提出します。



1月15日～16日、愛労連幹事会を中心にすべての地元国会議員の事務所へ紹介議員の要請にとりくみ、「最低賃金全国一律制度の法改正と早期に時給1800円を実現するためのご協力をお願い」とする文書を手渡し、要請の主旨を説明しました。

総選挙が間近に迫り、各事務所へ訪問すると懐かしい雰囲気でしたが、衆議院議員の藤原規真議員（立憲＝写真左）と小山千帆議員（立憲＝写真右）が直接対応してくれました。他も秘書の方に要請内容を説明することができました。また、愛知国公の「公務・公共サービスの拡充を求める要請書」も同時に手渡ししました。

要請では「紹介議員の応諾」「法改正と1800円実現に向けての理解」を求め、すでに衆議院議員の牧義夫議員（立憲）、本村伸子議員（共産）、上村英明議員（れいわ）から応諾回答が寄せられています。

2月からスタート 家計簿の注文を

幹事会や10日の単産・地域代表者会館でも確認している「家計簿で生活費調査」は2月実施です。家計簿は完成しており、単産・地域からの必要部数の注文を待っている段階です。春闘での賃上げ要求に確信を持つ大きな材料となります。積極的なとりくみをお願いします。

全労連第一次最賃デー・ローカルビッグアクション

1月31日（土）11時～12時、名古屋駅桜通口交番

政治チェンジ・春闘勝利

「通常国会冒頭解散」「総選挙」で事務局長談話

1月19日、高市早苗内閣総理大臣が1月23日に衆議院を解散し、27日公示、2月8日投票で総選挙を実施すると表明したことに対し、愛労連は竹内創事務局長談話を発表、報道機関各社に送付しました。

談話は、「2026 国民春闘勝利をめざし、『政治』から変えていこう！ 通常国会の冒頭『解散』は、権力の濫用に他ならない ～不正と疑念から目をそらし、備かずして『信を問う』、身勝手な解散にみんなで立ち向かおう～」。



「談話」では、憲法から見た今回の解散について、憲法41条（国会は国権の最高機関）、62条（通常国会は毎年一回、国家運営の基本方針を決定する重要な機会）を述べた上で、7条（天皇の国事行為、衆議院解散など）を恣意的に解釈し、「解散権は専断事項」などと主張してきた歴代首相たちでさえ、通常国会での解散を踏みとどまってきたとし、「為政者による権力の濫用」で暴挙と断じています。

また、談話では、朝日新聞が実施した世論調査でも、首相による国会冒頭解散に反対が60%で賛成の36%を大きく上回っており、女性に限れば23ポイントも反対が賛成を上回り首相の判断にNO！を突きつけていることに触れ、「私たちができることは国民の権利である『選挙＝投票』で国民生活を顧みない身勝手な解散に立ち向かい、国会を刷新すること」と呼びかけています。

結びに、「愛労連は総選挙を2026年国民春闘勝利に導く重要な機会と位置づけ、ジェンダー平等を含む人権・多様性・平和・環境の課題に消極的、且つ右傾化にひた走り憲法擁護の姿勢を欠く、自民連立政権に対し、投票行動を以て抗議の意志を示すことを表明します」と結んでいます。

談話の全文は、愛労連のホームページでご覧いただけます。

春闘方針を討議/愛労連第73回臨時大会

1月26日（日）10時開会 刈谷市産業振興センター401会議室

基地に依存しない名護市に

市長選投票 1 月 25 日 支援活動報告記

名護市長選挙は 1 月 25 日が投票日です。1 月 17 日～18 日に支援に入った愛労連の高田幹事の報告です。市長選は、2 月 8 日投票の衆議院選挙の前哨戦として注目を集める選挙となっています。現市政は、本土企業の儲けのための大型開発事業中心で地元産業は軽視され、名護市民の所得は下がっています。

全労連からは、「国のいいなり、本土企業に依存しない、地域の力を生かした名護市へ」を訴えている「おながクミコ」候補の支援が呼びかけられ、愛労連で集まった支援カンパや横断幕をお渡し、ビラ配りやハンドマイクを使って地域の市民へ訴えなどをおこないました。



愛知の現状を報告

17 日には沖縄県労連総決起集会が開催され、全国から約 60 人が参加し選挙に向けての思いなどが訴えられました。愛知からは、「軍需産業日本一の愛知県の現状と、名古屋港や三河港が特定利用港指定されるなど、戦争加担への動きが強まることへの懸念」を報告し、「愛知でつくられた武器が再び沖縄を戦場にするのではないかと

危機を労働組合の責任として重く受け止めている、基地に依存しない誇りある経済を掲げるおながさんの妻は私たちの希望そのもの、おなが市長の誕生は、地方自治の

尊厳を守り、日本全体を戦争への道から引き戻す確かな力」だと訴えました。

告示日の 18 日、出発式では、玉城デニー沖縄県知事や国会・地方議員が集結し、激励と連帯が表明されました。その後も、全国の仲間と協力して選挙支援をおこないました。

地域から対話を広げよう

東三河労連 旗びらきに 70 人参加

東三河労連は 1 月 21 日（水）、「新卒のつどい」を開催しました。

伊藤議長挨拶の後、来賓の愛労連・竹内事務局長、自由法曹団・斎藤弁護士からご挨拶を受けました。

その後乾杯、歓談。衆院選間近で共産党、れいわ新選組から連帯のご挨拶（社民党は都合で急遽欠席）。

続いて参加の 7 協力団体、16 組合がスピーチ。直面している課題等を訴え、みんな様々な場で奮闘しているんだな、と共有しあいました。お子さんも含め 70 人の皆さんに集ってもらい、本当に感謝感謝。

トランプ大統領の政治手法に象徴される「めちゃくちゃ時代、繰り返しの対話、とにかく時間がかかっても話し合い」が私たちに求められている。それを大切にしていきたい。（東三河労連 事務局長 青木）

西三河労連の拡大幹事会を旗びらき（1 月 21 日）、愛労連の各支部議長があいさつしました。



愛知労働組合連合会
第47回トヨタ旗行動

2026
国民春闘
決起集会

2月11日(水・休)
11:00 開会

久見大通公園
光の広場

愛知労働組合連合会
愛知国民春闘共同委員会

大幅賃上げみんなで

愛労連第73回臨時大会で活発討論 (1/25)

愛労連は1月25日(日)刈谷市産業振興センターで第73回臨時大会を開催し、春闘方針案などを討論し、満場一致で採択しました。代議員95人、特別代議員3人、幹事会23人、傍聴者など140人余が参加。

大会議長に福祉保育労の越須賀舞さん、尾中地区労連の加藤博一さんを選出しました(写真下)。

西尾議長はあいさつで、26春闘の要求について「①大幅賃上げ、②時短とジェンダー平等、③社会保障の拡充と公共の再生、④平和と民主主義を守り、大軍



拡・大増税を止める、⑤対話と学びあいでの仲間を増やす」を強調し、選挙と春闘を両輪でたたかうと訴えました。

竹内事務局長が議案を提案、今回初めて幹事会からも3つの分野を担当(写真2段目左から)、薄幹事(福祉保育労)が「対話と学びあい」、若井副議長(生協労連)が「非正規春闘」、尾崎幹事(検査労連)が「労働組合と平和運動」について提案しました。佐賀事務局次長が財政関連議案を提案しました。



討論では27人(単産20、地域5、女性協1、青年協1=内文書発言2)が発言しました。

幹事の補充選挙では全国一般労働組合愛知地方本部の恒川義朗さんが信任されました。



要求がかなう政治へ

安心して働きたい 平和な暮らし 2月8日は総選挙

1月25日の愛労連第73回臨時大会では、「身勝手な『解放』による総選挙、だからこそ労働者・国民の力で『政治』を変えよう！」とする特別決議を採択しました。一部を紹介しします。(以下、抜粋)

高市首相は記者会見で、記者から「野党から右傾化への懸念が出ている」ことを問われた首相は、こともなげに「決して右傾化などではなく、『普通の国』になるだけだ」と反論しました。

わたしたちにとって、実質賃金の下がり続ける国は“ふつう”ではありません。大企業で600兆円に迫る内部留保を貯め込む国は“ふつう”ではありません！こんなにジェンダーギャップの大きな国は“ふつう”ではありません！多文化共生・多様性を妨げる国は“ふつう”ではありません。人口減のもと軍事費が膨張を続ける国は“ふつう”ではありません。

なにより、「戦争ができる国」が“ふつう”であってはなりません。

主権者たるわたしたちには、憲法の理念にそって、誰もが安心してはたらき、学び、平和に暮らすことができる国を実現させる権利があります。そんな国こそ、わたしたち愛労連がめざす“ふつう”です。主権者たる国民、労働者の投票行動で、わたしたちの要求がかなう「政治」へと刷新させましょう。



労働会館近くの公園にて

単産・地域から多彩な発言 愛労連第73回臨時大会

前号で掲載した愛労連第73回臨時大会では単産から20人(内文書1)、地域組織から5人(内文書1)、青年協(写真右)、女性協(写真左)から各1人の27人が発言しました。組織名と発言者を紹介します。(敬称略)

①青年協 渋谷、②女性協 竹内、③きずな 石川、④尾中 望月、⑤名中 前田、⑥東三河 伊藤、⑦尾東 甲斐、⑧名中 鶴飼、⑨建交労 水上、⑩国公 加藤、⑪郵政 大塚、⑫きずな 加藤、⑬福祉保 山本、⑭愛教労 岩澤、⑮愛高教 今井、⑯愛高教 堀、⑰福祉保 西田、⑱医労連 長尾、⑲生協労連 森野、⑳年金者組合 塚本、㉑福祉保 大川、㉒医労連 矢野、㉓福祉保 越須賀、㉔自治労連 森、㉕医労連 池田、㉖名中 國村(文書発言)、㉗電機情報 藤崎(〃)



選挙に行こう 高市首相は 1500 円目標を掲げ

最賃 1800 円必要



愛労連は1月25日の第73回臨時大会で「最低賃金全国一律1800円以上、めざせ2000円」の最賃要求を決定しました。1800円は愛知県（名古屋市）若年単身世帯の最低生計費試算調査結果（2024年版）をふまえたものです。

物価高騰を上回る賃上げはますます切実さを増しています。最低賃金全国一律1500円を求める私たちの運動により、石破前首相は「2020年代に1500円」と言いましたが、高市首相はこの目標を掲げました。

2月8日の投票日には、最低賃金の大幅アップを公約にかかげる政党を選択しましょう。

全国一律最賃署名、いよいよ2月末最終

昨年10月から始まった全労連の全国一律最賃署名は2月末が集約期限です。現在の集約は目標1万筆に対して1900筆（目標比20%）です。3月5日の中央行動で紹介職員を応募していただいた職員に手渡します。

1月31日（土）には11時～12時まで名古屋駅桜通口交番前で全労連第一次最賃デー、宣伝行動を行います。多くの参加をお願いします。左上の写真は配布ビラです。

私と選挙① 2月8日投票

先生増やそう

先生増やそう！選挙に行こう！先生が足りないんです！明日を担う大事な子どもたちが困っているんです！教育にもっとお金を！そんな政治を実現したい！選挙で選ばれる！！選挙に行こう！（愛教労 住田末夫）



安心の医療・介護を

高額療養費の上限額引上げやOTC類似薬の保険外しはやめて！介護保険のケアプラン有料化や利用料 3割負担では、利用できなくなります。政治を変えて安全・安心の医療・介護を！（医労連 近藤直己）



最賃UP選挙で決めよう

全労連第一次最賃デーに19人が参加

愛労連は全労連第一次最賃デー・

ローカルビッグアクションの1月31日（土）11時から名古屋駅前で行い19人が参加しました。最高気温が一桁で冷たい北風が吹く中で、元気に宣伝しました。

全労連作成の最賃ビラ約200枚配布。単産・地域の代表がスピーチしました。シールアンケートには44人が協力、時間給で働く方に聞いた「最賃いくらに引き上げるべき」では1300円が8人、1500円が14人、1800円が5人、2000円が7人でした。しんぶん赤旗が取材しました。



私と選挙②

高市さんカッコイイと

中学生の孫が、自分自身のやりたいことや言いたいことを言っている

高市さん「カッコイイ」と。そこで「アメリカと一緒に戦争する話」をしたら「なんかいやだね」と。働く者や弱い立場の者などの目線で政治をすすめてほしいものだ。未来ある孫のためにも選挙に行く。（ローカルユニオン 青山正則）

個人の尊厳を大切に

昔からの家父長制度重視は、ジェンダー平等に逆行する動きです。外国人排外主義ではなくて、誰もが個人の尊厳が大切にされ、自分らしく生きられる社会をつくりましょう。そのために、選挙に行きましょう！（医労連 森島ちか子）



「ドキッ」知ってた？

誰でも一度は使ってる薬 患者負担は約8倍～50倍

高市早苗政権が市販薬と成分が似たOTC類似薬にかかる医療費を削減し、身近な保険薬の大幅値上げを狙っていることが、全国保険医団体連合会（保団連）が入手した資料から判明しました。

資料によると患者への追加負担を担う薬の薬1100成分（約7000品目）を全額負担にした場合、受診抑制を含めた医療費の削減が約2兆円にのぼると見込んでいます。花粉症の薬や解熱鎮痛剤、湿布薬、保胎剤など日常的に幅広く使われ、現役世代にも大きな影響を与えます。

アレルギー性鼻炎179万人、関節症・リウマチ288万人、胃炎・十二指腸炎110万人、アトピー性皮膚炎180万人、喘息185万人、感染症110万人の患者数があると言われています。OTC類似薬を市販薬に置き換えた場合、患者負担は約8～50倍にもね上がりま

す。自維政権は総選挙後の国会に関連法案を提出する方針です。総選挙で患者切り捨ての政策にストップをかける必要があります。

私と選挙③

安心して暮らせる社会に

能登半島地震から2年が経過しました。復興復興半ば、現在も全国から能登の自治体に応援に入っています。住民の福祉の向上のために働く職員を増員し、誰もが安心して暮らせる社会にするために、私も投票に行きます。（名古屋市職労 磯村和佳子）

港湾を兵站基地にするな！

高市政権は、戦争する国作りを加速させてきました。特定利用港湾は兵站基地に直結し、平和のもとで仕事を続ける港湾労働者の命と安全を脅かし続けるものとなっています。平和な商業港を目指すため、選挙で政治を変えましょう。（検査労連 尾崎俊介）



AIROREN ニュース

この薬、保険から外れるかも			
アレルギー (花粉症、じんましん、アトピー等) アレジオン錠 クラリチン錠 アレグラ錠 タリオン錠 フルナーゼ点鼻薬		かゆみ・湿疹・皮膚炎・保湿 ヒルドイドクリーム リドメックスコウ軟膏 リンデロンVG軟膏	
解熱・消炎・鎮痛・湿布 ロキソニン80錠 ロキソニン錠 イブプロフェン フェルビナクテープ カロナール		咳・痰・呼吸器 ムコダイン錠 メジコン	
慢性胃炎・胃潰瘍 ガナトン錠 ガスターD錠		感染症 オキナゾール錠錠 ゼビラックス軟膏 ラミシールクリーム	
便秘 マグネット錠		目のかゆみ・充血 リサベン点眼液	



アンケートにご協力ください



下請け単価の改善を

トヨタ本社とグループ5社へ要請（2/3）

愛労連は、第47回トヨタ総行動の一環として、2月3日（火）トヨタ本社およびグループ企業へ要請行動にとりくみました。

要請は、この1月から、これまでの下請けが改正され「中小受託取引適正化法（取適法）」が施行されたことについて、「中小受託事業者が価格交渉を適切に行い、賃上げの原資を確保するための取引条件の適正化を図ることを目的」とし、「公正取引委員会・中小企業庁は価格交渉義務の導入や支払条件の適正化などを進めており、価格転嫁の定着を促進」としています。「貴社においても、ここ数年来、部品仕入価格の算定において労務費上昇分の組み入れや価格改定にとりくまれていることを評価・歓迎」しつつも、「愛労連傘下の組合においてトヨタ車づくりにかかわる仲間たちの賃上げ水準は、物価高騰を上回る水準には到底届いておらず、また下請企業経営者からは発注元に対して価格転嫁を求めることが困難であるとの声が団体交渉の場でも表明されており、とりくみは依然として道半ばにあります」。「トヨタ車づくりに関わるすべての労働者に対し、物価高騰を上回る大幅賃上げを保障するため、労務費上昇分の価格転嫁を含む抜本的な取引価格改善を行うよう」求めています。

トヨタ自動車には、全労連の秋山議長も参加（写真右）、愛労連の若井副議長、佐賀事務局次長、西三河労連の櫻井愛労連幹事、東京公害患者と家族の会の増田事務局長が参加。株式会社アイシン、トヨタ車体株式会社、株式会社デンソー、トヨタ紡織株式会社、トヨタ自動車にも同様の申し入れを行いました。



私と選挙④

原発ゼロの願い託す

福島生まれです。故郷に帰りたいと願いながら亡くなった人、いまだ帰れない人たちがたくさんいます。それを見ないこととして、原発再稼働、新増設はありません。震災から丸16年の今、原発ゼロの願いを託します。（福祉保育労 薄美穂子）



くらしと平和憲法を守る

埼玉にいる長男や、ベルギー駐在の長女にも「大事な選挙 投票を」と呼び掛けました。孫や子の未来や、私たちの今のくらし、そして平和憲法を守るため、悔いのない冷静な選択を、と家族はもちろん大学時代の友人などにも声をかけています。（東三河労連 青木利成）

AIROREN ニュース

最賃審議の軽視では？

労働者委員 2 名がまた任期途中で辞任

愛労連は 2 月 9 日（月）、愛知労働局（賃金課）に対し、昨年任命されたばかりの最低賃金審議会の労働者委員 2 名が、また、最賃法で定めている任期 2 年の途中で辞任したことに対し（近年の辞退状況は下記）、問題点を指摘するとともに、大企業・正社員ばかりの委員から非正規・女性・医療福祉の労働者を任命するよう要請を行いました。（写真：右は竹内事務局長）

要請では、「最賃審議を軽視していないか」「公開の場での審議は時間が少なく活発な議論が乏しい上、休会中の『打ち合わせ時間』（議事録もない）が多いことも任命責任を軽視することに繋がっていないか」など、以下の 4 点についての見解と任命にあたっては留意するよう求めました。

「①任命にあたり 2 年の責任を審査・確認したか、②辞任した理由と納得がいくものか、任命責任は？、こうした事態を繰り返さないための対処は？、③任命にあたりジェンダー平等の観点で女性委員を 5 割に、④「医療・福祉」労働者や非正規労働者の任命を」。

愛労連は単産と連名で、医労連の横島ちか子さん、生協労連の森野秀朗さんを推薦しています。



【近年の辞退状況】

- 2019 年（令和元年）4 月任命の 5 名中 4 名が 1 年未満で辞任
- 2021 年（令和 3 年）4 月任命の 5 名中 1 名が 1 カ月で辞任
- 2021 年（令和 3 年）4 月任命の 5 名中 1 名が 1 年未満で辞任
- 2023 年（令和 5 年）4 月任命の 5 名中 3 名が 1 年未満で辞任
- 2025 年（令和 7 年）4 月任命の 5 名中 2 名が 1 年未満で辞任

全労連署名は今月が最終



昨年 10 月からスタートした全労連署名（全国一律最賃）は 11、いよいよ今月が最終です。

現時点で例年よりかなり少ない集約です。最後のご奮闘をお願いします。

（清洲のスイセン・労働会館）近く

名労連結成に向けた
スタートアップ集会

開催大会は
5月30日より

日時 2月15日
13:30~16:00

場所 労働会館本部会議室

名古屋市労働組合総連合「名労連」結成準備会
事務局 愛知労働局 3F 3F301 室

利益を労働者と下請けに

第 47 回トヨタ総行動に 360 人

2 月 11 日（水・祝）、第 47 回トヨタ総行動が行われました。早朝宣伝は刈谷駅と三河豊田駅で行われ、それぞれ 36 人で 1926 枚、26 人で 262 枚のビラを配布しました。

雨も上がった 11 時、名古屋市中区の久屋大通公園・光の広場での「2026 国民春闘勝利決起集会」は 300 人が参加。愛労連の西尾議長、全労連の秋山議長のあいさつのあと、15 人（単産・青年協・名古屋市職労・農民連・東京公害患者の会・静岡県職・女性協・パ臨連非正規公務員 P J、検教労連の中央）によるリレートーク、集会アピールを採択し、デモ行進に移りました（写真）。

デモ行進のコールは BGM と付き、「物価が高い〜給料増やして〜ガマンも限界」「生活苦しいやつ声上げろ」「政府はいいないにやっつてんだ〜大企業ばかり応援するな」「大企業はため込み過ぎだ〜給料にまわせ〜下請けにまわせ」。デモを見ていた 2 人の青年男性に声をかけたら「給料安いので参加します」と飛び入りしました。



発行：愛知県労働組合総連合 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館3F 電話 052-871-5433

期待高まる名労連結成

5月30 結成に向けたスタートアップ集会に55人(2/15)

2月15日(日)、労働会館本館で「名労連(仮称)結成に向けたスタートアップ集会」が行われまし
た。

参加は単産（単組・支部）31人、地域組織から17人、事務局など総勢55人でした。司会は、愛知国公事務局次長の青山浩さんが努めました。

竹内愛労連事務局長が「経過報告と加入に向けた説明」を行ったのち、グループ討論で「モヤモヤ」を出してもらいました。

会費、それぞれの組織の解散の時期と手続き、役員はどうなるかなどのモヤモヤが出されました。竹内事務局長

①会計については、5月30日の結成に向けて何組織と何人の組合員が加入するかで予算を考えることになる。②意思決定の機関として大会、評議員会、幹事会が考えられ、必要に応じて代表者会議の配置も考えられる。専従者の配置については現段階では組合費の納入人数がわからないので確定できない。③地域組織の解散のタイミングは、当日の午前を予定ところもあるが、5月30日前後で考えていただければよいのではないかと。

全体討論では、「数の力を背景に要求でたかかって行くという期待は大きい」「選挙は心配な結果になったが、組合はここにあり。組織拡大にもつなげたい」「区に限った運動をしてきたが、名古屋という地域で一緒にがんばれるのは嬉しい。生みの苦しみはあるが名労連に期待している」など結成に向けた機運の高まりを示す発言が続きました。



尾中労連が春闘決起集会

尾中地区労連「26 春闘学習決起集会」を行いました。愛労連の佐賀事務局長に「2026 年国民春闘をたたかうにあたり～総選挙の結果もふまえ～」というタイトルでお話いただき、その後、意見交流を行い、加藤尾中地
た。参加者は10名でした。（事務局長：加藤）



区労連事務局長による春闘方針の提案及び採択を行いました。参加者は10名でした。(事務局長：加藤)

発行：愛知県労働組合総連合 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館 3F 電話 052-871-5433

愛労連最賃署名が完成

1800 円以上を明記、2月 25 日に発送

当初の予定から遅れましたが愛労連の最賃署名用紙が完成しました。2月25日の定期発送で事前に聞いた必要枚数を単産・地域組織に送ります。

昨年との違いは、①1500 円から 1800 円へ、②昨年に続き審議会で愛労連発表の「最低生計費試算調査結果」を用い（昨年初めて採用）、その説明の場を作る
こと、③発効日が 10 月 1 日になるように審議の開始を求める（全国で発効日の遅れがありました）、④署名欄は、昨年までは住所欄がありましたが、「氏名」欄だけになり、1 枚で 10 名分記入できます。

今年、7月初旬に愛知労働局に提出します。昨年は

「最低賃金審議の軽視」

（愛労連）は、最低賃金を議論する「愛知旭屋建設賃金審議会」の労働代表委員が相次いで辞任したと、「審議を軽視している」と任命した愛知労働局に抗議した。愛知労働局は、労働代表委員の辞任に補欠を選任した。愛知労働局によると、労働代表委員の途中辞任が、9月に予定していた、25

愛知旭屋労働組合総連合（愛労連）は、最低賃金を議論する「愛知旭屋建設賃金審議会」の労働代表委員が相次いで辞任したと、「審議を軽視している」と任命した愛知労働局に抗議した。愛知労働局は、労働代表委員の辞任に補欠を選任した。愛知労働局によると、労働代表委員の途中辞任が、9月に予定していた、25

委員の相次ぐ途中辞任に愛労連抗議

愛労連の竹内総務局長は9日、「昨年の審議では労働代表委員が口頭で額に決まっていた。議決を踏まえて更に引き上げを求めたが、これをやめてしまえば継続性が失われる」と指摘。企業側の機嫌について「大企業の正社員ばかりで、最低賃金の影響を直接受ける中小企業や非正規労働者が含まれていない」とし非正規労働者を除く「福祉分野の労働者」任命を求めた。（「道下子」）

募ら安心

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

【安心】最低賃金を1800円以上に!

9300筆（署名表紙にある数はネット署名も含めた数）、今回は住所記入がないことで街頭などでも集めやすいのではないのでしょうか。集約は6月末までの4カ月間、ご奮闘をお願いします。

★毎日新聞（2月17日付）が報道（左）。2月9日提出した要請は愛労連NEWSにも掲載し、要請文を報道機関に提供していました。

2.26 春の地域総行動

発行：愛知県労働組合総連合 〒456-0008 名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館3F 電話 052-871-5433

春を呼ぶ地域総行動

2.26 愛知県内の駅頭、「賃上げ」宣伝がんばる



2月28日(木)早朝から県内の駅頭で「春の地域
総行動」が行われました(夕刻宣伝計画の地域も
あり)。計画段階では80カ所での宣伝です。

天白地域センターは、午前7時から植田駅で延べ10人が参加。ちょっと肌寒い朝で、人通りが少なく200枚程度の配布でした（写真右上）。真三河労連は7時15分から豊橋駅で延べ10人が参加し、1000枚配布しました（写真左上）。海部・津島労連は、7時30分から鯉島駅で9人参加。いつも以



ティッシュに入れた国布ピラは「みんなの質上げで 社会全体の底上げを」(写真：左)です。

裏面は、「公立・公的病院をなくさないで」「教育の予算を増やして、教育の無償化を」「ケア労働者の大幅賃上げ」をアピールしています。

3月12日(木)は全国統一行動日。愛労連はストライキに入る職場の支援とともに、18時から名古屋駅で大宣伝を計画しています。

AIRORENニユース

発行：愛知県労働組合総連合会 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館3F 電話 052-871-5433

当局『賃金改善努力』

一定の前進で全医労ストライキ回避、支援行動

全医労は賃金改善に向け2月27日、1時間の指名ストライキを構え26日に交渉。2月19日に示されていた二次回答は、「基本給平均



3.2%、9,692円
引上げ、非常勤職員時給平均105円改定。
臨時特別一時金支給などで要求からも低
すぎると追及しました。これに対し当局
(国立病院機構本部)は、「経営は厳しい
状況だが、全労券の賃金改善要求について
はしっかり受け止め、引き続き改善できる
検討を行う」と回答しました。全労券は

「到底納得できる回答ではないが、賃金改善の引き続く検討と職場改善へつなげる内容で、さらに協議を続ける」ことを確認しストライキを回避しました。27日の名古屋区医療センター前の支援行動集会には早朝から11組織39人が参加（写真上）、豊橋医療センターでも支援行動が行われました（写真下）。

全国一律最賃で地元国会議員要請 (2.27)

2月27日、愛労連は1月に続き、新たに当選した地元国会議員7名（衆議院議員）に全国一律最賃署名の紹介議員要請を行いました（秘書対応）。

署名は3月5日の
中央行動で応諾職員
に托します。



AIRORENニフス

「外交のギア」上げよう

ビキニデーに全国 1700 人、愛知からも 140 人

「核兵器のない平和な世界への転換、憲法を生かした非核平和の日本へ」を掲げた 3.1 ビキニデー集会には全国から 1700 人が参加しました。静岡県焼津市とオンラインを結んだの集会です。

愛知県原水協からはのべ 140 人が参加。代表理事でもある愛労連の西尾美沙子議長は 3.1 ビキニデー日本原水協集会（2/28）で愛知の決意を述べました（写真）。

「ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の金本弘代表理事・愛友会理事長、そして授賞式に同行した被爆二世の大村義則原水協代表理事による講演は、累計 143 カ所、1 万 7621 人に達した。この『被爆の実相』を語り継ぐ力を原動力に、私たちは被爆 80 年に向けたとりくみに尽力してきた」

「平和行進は県内全自治体・66 コースで実施し、5800 人を超える市民が歩き、若者も飛び入り参加した」「9 月の平和のつどい、10 月の日本平和大会 in あいちの成功」、そして「今、必要なのは武力に頼るギアを上げることではなく、平和を創る『外交のギア』を上げることが必要だ」と訴えました。



イランへの先制攻撃に抗議 栄で行動 30 人超（3.2）



ランプ政権の無駄ぶりを批判していません。（3月3日付け、中日新聞と赤旗が報道）

愛知県平和委員会、安保放棄愛知県実行委員会は3月2日、トランプ米政権がイスラエルと共に、イランに対する大規模な軍事攻撃を開始したことに對して名古屋市の栄で身体抗議行動を行いました（写真）。

反米政権とみなした主権国家を武力で転覆してしまうという、国連憲章や国際法に違反する侵略戦争です。高市首相はト

賃金格差8万円超す

ケア労働者の大幅賃上げ求め、記者会見と県要請

愛労連ケア労働対策委員会は3月2日、「ケア労働者の大幅賃上げ」などを求め、県政記者クラブで記者会見（写真上）を行い、その後、愛知県知事あての要請書を提出しました（写真下）。

愛労連の西尾議長は記者会見の冒頭、「いま、日本のケア労働の現場は単なる人手不足ではなく、『構造的な崩壊』の危機にある。その最大の要因は他産業との絶望的な賃金格差」であり、「2026年度に異例の臨時報酬改定を予定しているが、介護職員と全産業平均の格差は月額8万円を超えており、予定される改定のみではこの格差を埋めることはできない」と指摘しました。

自治体病院の竹内真樹さん、医療機関の矢野彩子さん、介護の小島誠司さん、障害者福祉の大川彩子さん、保育の神美穂子さん、学童保育の本多那奈さんが、それぞれ職場の実態について発言しました。会見後、県（労働福祉課対応）に「ケア労働者の大幅賃上げ・賃金格差是正および報酬改定10%以上を求め、誰もが安心して働き、暮らし続けられる愛知県政の実現に向けた要請書」（①国への働きかけ、②県独自の直接支援、③育児・介護と仕事の両立支援の労働環境整備）を提出しました。（3月3日付けの中日新聞がカラーで報道）



社会保障費の減額と防衛費増はセット～第27回あいち社保学校

愛知社保と愛労連は3月1日、労働会館東館ホールで「第27回あいち社会保障学校」を開催し71人（うちリモート30）が参加。記念講演は、福井県立大学名誉教授の北明美氏を招き、「社会保障を切り捨てる『手取り増』論の欺瞞」と題して、近年の税制改正の問題点から国民負担率抑制論と軍事費・社会保障まで幅広い説明。「消費税＝社会保障財源論」は初めから防衛費増とセットであるという話は、26年度予算案にも符合する内容で情勢を理解する上で必須のものでした。後半は、2025年愛知自治体キャラバンのまとめの報告を伊藤剛氏（愛知社保協事務局次長・愛知県保険医協会事務局次長）が行いました。



ニューヨークでも傾聴・対話

来年2月、県知事選勝利スタート集会（3/3）

革新県政の会は3月3日(火)、労働会館東館ホールで、来年2月の県知事選1年前にあたり、「知事選勝利スタート集会」を開催しました。

主催者あいさつで樽松佐一代表は「国際、国内の情勢から県知事選への関心が薄くなっているが、特定利用空港・港湾の指定問題、医療・介護など社会保障の問題など県民のくらしを守る県政の役割が大きい」とし、「今後知事選への関心を高めて行こう」と呼びかけました。（写真右）

「2026 年度愛知県予算案から見えてくる愛知県政の問題点」として山口事務局長（日本共産党愛知県議会議員団）は「アジア・アジアパラ競技大会を大きな起爆剤として、ビッグプロジェクトを前進させ、愛知を成長・発展させる」とし、「成長戦略最優先で県民のくらしには冷たい予算編成」だと指摘しました。一方、県民の運動と議会の論戦で実現した項目について報告しました。

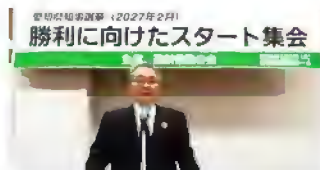
ママダニ市長の誕生はいかに

つづいて、全米最大都市のニューヨーク（NY）市長になったマムダニ市長誕生の背景について、川口創弁護士（名古屋第一法律事務所）が報告しました（写真左下）。

NYの賃料はワンルームでも月 50 万円・深刻な物価高と格差貧困のなか、住まいは権利と主張し、市営バスの無料化などを訴えました。「NYは『売り物』ではない」「金



AIROREN ニュース



使用料などが値上げされる主な施設(実施時期はいずれも今年10月から)
～市HP(令和8年度財産管理定率)の内容の公開

[illegible][illegible]

持ちが作る街から、
私たちがこの街を作る」と、市民の心をつかむメッセージを発信し、「上からの説教ではなく、対等な傾聴と対話」「なぜ、トランプに入れたのか」「相手を否定しない」など大切に対話を呼びかけました。「希望を具体的に語る」ことを大切に選挙戦を展開したことで、多くの市民の共感を得て、10万人のボランティアがマムダニ市長の風を起し、若者の圧倒的支持を集めました。

賃上げで一般生活したい

2月「家計簿で生活費調査」参加者、第一報届く

愛労連は2月「家計簿で生活費調査」にとりくみました。今、単産・地域組織経由で調査に参加した仲間から集約中です。今回の調査は、「1カ月普通の生活をしてどれだけ生活費がかかるか」を明らかにし、2024年改定版「愛知県（名古屋市）若年単身世帯の最低生計費試算結果」と比較して賃金水準について考えるとりくみです。春闘での賃上げ要求の根拠にも活用できます。

調査に参加した名古屋市内在住の 30 代の単身青年から、さっそく結果（Excel データ集約）が送られて来たので紹介します。（下記カッコ内は 2024 年改訂版最低生計費試算結果より）

食費 58,000 円、教養・娯楽費 34,000 円、非消費支出 77,000 円

食費 58,778 円 (53,603)、住居費 66,332 円 (50,667)、水道・光熱費 15,824 円 (7,983)、家具・家事用品と被服・履物費はなし、保健医療費 8,065 円 (2,366)、交通・通信費 4,210 円 (16,324)、教養・娯楽費 34,735 円 (22,646)、その他 2,778 円 (25,015) で合計 190,720 円で、試算調査の消費支出 192,727 円とほぼ同様の額になりました。

非消費支出は、年金、健康保険、雇用保険、所得税、住民税＝77,182 円 (58,979) です。(予備費 19,200 円)

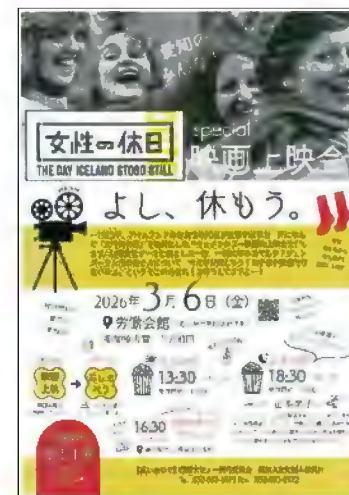
総支出合計は 267,902 円（本人の給料の手取りは残業代
 含め 287,000 円）で、最低生計費試算結果の 270,906 円（時
 間給で 1800 円）とほぼ同じ額になりました。

多額の出費がなかったことが幸いしたわけですが、「6年くらい家計簿を付けているが食費が高騰しているのが改めてわかった。賃上げがないと、一般的な生活ができない。最賃も引き上げる必要があると感じた」と感想が寄せられています。

4月17日に合意形成会議

愛労連では、4月17日（金）午後8時から調査に参加した方を中心に最低生計費試算調査合意形成会議＝オンライン（仮称）を開催します。そして、直近の物価上昇率をもとに26年改訂版試算結果を作成し、7月開催の愛知地方最低賃金審議会に生計費資料として提出する予定です。

出します。愛労連最賃「1800 円署名」がスタートしました。6 月末までです。



トイレの回数チェック？

非正規公務員の雇用・処遇・差別で記者会見（3/6）

愛労連非正規公務員1万人組織化プロジェクトは「国際女性デー」を前に3月6日（金）、労働会館本館で「非正規公務員制度はジェンダー不平等の象徴、ジェンダー差別・不合理な格差の改善を求める」記者会見を行いました。

朝日新聞・中日新聞・しんぶん赤旗、オンラインでNHK、ジャーナリストの小林美希さんが取材しました。

愛労連の四尾議長は「3月8日は女性デー。女性の権利、ジェンダー平等の実現を世界中で確

認する日。日本では依然として男女の賃金格差が大きく、ジェンダーギャップ指数も低い水準」と指摘、3月上旬会計年度任用職員の処遇改善・雇用の安定を求め、愛知県を含む県内55自治体すべての首長に対して要請書を提出（郵送）したことを報告しました。また、県内の自治体の保育現場から届いた声を紹介。「トイレに行く回数が多い」「休憩後すぐにトイレに行った」など、生理現象を理由に雇止めにつながっているという実態を告発しました。



採用更新されるか…非正規公務員「覆面」で訴え

【名古屋】愛知県労働組合連合会（愛労連）は、3月6日（金）午後2時、労働会館本館で「非正規公務員制度はジェンダー不平等の象徴、ジェンダー差別・不合理な格差の改善を求める」記者会見を行いました。四尾議長は、3月上旬会計年度任用職員の処遇改善・雇用の安定を求め、愛知県を含む県内55自治体すべての首長に対して要請書を提出（郵送）したことを報告しました。また、県内の自治体の保育現場から届いた声を紹介。「トイレに行く回数が多い」「休憩後すぐにトイレに行った」など、生理現象を理由に雇止めにつながっているという実態を告発しました。

名古屋市職労の磯村委員長が「ジェンダー平等に対する無理解が行政内にありはしないか」、はわねっとの牧谷典子さんが「非正規公務員へのアンケート結果」を報告、会計年度任用職員の塩森真由美さん（大府市）と尾崎よしみさん（名古屋市）が、正規職員との処遇の格差など、保育現場の実態を報告しました。名古屋市は、この時期になっても来年度の雇用の可否について通知していません。

★3月4日には、自治体や国の機関に働く非正規公務員が国会内で集会和記者会見を行い、朝日新聞が全国紙面で報道しました（写真左）。

GO！ジェンダー平等

『女性の休日』上映、国際女性デーアクション、ミニトークショー

3月8日は国際女性デー、「女性の休日」を日本でも」と実行委員会が呼びかけ、8日を前後して47都道府県、3000カ所以上で多様な運動がとりくまれました。「女性の休日」とは、50年前のアイスランドで、家事、育児に疲弊した女性たちが仲間を増やし、女性の9割が労働を放棄した「ストライキ」を振り返るドキュメンタリー映画です。

愛知では、昼の部（13時30分）、夜の部（18時30分＝写真）の上映会には、両部とも会場（労働会館）いっぱいの参加がありました。「映画は人や社会の中で生きていくし、生かされていく」との映画配給のひとり、森下神子さんは話します（3.8朝日新聞）。会場には、クッキー、ケーキや手作り小物などバザーも。16時30分から1時間、金山駅北口で多くの女性に参加して、ミモザの花を持ちながら「国際女性デーアクション」が行われました（写真下）。

夜の部の上映後、上映の発起者であり、元NHK解説委員（ジェンダー・男女共同参画担当）でジャーナリストの山本恵子さん（写真右）は、ミニトークで映画は「女性の休日＝ストライキ」「女性の役割の大きさ、女性がいないと社会は動かないことを示した」と強調。参加者から「日本ももっと運動をして変えていければ」と感想が寄せられました。

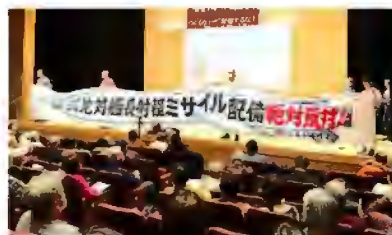


ミサイル・原発いらない

3/7～8 小牧・名古屋・豊橋で市民アクション

高市政権によって全国各地に配備が狙われている敵基地攻撃用長射程ミサイルのほとんどを生産している三菱重工小牧北工場がある小牧市で7日、あいち総がかり行動など6団体でつくる実行委員会が「三菱・防衛省は長射程ミサイルをつくるな！配備するな！」とアピールする集会とデモを開催し、310人が集まりました（写真右）。

主催者あいさつで飯島滋明さん（名古屋学院大学教授・不戦へのネットワーク代表）は、先の戦争でも軍事基地があった名古屋は空襲の被害を受けたと指摘。「ミサイルを作るなど意思を示しましょう」と呼びかけました。集会には配備地の熊本や静岡からも参加、「近くには民家や病院、学校などもある」と語りました。



原発ゼロと再生可能エネルギーを推進する社会の実現を求め8日、名古屋市内で集会とデモが行われました（写真左）。主催は愛労連も参加する「原発ゼロNAGOYA ACTION」。集会には200人が集まり、「平和のために原発止めよう」とアピールしました。

「原発なくす愛知の会」代表世話人の松田正

久さんは、中部電力の浜岡原発の再稼働を巡る、基準地震動データ捏造（ねつぞう）を批判。中電は原発を動かす資格はないと述べました。

同じ8日、豊橋でも「つながろう福島なくそう原発3.11追悼 東三河市民のつどい」が豊橋駅前一帯でありました（写真右）。「浜岡原発いらない東三河の会」主催。「データ不正に抗議し、いまこそ浜岡原発の全基廃炉の決断を求める決議」を採択、その後、約70人が横断幕やプラカードを掲げて行進しました。



3.12（木）全国統一行動・名古屋駅宣伝

18時～19時 名古屋駅桜通ロゲータワー前

大幅賃上げ、国民要求実現

2026 春闘勝利 3・5 中央総行動



国民春闘共闘委員会は3月5日（木）、2026 春闘ですべての労働者の大幅賃上げ・底上げや最低賃金全国一律制実現、労働基準法解体阻止、消費税・インボイス廃止、食料自給率向上、アメリカとイスラ

エルによるイラン攻撃中止などの国民的要求実現をかかげて、東京・霞ヶ浦で3・5 中央総決起行動を展開しました。集会や国会議員要請、省庁要請、宣伝、デモ行進など多彩な行動をとりました。

愛労連からも西尾議長、柴田副議長、若井副議長、佐賀事務局次長らが参加しました。

最賃一律署名の紹介議員要請は、衆議院議員の関健一郎議員（維新）本人と会うことが出来懇談しました（写真右下）。生協労連は新橋で早朝宣伝を行ったあと（写真左下）、最賃一律署名の紹介議員要請を行いました。

2月26日の地域総行動。尾東労連は瀬戸公共職業安定所長（写真）と瀬戸労働基準監督署と懇談。要請書を手交しました。

春闘はいよいよ山場を迎えます。JMITUは3月10日と12日、医労連は12日、郵政ユニオンは19日にストライキを配置します。

大幅賃上げ求めストライキ

3/11 集中回答、3/12 全国統一行動

2026 年国民春闘は 3 月 11 日の集中回答日、12 日の全国統一行動で山場を迎えています。医労連は大幅賃上げと診療報酬 10%アップなどを要求し 7 組合がストライキ。国共病組東海病院支部（千種区千代田橋）では 8 時 30 分の始業時から 30 分の指名ストを行いました（写真上）。来院者に署名も呼びかけました。自治労連、愛知国公、千種名東労連、愛労連が支援に入りました。

同時刻、国共病組名城病院支部（中区三の丸）も指名ストを行いました。自治労連、名古屋市職労、愛知国公、生協労連、名中センター、愛労連が支援に入りました（写真上から 2 番目）

医労連・名南会労組（名古屋市中区）は手当の支給のみの回答に対し、ベースアップを求め 10 時から指名ストライキを行いました（写真上から 3 番目）

JMITU 通信産業本部愛知支部では 8 時から 12 人が参加し会社前で宣伝行動。始業時から 10 時まで指名ストライキを行いました。生協労連、名中センター、愛労連から支援に入りました（写真下）



JMITU 川本製作所（岡崎市）は 3 月 10 日、15 時 10 分から 2 時間のストライキを行いました。一律 4 万円の賃上げ回答の一方で一時金を 0.3 月カットするという会社からの回答への抗議です（写真右下）。

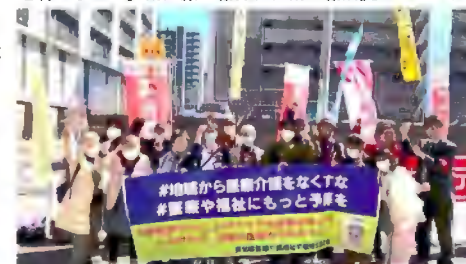


勝ち取る、大幅賃上げ

初のストライキ、支援多数、CBCテレビも取材

医労連・南医療生協労組とみなと医療生協労組は、「大幅賃上げ」「人員増」「医療の充実」などを掲げ、それぞれ 3 月 12 日（木）午後 1 時間の指名ストを行いました。南医療生協労組は南生協病院でのストは初めてです。病院前には、組合員と支援者を含め 20 人を超えるなかまが参加しました（写真右）。

愛知国公・国交労組中部空港支部から夜勤明けで応援に駆けつけた茅野さんは、「医療も管制官も、マンパワーが足りないのはミスにつながる。職員増やしてというのは共通」とと激励。愛労連から西尾議長が連帯のあいさつ、柴田副議長らが参加しました。



みなと医療生協労組も病院前で行動。指名ストに入った組合員もスピーチし大幅賃上げと人員増を訴えました（写真左）。患者さんと思われる方がずっとスピーチを聞いてくれました。

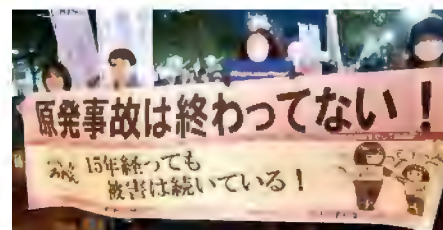
愛労連からも谷藤副議長、若井副議長らが連帯のあいさつを行いました。

CBCテレビ⇒としぶん赤旗が報道しました。



声上げ続ける

2011 年 3 月 11 日の東京電力福島第一原子力発電所事故から 15 年、だまっちゃおれん！原発事故人権侵害訴訟・愛知岐阜が主催する集会とデモ行進が名古屋市の栄で行われ約 200 人が参加しました。「老朽原発再稼働反対」「不正まみれで安全語るな」などとコール。テレビ、中日新聞、朝日新聞、しんぶん赤旗が報道しました。



みんなが報われる社会を

3/12 全国統一行動 名古屋駅アクション



3月12日（木）の全国統一行動に合わせ、医労連、JMITUがストライキを行い賃金大幅引き上げを求めました。ストライキと並行して行われた集会には多くの仲間が支援に駆けつけました（愛労連NEWS690、691にて掲載）。

同日、午後6時から、名古屋駅桜通口ゲートタワー前で、宣伝行動を行い41人が参加（写真上）。「こんな賃金じゃ生活できない」ピラ（ティッシュ）を約1000部配布、愛労連の最賃1800円以上署名、シールアンケートを行いました。愛労連カーを利用して白幕の大画面を作り、プロジェクターで単産のストライキと支援集会、生協労連や福祉保育労の仲間と手作り



ブラカードを写し、街行く人々から注目を浴びました（写真）。

引き続き、7時頃からは福祉保育労（7時までの参加者と一緒に）の「みんなでよくなるアクション」。処遇アップ、増員などをアピールする宣伝を行いました。障害者福祉施設で働く林知佳さんは（写真左上）、「賃金が低いことで新規採用者も少ない。育児を理由に退職する職員もいて職場は大変な状況。私たちは専門職、頑張っているのに報われない状況を変えたい」と訴えました。しんぶん赤旗が報道しました。

←街路樹の「ハクモクレン」が満開です。青空に映えて綺麗です。あつという間に散ってしまうので、少し立ち止まって見てくださいね。



信じられる未来を今こそ

「あいち総がかり行動」が総会と講演会（3.14）

「憲法をくらしと政治にいかす 改憲NO！あいち総がかり行動」の総会と記念講演が3月14日（土）、名古屋市教育館で開催され111人が参加しました（写真）。

総がかり行動は毎月19日に栄を中心に集会・デモ（県内各地域も）を行ってきました。現在、加盟団体は68団体、個人は257人、さらに加盟を呼びかけることを確認しました。



記念講演は新潟国際情報大学教授で市民連合共同代表の佐々木寛氏。

「総選挙後の情勢と運動の課題」と題して、①「今ある政治と日本の危機」を7点（平和・エネルギー・ジェンダーギャップ・教育など）にわたり説明、②「ではどうすればよいか」では世界で立ち上がる学生の動き、日本での市民連合の発展、環境問題（脱原発）を強調。そして、「民主主義の根っこを地域と市民の力でつくり直す」、ユニセフが発表した子ども・若者の「精神的幸福度」が世界で38カ国中37位であることを示し「信じられる未来」を作らなくてはならないと話しました。

憲法土台に府民にとことん寄り添う～京都府知事選支援ツアー（3/15）



3月19日告示、4月5日投票で京都知事選挙が行われます。

京都総評は、会計年度任用職員の雇止め撤回、給食無償化、補聴器購入助成などの願いに背を向ける現府政に対し、「府政を私たちの手に取り戻そう」と立候補を表明した京都華頂大学名誉教授の

藤井伸生（ふじい のぶお）さんの勝利に向けてとりにくんでいます。

藤井さんは、現在、京都の社保協副議長・年金者組合副議長に就いています。3月15日（日）には、自治労連愛知県本部の仲間とともに、愛労連の西尾議長、武藤副議長（自治労連）、竹内事務局長、薄幹事（福保労）、高木幹事（自治労連）らが応援に入りました。写真は愛知からの参加者です。

非正規社員、引上げなし

郵政ユニオン全国 15 職場で 35 人ストライキ

郵政ユニオンは 3 月 19 日（木）、当局の回答は正規ベア 1.9%、非正規社員はベアゼロ回答に対して、全国 15 職場の 35 人がストライキを行いました。

回答内容は、ゆうちょ銀行・かん

ぽ生命・日本郵便ともに定期昇給とベア一律 1.9%、一時金は日本郵便 3.85 月、ゆうちょ銀行 4.4 月、かんぽ生命 4.3 月、非正規社員の時給引き上げはなしです。日本郵便は、当初「ベアゼロと一時金を 0.8 月カットし 3.5 月とする」と回答しましたが、交渉を通じて 3.85 月を引き出しました。

郵政ユニオンは、正社員 31,000 円以上、非正社員は時給 300 円以上・最低時給 1,700 円以上を要求していますが、日本郵政グループには 7 兆円を超える内部留保があることから可能です。

名古屋貯金事務センターにシニアスタッフとして勤務する内海美穂さんは、「シニアスタッフは、賃金がそれまでの半分ほどに減らされます。仕事はほとんど変わりません。担当の誰よりも仕事を知っていて難しい案件もこなしているのにおかしな話です。新規採用も 10 年以上なく、社員は減り続けています。賃金アップ、待遇改善を求め最後までたたかいます」と訴えました。（写真は、愛労連の若井副議長（左）、浜島副議長。連帯のあいさつを行いました。）



JP タワー名古屋中央郵便局駅前分室前の支援集会には 25 人が集まった。しんぶん赤旗取材。



4/1（水）8 時～9 時 フレッシュアップ宣伝（伏見交差点）

4/9（木）18 時～19 時 全労連第二次統一行動

★賃金上げろ！最賃ビッグアクション（名古屋駅桜通口交差点）

つながって立ち上がる

名古屋市職員労働組合会計年度任用職員協議会結成総会（3/19）

雇用の安定と処遇の改善を求め 3 月 19 日、「名古屋市職員労働組合会計年度任用職員協議会」（ほこイカ会）の結成総会が労働会館で

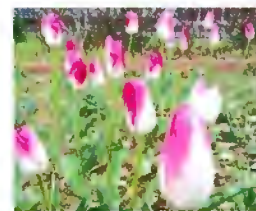
行われ多くの会計年度任用職員が参加しました。

結成準備会は、結成の経過などについて、「名古屋市の会計年度任用職員には 392 の職種があり、約 8000 人の仲間がいる（教員含む）。様々な職種がありもっと分かりあうことが必要で組織の拡大が不可欠」。また「5 年で雇止め、上がらない賃金、正規と格差がある休職などの処遇など、怒りをもっている」「職場で嘱望されながら公募試験で不合格となったり、上司のパワハラで不当に低い評価を受け職場を去った仲間などがある」とし、名古屋市に働くすべての会計年度任用職員と一緒に活動していくことを呼びかけてきました。

来賓のあいさつで、名古屋市職労執行委員長の磯村和佳さんは、「5 年公募の廃止をめざす。正規と非正規の格差を乗り越える活動を」、自治労連愛知県本部非正規公共評議会の塩森真由美さんは「自分達で声を上げることが何より強い。協議会の結成は大きな一歩」、建交労愛知県本部保育パート支部書記長の尾崎

よしみさんは「公務労働こそ雇用の安定、同一労働同一賃金が必要」、公務非正規女性全国ネットワーク（ハムネット）監事の渋谷典子さんは「踏み出す、つながる、社会を動かすのが合い言葉」と話しました。グループにわかれて討議を行ったあと、協議会規則案、運動方針案を拍手で採択し、役員を選出しました。

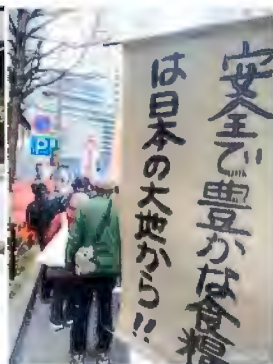
協議会の議長に選任された片山清美さんは「10 の仕事を受けても不合格の人や、メンタルの不調で出勤できなくなる人もいると紹介。5 年の雇止めはなくしてほしい。一緒に活動して行こう」と呼びかけました。



労働会館近くの公園にて（3/23）

自給率低下はいのちの危機

百姓一揆、名古屋駅前をトラクターが走る



「日本の食と農を守ろう!」。令和の百姓一揆愛知実行委員会（愛労連も参加）が主催する「令和の百姓一揆 in 愛知」の集会とパレードが3月20日（金・祝）、名古屋市西柳公園（名古屋駅前）で開催され100人超が参加しました。

主催者あいさつで共同実行委員長の伊藤政志さん（愛知農民連会長）は、「農業従事者の高齢化、農業人口の減少、低い食糧自給率」の現状を訴えました。

現在高齢化と担い手不足、資材の高騰や異常気象による災害などにより、経営の安定が難しく、農家の人口はこの20年で半分以下まで減少し、日本の食料自給率も1965年の73%から2023年の38%へと低迷しています。農家がなくなると、私たちの食べ物もなくなる・・・この現状を見つめなおし、生産者と消費者が繋がり、自国の食べ物は自国で作り続けられることをめざしての「一揆」がとりくまれました。

デモ行進にはトラクター、むしろ旗も登場、名古屋駅前を歩く人たちの大注目を浴びました。愛労連の西尾議長も横断幕をもって先頭を歩きました。

15時30分からは、別会場で学習会とパネルディスカッションがあり60人が参加。関根佳恵・愛知学院大学教授が小規模・家族農業の効率性・優位性について、諸外国の例などをもとに講演、「商品としての食料から権利としての食料へ」と語りました（写真）。



対話の質上げ、社会変える

「いま平和を守るために」講演 「ともに考える」を前面に

3月21日（土）に労働会館で行われた講演会は「いま平和を守るために～総選挙の総括と今後の政治課題」（主催：平和委員会）と題して、神戸女学院大学名誉教授の石川康宏さんが話しました。石川さんは、イラン情勢について憲法9条を生かす日本の対応が重要だと話しました。また、2月8日に行われた総選挙の結果を分析しました。

講演の最後に、社会を変えようとする基本は「主権者の政治・社会に対する理解を深めること、ともに学び・考える運動と対話が大切」と話しました。まわりとの対話では、「軍拡だけで平和は守れるでしょうか」と問い、①「違い」だけでなく「共通点」の確認（平和を守ろう）、②対話はおしゃべり、結論を急がず楽しい話し合い、③「上から目線」は、嫌われるだけなど、対話の質を上げ、社会を変えようと呼びかけました。



イラン攻撃 NO!、OTC類似薬の保険外すな

3月14日（土）、定例の「憲法と平和を守る宣伝」を名古屋市栄・メルサ前で行い、国公、自治労連、医労連、名中センター、年金者組合など10人が参加しました。イラン情勢から平和の大切さを訴え、OTC類似薬の保険外しなどを批判し、軍事費ではなく私たちの生活に関わることに税金が使われるべきなどとアピールしました。



わくわく労働組合 対話と学びあいて作る未来づくりシリーズ4

労働組合の自己点検をしてみよう

労働組合の自己点検をしてみよう

講師：労働組合の自己点検をしてみよう

日時：3月25日 水 18時30分～20時30分

会場：労働組合の自己点検をしてみよう

参加費：無料

申込：労働組合の自己点検をしてみよう

主催：愛知県労働組合総連合・愛知労働委員会

さくらまつりで最賃署名

千種名東労連が旗とブースで呼びかけ (3/29)

3月29日(日)、恒例の「水道みち・仲田公園まつり」が行われ、地域から2800人もの人出で賑わいました。暖かく、桜もちょうど満開。千種名東労連は、ブースを出して3月から始まった愛労連の最賃署名を呼びかけました。例年にない多くの市民から協力があり41筆を集約しました。(千種名東労連発)

愛労連の最賃署名(1800円、中小企業支援など)は6月末までです。7月上旬に愛知労働局長と愛知地方最低賃金審議会長あてに提出します。目標は1万筆以上、どんどん集めていただくようお願いします。



3.28 改憲反対スタンディング 450人(名古屋駅)

3月25日(水)夜、国会正門前で行われた平和憲法を守る緊急アクションは、雨の中でしたが2万4000人、オンライン配信では6万人が視聴しました。

同日、19時から、JR名古屋駅桜通口には雨の中250人が集まり、ペンライトを掲げ「戦争反対、改憲反対」と声を上げました。

28日(土)には同じ場所でも450人(写真)、「平和のために声を上げて、みんなで改憲を止めよう」とア



ピールしました。1カ所に人が入りきらず、3カ所にわかれて(写真上、道路向こう側にも)実施、過去最高の人数が集まりました。多くが20代~40代くらいの女性で、若者の飛び入り参加もありました。

これほど大きな運動にもかかわらず、マスコミはほとんど報道しません。異様です。さらに盛り上げましょう。

「あれっ」と思ったとき力になる

権利手帳 1000部配布・フレッシューズ宣伝(4/1)

愛労連は新年度初日の4月1日(水)、午前8時から1時間、名古屋の伏見交差点でフレッシューズ宣伝を行い23人が参加しました。労働基準法をはじめ労働法がイラスト入りでわかりやすく書いてある「働くあなたの権利手帳」を1002部配布しました。労働相談ホットラインの電話番号も書いてあります。

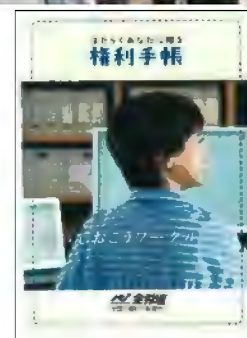
各組合の代表が順にスピーチ。「就職おめでとうございます」「誰もが安心して働き続けられる労働環境を作りましょう」「有給休暇は6カ月勤務すれば取ることができます」「1人で悩まずに労働組合に入って相談してください」「疲れちゃったなど、心がつぶやいたときは手帳も見てください。愛労連に相談を」「いざというときに力になる手帳です」などと優しくスピーチしました。



元気に働ける教職員生活を

4月1日、名古屋市教育センターで県内の公立小中学校の教員辞令交付式が行われました。会場前で愛教労・名教労を始め、愛高教、医労連、愛労連事務局から11人が参加し、「元気に働ける教職員生活を一緒

につくっていきましょう」と声をかけながら、組合加入書や全教共済のカレンダー、パインの飴ちゃんが入った袋を300セット配布しました。(QRコードは権利手帳です)



未来変えるチャンス

県中央メーデーは「テレビターヒロバ」/多くの参加で成功を

第97回愛知県中央メーデーが5月1日（金）に開催されます。9時30分開会、場所は「ヒサヤオドリパーク・テレビターヒロバ」（名古屋市栄にあるテレビ塔の少し北にある広場）で初めての開催です。

メーデーの起源は、1886年5月1日にアメリカの労働者が「8時間労働制を求めて大規模なストライキ」に立ち上がったこととされており、1889年にこの日を「労働運動の日」（国際的な記念日）と決めました。

今、国会前や全国の主要駅前などで「戦争ダメ！平和憲法を守ろう」のデモに多くの若者がペンライトを掲げ集まっています。アメリカでもトランプ政権の横暴に反対する「NO KINGS（王はいらない）」の抗議行動が行われ、3月28日には50州3300カ所以上で800万人が参加しました。

第97回愛知県中央メーデー・地域メーデーは、こうした情勢のもとでの開催です。単産・地域組織、そして職場にも、それぞれの事情はあると思いますが、私たちが声を上げて未来を変えるチャンスです。多くの参加を！そしてみんなの力で成功させましょう。



おかげさまで 700 号

愛労連NEWSは今年で700号を迎えました。600号は昨年7月11日でしたので一週間に平均3号の発行です。みなさんのおかげです。愛労連さんから「素晴らしいですね。愛労連も1年で約50号の発行です。機関紙はなかなか読んでももらえませんが、写真で物語るようになれるといいですね。ありがとうございます。励みになります。読まれる紙面作りにお互い努力しましょう。」

【地域メーデー】

- 第97回東三河地区メーデー 10時～豊橋市・松葉公園
- 第97回メーデー安城・西三河地域 9時45分～（安城公園西グラウンド）
- 2026尾張東メーデー 9時15分～瀬戸市・宮川モール
- 第97回尾張中部地区メーデー 10時～春日井市春見公園
- 第97回メーデー尾北地区集会 10時～江南市・中央公園（予定）
- 第97回一宮地方メーデー 10時～一宮市・稲荷公園

★単産地域代表者会議：4月8日（水）18：30～労働会館本館

★全労連第二次統一行動・賃上げと最賃ビッグアクション

4月9日（木）18時～名古屋駅桜通口交番前

賃上げ4万円超も

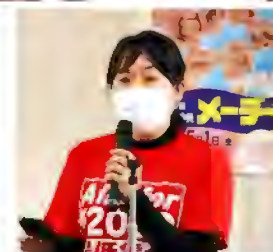
単産・地域代表者会議で春闘の報告と後半のたたかいを確認（4/8）



愛労連は、4月8日（水）18時30分から労働会館本館で第3回単産・地域代表者会議を開催し、15単産20人、10地域11人、事務局から6人の37人が参加し、26春闘の現時点の報告、今後のたたかいを討論しました。

会議の冒頭、西尾議長は「憲法の力を職場に地域に広げ、戦争への道を突き進む政権を退陣させましょう」「26春闘で大幅賃上げを実現した職場がある。引き続き奮闘しましょう」と呼びかけました。

竹内事務局長が「2026国民春闘前半の到達と後半のたたかい」について、「JMITU川本支部で一律4万円の賃上げ、建交労学童保育支部では1経営で定昇含む4万円の賃上げを実現」などを報告しました。討論では17人が発言、医労連書記次長の近藤直巳さんは「ストを背景に30年ぶりのベア実現」（写真左）、東海法労副委員長の



長尾忠昭さんは「アンケートを2千枚法律事務所などに郵送し要求を聞いてきた。ベースアップ、一時金改善もあった」（写真右）と報告しました。

春闘後半のたたかい、新入職員・社員の組合加入などを意思統一し、団結がなばろうと締めくくりました。



新Tシャツで最賃宣伝

賃金上げろ！最賃ビッグアクション 名古屋駅（4/9）



全労連は、3月12日の統一行動日に続いて、4月9日に第2次統一行動日を配置し、愛労連は「賃金



上げろ！最賃ビッグアクション」を名古屋駅前で実施しました。28人が参加、小雨が降ったり止んだりの不安定な天気でしたが、新調したTシャツ「Aim for（めざせ）¥2000、1800円Now」を着て元気に宣伝しました。

単産の代表から職場や仕事の状況をふまえスピーチし、チラシが入ったティッシュ790個を配布しました。通行人が近寄って横断幕をじっと見る姿やオンライン署名をする人、学生から「1800円いいね！」と共感の声も上がりました。医労連の矢野書記長がSNS（X）の発信も行ってくれました。中日新聞、しんぶん赤旗が4月12日付け紙面で報道しました。

AIROREN ニュース



4月2日、全国一般女性部は鶴舞公園で恒例の花見を行いました。花冷えの中、お湯とカップの味噌汁が冷え切った胃袋と心を温めました。「自宅待機の仲間が復帰できそう」「更新試験に受かった（公務）」などとても嬉しい会でした。

（通信：石原愛子）

組合加入はあたりまえ

医労連・自治労連・国公で新規採用者の組合加入進む

新年度ははじまり、職場に多くの新規採用職員・社員が入ってきました。医労連・自治労連・国公などでは、1日から連日組合説明会が行われています。

愛労連が把握している新規採用者数は3789人、4月8日現在の組合加入者数は1470（38.98%）です。今後、職場で100%加入をめざすとともに、非正規職員の組織化にも力を注ぎます。主なとりくみを紹介します。



【医労連】：名古屋リハビリ事業団労組は、組合が勝ち取った成果を「加入書を書きながら聞いてください」と話しながら説明、7人中4人が加入しました。みなと生協労組は、新人オリエンテーション後、新人さんに声をかけ、「5分だけ聞いてねと共済制度も説明し36人中9人が加入しました。南医療生協労組は、昼休み15分の説明会。役員以外の先輩も参加し安心感をアピール。73人中15人が加入しました。名南会労組は、夕方15分の説明会。「組合に入ることは社会人としてあたり前のこと」と話し16人全員が加入しました。名大職組西部医療センター支部（写真上）では、昼休みの45分間で説明会、先輩7人が組合の良さをアピールし108人中55人が加入しました。

【自治労連】：春日井市職労病院支部（写真下）は、「患者さんのために安心の医療、いい看護がしたい」と思っ入職されましたね。そのためには私たちが健康な心身が必要」と話し、51人中49人が加入しました。多くの仲間が支援に入りました。蒲郡市職員組合病院支部では、研修会に続けて組合説明会。良い



雰囲気なかでスムーズに進み38人中37人が加入しました。幸田町職労は、「教えて！幸田町職員労働組合」と銘打った資料にそって「組合って何？どんなことをしているの？」と説明、15人中10人が加入しました。長久手市職労は、パワポで説明。お茶とお菓子で先輩と1対1でお話タイムを設けて。和やかな雰囲気の説明会となり9人が加入しました。

AIROREN ニュース

家計簿で賃上げ実現

経営者も共感、リアルな生活実態として活用

愛労連は2月、「家計簿で生活費調査」を行い、参加組合員に1カ月間家計簿をつけていただきました。おつかれさまでした。愛労連事務局に冊子とExcelデータで集計表が送られて来ています。自治労連、全国一般、建交労、福祉保育労から合計で72人が参加しました。参加した組合員にはクオカードを贈呈しています。

そのなかで、家計簿調査に参加した組合員が、賃上げ交渉で自身の家計簿をもとに生活実態を伝え、賃上げの必要性を訴えたら、1次回答ペア 3000 円を 8000 円に引き上げた報告がありました。リアルな生活実態の話は、経営者も共感することがわかりました。今回、間に合わない職場でも、次回は是非参加して、活用いただきたいと思います。

愛労連では、7月から始まる愛知地方最低賃金審議会に提出する生計費関連の資料として、「2024 年の愛知県若年単身世帯の最低生計費試算結果」のバージョンアップ版として「2026 年版の試算」を行っています。5月に開催予定（4.16の社会的な賃金闘争対策委員会で日程を決めます）の「ライブトーク 2026」、アンケート、そして今回の家計簿も参考に策定していきます。

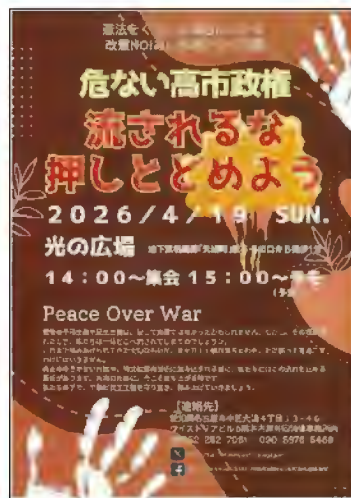
平和憲法を守りたい 今、みんなが動くとき

高市首相は4月12日の自民党大会で憲法改定について「立党から70年。時は来た。『改正の発議にめどが立った』と言える状態である来年の党大会を迎えたい」と述べ、今後1年で国会発議に道筋を付ける考えを表明しました。

この間、国会前や全国各地で多くの人が集まりデモが大きく広がっています。4月8日、名古屋駅前で行われたデモには1200人もの人が参加、ペンライトを手に「平和憲法を守ろう」「高市モームリ」などのコールが響きました。

3月25日は同場所で250人、28日は450人で、8日は最高の参加人数になりました。SNSの発信で個人や数人で参加した人たちです。

4月19日（日）には「憲法をくらしと政治にいかす 改憲NO！ あいち総がかり行動」が主催する集会とデモが開催されます（右のチラシ）。「改憲阻止のうねりがもう一回り大きくなったね」と確認し合える集会にしましょう。みなさんの参加を呼びかけます。



この熱量に希望あり

国会前デモに連帯、あいち総がかり行動 4.19 集会に 800 人



「危ない高市政権 流されるな 押しとどめよう」。半袖姿も目に付く4月19日（日）、久屋大通公園の光の広場で（名古屋市中区）、「憲法とくらしを政治にいかす 改憲NO！ あいち総がかり行動」が主催する集会とデモ行進が行われ近年の集会を大きく上回る800人が参加しました。

総がかり行動共同代表の塚田聡子弁護士は、「アメリカが日本に対し自衛隊派遣への圧力がかかる中でも、高市政権は憲法9条があるから派遣できなかった。自民党はその9条を変えようとしている。憲法の理想をかかげ声を上げよう」と呼びかけました。

集会では憲法9条の読み上げや矢崎暁子弁護士が「民衆の歌」「アンパンマンのマーチ」を歌いました。デモ行進は、「改憲反対」「長距離ミサイル配備をするな」「武力で平和は守れない」などをコール。賑わう栄周辺を行進し、注目を集めました。中日新聞としんぶん赤旗が報道しました。



改憲止める声と光

全国 201 力所 52035 人・県内 14 力所 2081 人が行動



高市首相の憲法「改正」に反対するデモが 19 日、全国 201 力所で行われました。「NO WAR! 憲法変えるな!」「高市モームリ」など、国会前では 3.6 万人、名古屋駅は 19 時から 4 つのエリアに分かれ 860 人がペンライトでコール（写真上 2 つ）、豊橋駅では 70 人がスタンディングでアピールしました（写真下）。

この日は、愛知県内 14 力所で集会・デモが行われ合わせて 2081 人が参加しました（デモカレンダー 4.21 現在）。国会前は夜の NHK ニュース・朝日新聞、名駅はしんぶん赤旗が報道しました。



建交労が平和行動、カンパ万円



建交労はこの日の午前、金山総合駅にて 9 人で平和宣伝行動を行いました。デモカレンダーという SNS に予定を掲載したら、ナンと見ず知らずの方 2 人が応援にきてくれました。（高齢のおじいさんは持参したプラカード＝戦争反対＝を首に掛けスタンディング）

さらにさらに、なんと動画で撮っていた人が、1 万円のカンパを置いていってくれました。変化は、起きていると実感した平和宣伝行動でした

AIROREN ニュース

Ai 愛労連 NEWS

2026.4.21
NO.706

発行：愛知県労働組合総連合 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館 3F 電話 052-871-5433

徴兵制に繋がる懸念

予備自衛官になるなら、国・地方公務員は兼業可能に

政府は 4 月 3 日、第 221 回国会（特別国会）に「予備自衛官等の職務の円滑な遂行を図るための国家公務員及び地方公務員の兼業の特例に関する法律案」を提出しました。

この法案は、兼業許可制度に係る国家公務員等の特例として、①予備自衛官等になる時に招集に応じることも含めて承認を受ける、②職務専念義務は免除とする、③訓練招集に応じた期間の本務の給与は減額しない措置を受けるもので、いわば予備自衛官等の兼業を行う場合に招集に応じやすい環境を整備するためものとされています。

国家公務員は職務専念義務が課せられ（国家公務員法第 101 条）、兼業は原則禁止です。この大前提が崩れます。上司から「予備自衛官どうかね？人事評価がよくなるかもしれないよ」「私の評価もあがるかも」と言われたら・・・。



4.19 総がかり行動 800 人 名古屋市栄をデモ行進

背景に自衛官の定員割れも

近年、自衛官の定員割れが続いています。予備自衛官等も含めて充足率（自衛官：約 9 割、予備自衛官：約 7 割、即応予備自衛官：約 5 割）は十分でなく、政府としては自衛官等の確保が至上命題となっています。自民党大会では高市首相が「時は来た」と憲法改正について今後 1 年で国会発議に道筋をつける考えを表明するなど、改憲を加速しています。この法案の国会提出に対し、「徴兵制への第一歩では」「戦争準備では」などの声が上がっています。

自治労連は 4 月 13 日、国公労連は 4 月 15 日に書記長談話を発表。廃案にして白紙撤回にするとしています。（この記事は国公労連書記長談話をもとに、若干の付記をしました）

安保政策愛知県実行委員会 総会 記念講演

大軍拡と改憲を許さない
現情勢と新署名運動。私たちのたたかい

4月23日 木
労働会館 本館2階 18:30~20:50
当日の講演は無料です。お申し込みは不要です。お申し込みは不要です。お申し込みは不要です。

講師：秋山正臣さん
(全労連議長)

主催：安保政策愛知県実行委員会 名古屋平和連帯 22:30 県上会等 0372-911-0070

AIROREN ニュース

より良い職場と地域に

春の自治体キャラバン5/8スタート 事前学習会に32人参加

2026年春の自治体キャラバンが5月8日（金）スタートします。

キャラバンを成功させるための事前学習会が4月22日、労働会館で開催され32人（会場22人、Zoom10人）が参加しました。

キャラバン実行委員長でもある愛労連の西尾議長は（写真）、国会前や全国各地で起こっているデモにふれ「憲法を守ろう」の運動の盛り上がり強調、「憲法9条こそ平和の土台、働くルールの確立、当たり前の日常を権力者に奪わせない」。三重県伊賀市政が公共の再生で前進している実態にもふれ、「人権が大切にされる地域を作ろう」とキャラバンの成功を呼びかけました。

自治労連の高木書記長は（写真）、2025年のキャラバンのまとめを説明し、「十分ではないものの、処遇改善は着実に前進している」と述べました。そして「どうやって市民の人権を守るかが大切。当該自治体の職員を励ましなが、より良い職場と地域を作って行こう」と語りました。そのあと、各要請項目について、自治労連、愛労連、全国一般、福祉保育労、建交労、愛教労の担当から、また、「憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上を求める要請書」の提出と議会から国または県に上げる意見書について説明が行われました。

最後に、日程（時間含む）と当日の責任団体、運営などの説明と確認を行いました。「住民の福祉の増進」のために有意義な情報交換の場になるようキャラバンを成功させましょう。日程表は次ページ参照。



第97回愛知県中央メーデーの開催時間変更について

第97回愛知県中央メーデーについて、諸般の事情から開催時間を変更することになりました。

開会は10時です
急な変更になり申し訳ありません。



【集会次第（主なもの）】（4.24現在）
9:00 開場
9:30 オープニング企画
10:00 開会（議長団・団体代表者紹介）
開会宣言、ファンファーレ
8団体によるリレートーク
デコレーション・コンクール発表
10:50 デモ行進出発

春の自治体キャラバン日程表

月	日	曜日	自治体名	時 分	～	時 分	責任団体
5月8日	3	金	愛西市	10:30	～	11:30	愛労連
			津島市	13:15	～	14:15	
			大治町	15:15	～	16:15	
5月8日	4	金	瀬戸市	10:30	～	11:30	自治労連
			尾張旭市	13:15	～	14:15	
			春日井市	15:45	～	16:45	
5月8日	5	金	東館町	10:30	～	11:30	自治労連
			刈谷市	13:15	～	14:15	
			高浜市	15:15	～	16:15	
5月11日	7	月	小牧市	13:15	～	14:15	自治労連
			江南市	15:30	～	16:30	
5月11日	8	月	豊山町	10:30	～	11:30	愛労連
			北名古屋市	13:15	～	14:15	
			清須市	15:15	～	16:15	
5月11日	9	月	半田市	10:00	～	11:00	自治労連
			東海市	13:15	～	14:15	
			武豊町	15:30	～	16:30	
5月13日	11	水	大山市	10:30	～	11:30	自治労連
			扶桑町	13:15	～	14:15	
			人口町	15:00	～	16:00	
5月13日	12	水	岡崎市	10:00	～	11:00	愛労連
			豊田市	13:30	～	14:30	
			みよし市	15:30	～	16:30	
5月13日	13	水	長久手市	9:00	～	10:00	自治労連
			日進市	10:45	～	11:45	
			東郷町	13:15	～	14:15	
			俊明市	15:00	～	16:00	
5月14日	14	木	瀬戸市	10:00	～	11:00	自治労連
			豊川市	13:15	～	14:15	
			新城市	15:30	～	16:30	
5月14日	15	木	知多市	10:30	～	11:30	愛労連
			阿久比町	13:15	～	14:15	
			大府市	15:15	～	16:15	
5月14日	16	木	一宮市	10:30	～	12:00	自治労連
			稲沢市	13:30	～	14:30	
			あま市	15:15	～	16:15	
5月20日	22	水	豊南市	10:00	～	11:00	自治労連
			万尾市	13:15	～	14:15	
			北田町	15:30	～	16:30	
5月20日	23	水	豊橋市	10:30	～	12:00	東三河労連
			田原市	14:00	～	15:00	
5月20日	24	水	常滑市	10:30	～	11:30	愛労連
			南知多町	13:30	～	14:30	
			箕浜町	15:15	～	16:15	
5月21日	25	木	知立市	13:30	～	14:30	自治労連
			安城市	15:30	～	16:30	
5月21日	26	木	設楽町	10:30	～	11:30	自治労連
			豊根村	13:30	～	14:30	
			東栄町	15:30	～	16:30	
5月21日	27	木	赤富市	11:00	～	12:00	愛労連
			豊江町	13:30	～	14:30	
			茂島村	15:30	～	16:30	
5月22日	28	金	米谷市	10:00	～	11:00	自治労連
6月3日	5	水	名古屋市	10:00	～	12:00	自治労連
		未定	愛知県	10:00	～	11:00	愛労連

1万署名で1800 円に

最賃署名の協力求め、対策委員が団体訪問（4/24）

今年3月からスタートした愛労連の最賃署名。各単産・地域組織でとり組みが進んでいますが、愛労連の「社会的な賃金闘争対策委員会」は4月24日（金）、3班に分かれて21団体に outgoing、最賃署名の協力をお願いしました。不在の所は、訪問のメモとお願い文書・署名をポストインしてきました。保険医協会へは青山さん（国公）と青木さん（生協労連）が訪問、「お待たしてました」と快く対応していただきました（写真/上：左は青山さん、右は愛知社協事務局長の伊藤剛さん）。

新婦人（写真右上）、愛商連（右下）に林さん（自治労連）と薄さん（福祉保育労）が訪問。竹内事務局長は、名古屋南部法律事務所、名古屋法律事務所、名古屋第一法律事務所などを訪問し、協力をお願いしました。

署名は、愛知労働局と愛知地方最低賃金審議会に第一次分として6月28日（金）、その後の集約分は7月中旬までに随時提出します。（4.9の名取最賃アクションを現場で見た方から「折必勝」の激励のハガキが届き、お礼をかねて署名を同封したら20筆分送ってきてくださいました。感激！）

殺傷武器輸出・長射程ミサイル・特定利用港湾 「安保破棄実行委」が定期総会

4月23日（木）、「安保破棄実行委員会」の定期総会が労働会館で行われ27人が参加しました。記念講演は、憲法共同センターの共同代表でもある秋山正臣さん（全労連議長）を招き「大軍拡と改憲を許さない情勢と新署名運動・私たちのたたかい」をテーマに話しました。秋山さんは9条の会など憲法闘争の歴史にふれつつ、「戦後最大の改憲の危機」「一方で国会前や全国で改憲反対の急速な運動が巻き起こっている」ことを報告し、新署名の成功を呼びかけました。

矢野創事務局長（平和委員会）は、「殺傷武器の輸出、長射程ミサイル、特定利用港湾」など諸課題のとり組みを報告（メディアも注目）、方針では沖縄の辺野古基地建設反対のたたかいや学習活動などを提起、財政報告、予算案、会則の見直しを提案しました。3人が発言し、2026年の役員体制を確認しました。

働くみんなの給料あげろ

第97回愛知県中央メーデー、県内5カ所でも

5月1日（金）第97回

愛知県中央メーデーがヒサヤオドリパーク・テレビトーヒロバで開催され約800人が参加しました。オープニングはうたごえ協議会の合唱。議長団は、生協労連の古家祐太朗さん（写真下の右）と愛

高教の松本陵子さん（同左）が努めました。開会

宣言を副実行委員長の西脇敬さん（名港労議長）が行いました。実行委員長の西尾愛労連議長は「軍事一辺倒で外交不在の政治ほど危険な道はない」「止まらない物価高騰のなか、人間らしく暮らすには最賃・時給1800円以上が必要」などと訴えました。

来賓で自由法曹団の伊藤勤也弁護士（写真上・リボンの方）は「労働者の権利向上は平和であってこそ前進できる」と話しました。リレートークでは、①ケア労働（医労連）、②交通運輸（建交労）、③非正規

公務員（自治労連）、④社会保障（年金者組合）、⑤反核平和（平和委員会）、⑥食と農業（愛知農民連）、⑦消費税・インボイス（ストップインボイス）、⑧教育（名高教）が現状や要求内容を訴えました。

メーデー宣言は「戦争反対・憲法守ろう」「労働者祭典の意義」「声を上げて未来を変える」が柱で、最後に「わたしたちは1人ではありません。だからみんなで声を上げて未来を変える」。デモ行進は、雨で中止になったため、リズムに合わせ、「社会福祉を拡充しよう」「ケア労働の賃金あげろ」「憲法9条 今こそいこう」「まともに暮らせる社会に変えよう」とコール＆レスポンスで声を上げました。

憲法こそ未来

デコレーションコンクールの最優秀賞には、デコレーション部門で新婦人中支部、仮装着ぐるみ部門は福祉保育労かわらまち分会、横断幕ブラカード部門に名古屋大学職員組合が選ばれました

県内5カ所でも地域メーデーが行われました。

東三河地区メーデーは豊橋市松葉公園

で176人、尾張中部地区メーデーは春日井市春見公園で150人、尾張東メーデーは瀬戸市宮川モールで60人で開催しました。(写真が送られてきた地域を紹介)

一番下・右の写真は、5月1日しんぶん赤旗の一面に登場し紹介された「女性の休日」の愛知のとりくみの写真のひとつです。急な呼びかけにもかかわらず、多くの女性が集まって素敵な写真を撮ることができました。



新婦人中支部



尾中



福祉保育労かわらまち分会



名大職組



愛高教のみなさん



東三河



尾東



AIROREN ニュース

Ai 愛労連 NEWS

2026.5.9
NO.710

発行：愛知県労働組合総連合 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館 3F 電話 052-871-5433

改憲NO、9条守れ

5.3 憲法記念日、名古屋と豊橋などで集会・デモ



憲法記念日の5月3日(日・祝)、名古屋や豊橋をはじめ県内9カ所で、集会やいろんなスタイルのデモが行われ多くの市民が参加しました(デモカレンバーによる)。

名古屋市公会堂で行われた集会には1700人が参加、落語家の二代目林家三平さんの演目は「国策落語」。「お国のために役に立つ」「ぜいたくは敵」など戦争協力のせりふが随所にあり、「武器より怖いのは人間の心を変えてしまうこと」と話しました。

集会後、午後5時からのデモ行進には、雨の中でしたが750人が参加、昨年までと違い若い人の参加が目立ちました。鶴舞～上前津～大須を行進、歩道には人が立ち止まり「戦争反対」の声を上げる人の姿が



ありました。終点の若宮広場では、先に着いた行進者が後に来た行進者を迎えあたたかい雰囲気になりました(写真上の右)。集会は中日新聞、デモ行進はCBCテレビ、しんぶん赤旗は集

会・デモを報道しました。豊橋駅でのデモには60人が参加しました(写真下)。

AIROREN ニュース

ひどいパワハラ、賃下げ

安城市の美容皮膚科クリニックで労働組合結成（医労連）

3月下旬、安城市にある美容皮膚科クリニックの「医療法人美心研 咲くらクリニック」で新しい労働組合「SK労働組合」が結成されました。

3月、看護師から、「休日の削減、院長によるハラスメント、院長の機嫌や好き嫌いで電気の消し忘れなど些細なことでインシデントを書かされボーナスが減られる」と言った相談が医労連にありました。

職員が集まった場で「故意ではないミスで物を壊したりした際、全額罰金を払わされる」「日曜祝日が出勤となり、家族との時間が減ったのに、賃金が減らされようとし



ている」「バカ、アホ、のろまなど院長からのモラハラ・パワハラがひどい」「みんな辞めてもらっていい、俺一人でやれるから」というのが口癖など勤務環境の悪さへの不満が噴出しました。

こうした中、職員は組合結成を決意、13人の加入で結成となりました。4月7日に院長に結成通告と要求書・団体交渉の申し入れが行われました。

通告後、院長のパワハラが減るなど、さっそく成果が表れています。5月14日には第一回団体交渉が予定されています。

結成時には、全国21日の組合からメッセージが寄せられ、仲間は大変励まされています。

第3次全国最賃デー・アクション

5月22日（金）17:30~18:30

名古屋駅桜通口交番前

最賃署名・シールアンケート・スピーチなど。多くの参加をお待ちします。

第52回東海自治体学校

5月13日（水）10時から16時（午後9時45分閉校）
会場：名古屋大学グランド・ビル（名古屋市中区）
入場料：無料（当日受付）
定員：100名（先着順）
申込：5月10日（月）18時～5月12日（水）18時
申込先：愛知県労働組合総連合（名古屋市中区）
申込方法：申込書（別紙）を添付し、下記までお送りください。
申込先：愛知県労働組合総連合（名古屋市中区）
申込先：愛知県労働組合総連合（名古屋市中区）

※申込書は、下記URLからダウンロードできます。
※申込書は、下記URLからダウンロードできます。

※申込書は、下記URLからダウンロードできます。
※申込書は、下記URLからダウンロードできます。

※申込書は、下記URLからダウンロードできます。
※申込書は、下記URLからダウンロードできます。

組合のよさ知ってね

愛高教がスプリングジャンプ（新歓）

愛高教では、5月10日（日）、「スプリングジャンプ（SJ）2026」を行いました。SJとは、愛高教の新歓行事であり、組合のよさを知ってもらう機会として毎年実施しています。今年は60名前後の参加者に、組合未加入者も5名以上の参加がありました。

ドイツゲーム（カードゲームやボードゲーム）で白熱したり、テーマごとに喋りあうブースで交流したりできました。

ドイツゲームに携わるようになった吉松さん（元愛高教組合員）の講演では、組合のよさや、ゲームを通しての姿・発達など、たくさんの方を学ぶ時間となったと思います。終了後は支部ごとに夜の街へ繰り出したようです。さあ、ここから「濃厚対話」の始まりですね。（愛高教 松本陵子）



「春キャラ」がスタート～初日は9つの自治体



5月8日（金）春の自治体キャラバンがスタートしました。8日は、愛西市・津島市・大治町・瀬戸市・尾張旭市・春日井市・東浦町・刈谷市・高浜市の9つの自治体で要請と懇談が行われました。憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上を求める懇談。改善をめざして全自治体を訪問します。

各地で水枯れ発生

「リニア新幹線を考える」、東海北陸ブロック女性交流集会

東海北陸ブロック女性交流集会が5月9日～10日に行われ5県から30人が参加（石川5、福井2、三重3、愛知4、静岡16）しました。



1日目はリニア新幹線を考える静岡県民ネットワーク共同代表の林克さん（元静岡県議会議長）から、「水と環境を置き去りで工事許可は許されない」と題した話しを聞きました。「知事が変わり、対話の軸をずらし建設を加速している。調査もずさんなまま、トンネル湧水量の想定が少なすぎ、各地で水枯れが起きている、人口減少社会で本当に必要なか」など問題が山積みです。今後も、「反対の署名集めや自然破壊の反対を訴えていきたい」と協力を呼びかけました。その後、各県女性部の活動報告が行われ、女性活動の継続の悩みなども出されました。2日目はグループに分かれてフィールドワークで交流し（写真上：愛知の参加者も）、ブロックの女性部の活動と繋がりを強める交流会となりました。



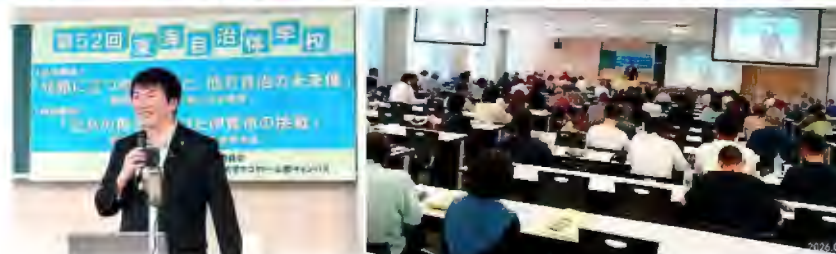
正規(8週)と非正規(6週)、産前休暇の差

これっておかしくないですか？自治体キャラバンの要請・懇談で

愛労連NEWSでもお知らせしているように自治体キャラバンは5月8日スタートし、先週～今週にかけて全自治体（55）で要請と懇談が行われています。懇談の資料に2025年度の「全自治体の労働条件」などの一覧表があります。それを見ると正規職員と会計年度任用職員の「格差」がわかります。例えば、生理休暇は正規職員が全自治体で特休や病休で有給なのに、会計年度任用職員の有給は4自治体だけです。産前休暇の8週間は正規職員で32自治体あるにもかかわらず、会計年度任用職員12自治体のみです。他にも妊娠疾病や病欠休暇について、正規職員はほとんど有給にもかかわらず、会計年度任用職員はほとんど無給。どう考えてもこの差はおかしい。自治体は、格差の解消に向けてとくむべきです。

民間委託⇒伊賀市直営

第52回東海自治体学校（5/17）で三重県伊賀市長報告



第52回東海自治体学校（同実行委員会主催）が5月17日（日）、名城大学ナゴヤドーム前キャンパスで開催され約239人（会場・オンライン）が参加しました。午前の記念講演は、南山大学の榊原秀訓教授（東海自治体問題研究所長）、「岐路に立つ地方自治と地方自治の未来像」をテーマに、合格しても辞退、若い職員の早期退職など減少する地方公務員について、「公務員の人気は薄れ、職員採用試験の時期を早める動き（4月）があるが、やりがいなければ抜本的な解決とならない」と話しました。

続いて稲森稔尚・三重県伊賀市長が（写真左）「公共の再生に向けた伊賀市の挑戦」をテーマに報告。①市役所のすべての職員がいきいきと働き、自らの成長を実感できる市役所の実現、②新規採用職員の研修では、日本国憲法の精神と理念を理解してもらう、③2021年11月から保育所民営化計画を策定したが、市長就任後、地域懇談会に市長が参加し意見を聞き民営化中止、翌年2月民営化計画の見直し、この4月から保育士の正規職員の積極採用（賃金的大幅引上げ検討）、④コスト削減を目的に一部窓口で進んだ



民間委託を2026年3月契約期間の満了を見据え、9年間の委託業務の検証の結果として、「業務の蓄積・ノウハウが途切れる」「予算の削減効果が得られない」ことで、今後順次直営に移行するなど、住民・職員の意見を聞き、行政を進めていることを報告しました。

午後からは10の分科会と講座。「あいちのジェンダーギャップを産業構造の視点から読み解くⅡ」（昨年に続き）では、愛労連の佐賀事務局長が司会を担当、梅原浩次郎さん（産業構造研究会）が「愛知の産業構造とジェンダー平等の視点」と題して基調報告、西尾議長と渋谷典子さん（NPO法人参画プラネット代表理事）が問題提起、トークセッションのパネラーには池内秀樹さん（産業構造研究会：中部中小企業同友会）、愛労連女性協の竹内佐和子さん（愛高教）、同青年協の澁谷成美さん（写真：右から2人目が澁谷さん、3人目が竹内さん）が、仕事現場の現状もふまえ、ジェンダー平等の大切さを話しました。

外食・娯楽費など見直し

愛知県最低生計費試算調査・ライフトーク 2026

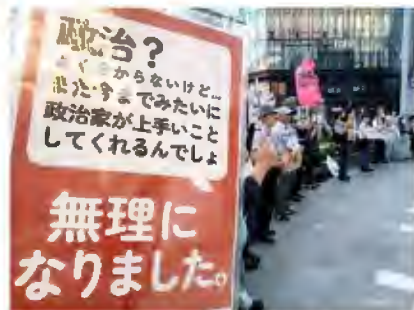
愛労連は5月20日（水）午後8時から約1時間、オンラインによる「ライフトーク 2026」を開催しました。7月から始まる愛知地方最低賃金審議会（以下、審議会）に向けて、最低生計費を試算（2024 年板のアップデート）して、愛知労働局と審議会に提出します。ライフトークには単身世帯の若者など5人、対策委員も6人参加し、消費支出の各項目（外食費・教育娯楽費・理美容用品費・交際費など）にそって見直しの可否について話しました。事前に寄せられた17通のアンケートの集約結果も資料としました。

例えば2024年調査では昼食は600円でしたが、物価が上がり今は800円との意見が多数でした。また、一泊以上の旅行は1回3万円でしたが、今は4万円など見直し必要ありの意見がありました。

愛労連では6月4日の対策委員会でもまとめ案を議論し、6月26日に労働局に提出、記者会見を行う予定です。26日早朝、愛知学院大学（名城公園キャンパス）で宣伝も計画し愛知最賃デーとしてとりくみます。

いよいよ名古屋労連が結成

ながく議論してきた名古屋労連の結成。いよいよ5月30日（土：13時30分～労働会館東館ホール）の結成大会まであと1週間になりました。結成大会のチラシは（写真：右）すでに単産・地域に下りています。記念祝賀会も同日16時から開催されます。多くの参加で盛り上げましょう。



5月19日「憲法とくらしと政治にいかす 改憲NO! あいち総がかり行動」が主催する19行動は栄の三越前で150人以上が参加。個性あるバナーも目立ちました。「政治?よくわからないけど、、、また今度でみたい政治家が上手いことしてくれるんでしょ・・・無理になりました」。訴え調もいいですが、ひとひねりしたこうした主張も目をひきました。



個性がいいね！

2000 円多数

全労連第3次最賃デー（5.22）

全労連の第3次最賃デーの5月22日（金）、愛労連は17時30分から18時愛30分まで名古屋駅前以最賃ビッグアクションを行い19人が参加しました。

駅前は多くの人が歩き、大横断幕とプラスターは目をひき、横断歩道で信号待ちの方は単産代表者のスピーチを聞いていた方も多かったです。

4月は天候不順で出来なかったシールアンケートも名古屋市職労の2人ががんばって声をかけ、31人（うち時間給24人）が協力、「最低賃金はいくりに引き上げるべき？」には時間給の15人が「2,000円」または「2,000円以上」にシールを貼りました。「署名します」と近寄って来る人もあり、この場の署名では経験のない15筆が集まりました。しんぶん赤旗、愛知民報が取材しました。



最賃署名、あと1カ月

今年3月から始まった愛労連の最賃署名は、6月26日に第一次分として労働局に提出します。報道機関も入る予定。目標は1万筆です。あと1カ月、最後のがんばりをお願いします。7月中旬に二次分を提出します。



宣伝行動には、たまたま通りがかった生協労連の柳委員長（女性：写真中央）が合流。明日から全国会議があるので前日に名古屋入りしたとのこと。びっくり！



発行：愛知県労働組合総連合 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館 3F 電話 052-871-5433

オール名古屋で団結

5月30日 名労連結成大会 14 組 合 約 8 千 人 で スタート

5月30日(土)

名古屋地域労働組合
総連合（名労連）の
結成大会が行われま
した。30日時点の
組織人数は14組合
約8千人、今後の運
動で大きな発展が期
待されます。



愛労連の竹内事務
局長が議長を務めま

激励のあいさつに立った愛労連の西尾議長は「名古屋地域の労働運動にとって歴史的な転換点として祝福したい。地域労連の役割は職場だけでなく地域住民との連帯と広げ社会を動かすこと」を強調しました。

記念講演した全労連の竹下武事務局長は、「地域組織は学びと交流、組織化の拠点として職場から結集をし、ボトムアップの運動をめざそう」と呼びかけました。

結成準備事務局の青山さん（国公）から綱領・規約・諸規則案、同西田さん（福祉保育労）が加入組合の承認、地域協議会の設置、運動方針、役員案、同津田さん（自治労連名古屋ブロック）が2026年度初年度予算案をそれぞれ提案、9月に開催する定期大会に向けて加盟組織を増やすなど、より具体的な予算を提案したいと説明しました。

討論では4つの組織が発言。「地域住民の要求を結集し実現する運動を」「支部単位で加盟し地域とのつながりをつくり直したい」「地域のベテランと若い世代が交流することが大事」「公立保育園の民営化問題など地域住民の期待に応える運動を」「何をやるか、みんなで決めていく組織にしよう」。

すべての議案が圧倒的多数で採択されました。

新議長に承認された自治労連名古屋ブロックの笹原勝治さんは、2018年頃から地域組織のあり方について議論を重ねられた経過にふれ、「名労連結成は到達点であると同時に出発点である」と話しました。

【初年度役員】議長：笹原勝治（自治労連名古屋ブロック＝写真の左）、副議長：加藤健二（三の九国公）・渡辺義巳（年金者組合）、事務局長：西田知也（福祉保育労働地本書記局分会＝写真の右）、渡辺泰（結成準備事務局）、会計監査：落合洋子（愛高教名南支部）

AIROREN ニュース

力をひとつに仲間とともに

8年の議論で実を結ぶ

愛労連は2017年7月の定期大会で、幹事会から「地域労連の再編強化を検討すること」が検討委員会に諮問され、同委員会は2018年7月11日に「地域労連の再編強化に関する答申」を出しました。

この答申を受け、名古屋市内地域組織と関係単産合同会議が5回開催され、2023年7月の第66回定期大会で「名古屋市内地域組織の再編強化に関する報告」を確認しました。その後11回の準備会が行われ「名労連の結成の呼びかけ」「綱領・規約・諸規則の草案」などを策定、名労連の加入や地域協議会への移行に向けた討



議が呼びかけられました。

設立準備事務局が作られ（愛知国公・自治
労連・福祉保育労・年金者組合・名中センタ
ー・千種名東労連・愛労連）、2026年5月ま
でに10回の会議を開催、結成に向けた準備
が進められました。同年6月～11月まで3回
の設立関係単産・地域代表者会議を開催、
2026年2月に結成に向けたスタートアップ集
会、5月8日には最終説明会が行われまし
た。

結成大会では「力をひとつに、仲間とともに新たな扉を開き、未来にバトンをつなぐ」と団結がんばろうを唱和。大会終了後は、なごやかに結成祝賀会が行なわれました。



AIROREN ニュース

誰の学校、私たちの学校

「私たちが闘うとき」上映会に 105 人の活気（5/16）

愛高教などが主催した、ロサンゼルス教員組合（UTLA）のストライキドキュメンタリーの映画「W HEN WE FIGHT 私たちが闘うとき」上映会が5月16日（土）労働会館東館ホールで開催され105人が参加しました。

上映会にあわせ、ロサンゼルス教職員組合元代表のアーリーン・イノウエさん（写真上：中央）が講師として来日。2019年、ロサンゼルス教職員組合がストライキに立ち上がった経過、組合員を動かしたのは何だったのか、UTLAで運動の先頭に立ったアーリーンさんのお話だけにリアルで力強いものでありました。

70時間のたたかいを30分に凝縮したこの映画。2019年以前は組合は弱かったが、「クラスサイズを小さくして教員を増やす」「司書と養護教諭を正規雇用」「仕事に見合う適正な昇給を」「公教育をよくするため生徒のための学校を作る」「生徒や親が何を考えているのかをしっかりと聞く」「信頼関係が何より大事で、生徒が楽しみになる学校と一緒に作る」「団結したら怖いものはない」、揺るぎないたたかいで労働組合は強く大きくなって行きました。

スローガンのひとつ「誰の学校 私たちの学校」は、組合員が団結する上で、すばらしいメッセージです。愛労連の運動にもつながります。アーリーンさんは英語での講演と会場からの質問に答えました。「同



時通訳」は、全労連事務局次長の布施恵輔さん、わかりやすい通訳に参加者一同感謝申し上げます。

当日は終日の愛労連幹事会を一旦中断し、上映会に参加しました。

アーリーンさんと布施さんを囲む夕食交流会もなごやかに行われました。

第3次全国最賃デー・アクション

5月22日（金）17:30~18:30

名古屋駅桜通口交番前

最賃審議会まで1カ月余。最賃署名・シールアンケート・スピーチ・ピラ配布。多くの参加をお待ちします。

誰もが平和に生きたい

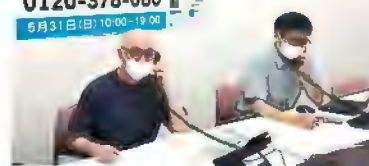
平和行進が5月30日愛知入り、6月11日岐阜へ引き継ぎ

今年69回目になる原水爆禁止国民平和行進が5月30日（土）、静岡から愛知入りしました。この日はのべ680人が参加、岩屋緑地公園から桜丘高校まで歩きました。31日（日）は、奥三河の新城市・設楽町・豊根村・東栄町、西三河の碧南市・高浜市・西尾市を行進。のべ349人が参加しました。

30日の引き継ぎ集会以東三河労連の伊藤英一議長（豊橋市職労＝写真上の右）は、「三河港も特定港湾に指定された。戦争になれば、攻撃目標になる。二度と同じ過ちを繰り返してはならない。国の役割は、国民を飢えさせないこと、そして戦争を起こさせないこと。平和は黙っていても守られません。諦めてはいけません」とあいさつしました。愛労連からは同日で柴田副議長、濱島副議長、青木幹事、炭竈幹事、小松幹事、高田幹事らが参加しました。



ケア労働者のための
労働相談ホットライン
0120-378-060
5月31日（日）10:00~19:00



ケア労働者ホットライン
ケアマネ1人で45件

5月31日（日）、全労連は「ケア労働者のための労働相談ホットライン」を実施。愛労連も労働会館に相談窓口を開設し、のべ12人の相談員が対応しました（医労連・福祉保育労・建交労・自治労連・愛労連事務局）。

お昼のNHKニュースで流れると、すぐに電話が鳴りました。精神病院の看護師から「マンパワー不足で介護度が高く仕事が増え退職者が多い」、ケアマネージャーから「1人で45件担当している。利用者家族からカスハラを受けている」、会計年度任用職員の保育士から「人事評価で雇い止めた保育士がいる。小さなミスなどで切り捨てられる不安がある」など7件の相談がありました。中日新聞が取材し、「全産業平均は39万2千円で、介護職の月給は（8万円も少ない）31万4千円」という記事とともに、池田さん（医労連書記次長：写真右側）のコメントを報道しました（6月2日付け社会面）。

県独自の支援求める

医療・介護・福祉・保育労働者の処遇と最賃引上げで

愛労連は、6月5日（金）、ケア労働者の大幅賃上げ、賃金格差是正および報酬改定10%以上を求めるとともに、安心して働き続けられる愛知県政の実現を求め、愛知県と懇談しました。

要請団は福祉保育労・自治労連・建交労・医労連・生協労連・愛労連事務局から13人、県側からは関係部局から12人が出席しました。要請書は3月2日に提出していましたが、日程調整の都合等でこの日になりました。

愛労連の西尾議長は、あいさつで「県内の医療・介護・保育の現場は今、深刻な人手不足。最大の理由は、他産業との賃金格差と過酷な労働環境にある。県が『医療・福祉の守り手』として、国への強い働きかけと同時に、居住手当や夜勤体制の整備、正規雇用への転換を促すための『愛知県独自の直接支援』に踏み出すことを強く求めたい」と述べました。

要請項目は3つ。①国に対する強力な働きかけ（報酬単価や公定価格などケア労働に関する補助金を10%以上引き上げるとなど）、②愛知県独自の直接的支援（独自加算・補助金）の実施、③育児・介護と仕事の両立支援と労働環境の整備です。

要請側から「6月からの診療報酬の改定で賃上げは1.9万円と言うが、定期昇給を加えての額で実際は6千円から1万円程度」「2人で訪問介護すれば良いというが、そもそも体制がない」「中小病院に対する県独自の支援」「保育士のワークライフバランスは評価する。もう一人配置できることが職員の定着と育成に繋がる」「学童保育・放課後児童クラブの増設と居場所事業への懸念」などを要望・指摘しました。

県から「本日の意見を共有して検討状況を確認していく」「介護問題は安全確保のための独自支援の可否を協議する」「中小病院や自治体病院の賃上げ状況の実態把握」などについて回答がありました。

要請側から、今後も担当課との連絡・協議の継続、現場実態を踏まえた処遇改善、人員確保策の具体化を求めました。

後半は、最賃引き上げについて。最賃審議会に対して目安を上回る知事の意見表明と審議会での知事による意見陳述、賃金引上げ企業への県独自の支援策を求め、「愛知県最低賃金の引上げに積極的な役割を發揮されることを求める要請書」を提出し、要請側から具体的発言をし、懇談しました（写真左）。

※お詫び：前号（719号）で東三河労連の議長を伊藤栄一さんとしていましたが、伊藤英一さんです。お詫びします。



核兵器廃絶、戦争やめよ

名古屋集中・行進ピースアクション（6/7）



静岡から愛知入りした平和行進9日目。6月7日（日）は、名古屋市内各区で集中行進が行われ、栄（ミナスポーツ広場）でのピースアクション、大須を歩く折鶴行進にのべ1,503人が参加しました。募金は113,303円、折り鶴36,000羽、ペナント192本が集まり、大きく盛り上がりしました。

中村区幹線コース出発集会は中村公園で行われ、約100人が参加、事務局団体を代表して愛労連の柴田副議長（国公議長）が「アメリカやロシアによる軍事攻撃で多くの人命が失われている」と話し、軍事優先の政治や公務員の予備自衛官兼業特例法案などの問題を訴えました。山田実行委員長（福祉保育労・ふたつばし保育園分会；写真2段目右）は「昨年沖縄に行ったとき、米軍の戦闘機から部品が落ちたこともあり、戦闘機が通過するたびに室内に逃げ込むことが4カ月で500回あったと聞いた」ことを話しました。

大須での折り鶴行進（写真上右）、ピースアクション（同左）での福祉保育労の仲間のみなさんです。11日岐阜に引き継ぎます。

最賃一律署名、閣議員に託す

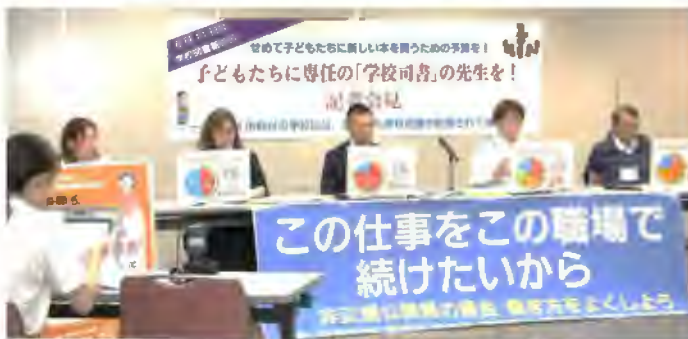
今年2月までとりくんだ全国一律最賃署名。関健一郎衆議院議員（日本維新の会）が紹介議員を応諾していただき、西尾議長らが6月1日豊橋の事務所へ訪問、本人に直接7千筆分を渡しました。会計年度任用職員や学校図書館問題などについても懇談しました。



学校図書館を学びの真ん中に

「子どもたちに専任の学校司書の先生を」 記者会見（6/11）

愛労連は、6月11日（木）「学校図書館の日」、「せめて子どもたちに新しい本を買うための予算を」「子どもたちに専任の学校司書の先生を」の記者会見を労働会館で



行いました。中日新聞（6.16 報道）・朝日新聞（6.17 同）・しんぶん赤旗（6.13 同）が取材しました。

司会の愛高教書記次長の松本陵子さんは、「特別支援学校では、蔵書数が不足し、司書の配置も少ない」と現場の実態を伝えながら進行了。会見の趣旨について名古屋市職労執行委員長の磯村和佳さんは、「今日は学校図書館の日。あまりメジャーではありませんが、学校図書館が保護者や市民に知られないまま、危機に瀕している。ある公立学校では、新しい本を買うための予算が足りず、教員と子どもたち、保護者と相談の上、空き缶などを集めた収益で子どもたちの本を購入している。また、専任の司書が愛知の公立学校にはほとんどおらず、しかも、数校掛け持ちで短時間の非正規社員にされてしまっている。子どもたちに新しい本を買うための予算を。こうした思いが会見の原動力になった」と語りました。

自治労連愛知県本部執行委員の松井克徳さんは、「春の自治体キャラバンのアンケートで県内 54 市町村のうち公立小中学校の図書館に司書を配置していない自治体が 24 か所もある。司書を置く自治体でも 8 割近くが複数校を兼務している」実態を告発しました。

現役司書の A さんは「学校司書は、子どもたちと本を結び、読書活動を支え、授業に必要な資料を準備し、教育課程に寄与する仕事。私が働く市では、勤務時間が年間 700 時間以内と決められ、一校あたり従事できる回数は年間 27 回程度」と説明しました。そして「常勤で一校専任に。学校図書館を学びの真ん中に」と訴えました。記者から多くの質問が出され、会見終了後も個別に聴く記者も姿もありました。

会見後、県知事と教育長に「すべての学校に専任・専門・正規の学校司書の配置」とする 6 項目の要請書を提出、現場の職員も参加し、実情を訴えました。



最賃引上げ、全国一律

全労連東海・北陸ブロック 2026 年最賃キャラバン（6/10～12）

全労連東海北陸ブロックは、6月10日に富山・石川・福井、11日に岐阜・三重、12日に愛知・静岡で最賃キャラバンを行いました。要請書は13項目、「①1700円以上の引き上げ（全労連）、2000円以上に、②発効日問題、③全国一律最賃制度、④生計費資料の充実、⑤中東情勢と生計費、⑥当事者の意見陳述、⑦休会中の審議問題、⑧すべての「審議」「協議」の議事録作成と公開、⑨答申に根拠と理由を記すこと、⑩最賃改定を年1回に限るな、⑪中小企業支援、⑫審議の日程や委員の改選の情報について、⑬労働行政職員の大幅増員」です。



愛知労働局への要請は、ブロック役員と愛労連から西尾議長、竹内事務局長（ブロック事務局長）ら10人が参加、冒頭、全労連東海北陸ブロックの平野竜也議長（岐阜県労連事務局長＝写真右）が要請書を手交し、「中東情勢が原油・原材料価格、物流、建設資材の調達などに影響し、労働者の生活と地域経済の不安が高まっている」と話しました。

労働局は賃金課、総務課、雇用環境・均等部が出席、担当者は「審議会の生計費の資料にかかわりパランスのとれた資料提供に努める」と回答。意見陳述は岐阜県で実現し、多様な意見で審議が深まったとの感想が委員から聞かれたことを伝え、事務局としての努力を求めました。発効日について、審議会資料も春闘の民間の賃金を調査し、人勅も4月から遡って支給される。最賃も本来なら4月から改定とすべきではないかと主張。6月1日に行った秋田県（3月31日発効）との懇談（オンライン）には厚生労働省の課長も参加したことを伝えました。

最賃署名 なんとでも1万筆を

3月から始めた愛労連最賃署名（住所記載不要）の最終締め切りが迫りました。6月12日現在の集約数は約4千筆です（6月11日メールで集約一覧配信、評議員会資料にも一覧表あり）。6月26日（金）に第一次分を提出します。報道機関も入る予定なので、この日の提出数が重要です。整理の都合もあり6月24日までに集まっている分を愛労連事務局までお願いします。第2次分（最終）は7月中旬に提出予定です。最後のご奮闘に期待！

愛知最賃デー
6.26（金）

★8時～愛知学院大学前宣伝
（地下鉄・名城公園②番出口）
★11時～愛知労働局要請・署名提出行動
★13時30分～記者会見
愛知県最低生計費試算結果発表
など（県政記者クラブ）

ケア・人勸・平和の夏

夏季闘争方針を討論/愛労連 2026 年度第 1 回評議員会（6/13）

愛労連は 6 月 13 日（土）、2026 年度第 1 回評議員会を開催し評議員、特別代議員、幹事会、傍聴など 51 人が参加しました。あいさつに立った西尾議長は「26 春闘で昨年を上回る賃上げがあった組合に敬意を表しつつ、物価高のなか、中小企業・非正規・ケア労働・高齢者雇用労働者に成果が十分届いていない」「特定利用港湾・空港問題をはじめ、国会情勢からして憲法を生かす運動は労働組合の原点」と強調しました。

竹内事務局長から①夏季闘争方針案、②特別議案・「名古屋地域労働組合総連合（名労連）」の加盟承認、③2027 年度役員定数、④2027 年度選挙管理委員の選出について提案・報告し、討論のうえ承認されました。



特別報告として、福祉保育労働執行委員長の越須賀さんが 4 月 25 日～5 月 3 日までニューヨークで行われた NPT 再検討会議に参加した報告をし、「被爆者とともに行動し、仲間と緩やかにつながりながら核兵器廃絶と平和の声を広げていきたい」と語りました。

討論では 11 人（単産 7 人、地域 4 人）が発言。

①病院前で初めてストライキ実施。報酬改定も手当が減額された職場がある（医労連）、②賃上げが実現した職場の報告（西三河労連）、③労働時間短縮と地公法にもつき勤務条件措置要求（愛教労）、④公定価格改善と賃上げ、公務と共同のたたかい（福祉保育労）、⑤憲法の意味と改憲の学習会、予備自衛官問題（自治労連）、⑥新入社員への組合説明会の工夫、なぜ労働組合が政治を変えるのかの学習会実施（JMITU）、⑦高齢職員の賃金改善を重点要求に（国公）、⑧対話と学びあいの学習会、熊出没で休校でも学童は開所の問題（建交労）、⑨みんながワクワクする地域組織にしたい（名労連）、⑩9 月 27 日開催の小牧平和県民集会の成功（尾中労連）、⑪東海大王製紙パッケージのパワハラ・セクハラ裁判への支援の謝意（東三河労連）が表明されました。

午後 3 時からは、革新県政の会と共催で「ニューヨークから学ぶ公共の再生」（マムダニ・ニューヨーク市長誕生への道）と題しての学習会、川口創弁護士が講演し 100 人（会場・リモート）が参加しました。

愛労連第 74 回定期大会は、7 月 19 日（日）10 時から労働会館東館ホールで開催されます。

AIROREN ニュース

生計費重視の審議を

最賃 1800 円署名を最賃審議会・労働局に提出（6/26）

愛労連は 6 月 26 日（金）、最賃審議会と愛知労働局あてに「愛知県最低賃金を 1800 円以上とし、中小企業支援を求める要請」署名の第一次分 12442 筆（うち用紙署名 6500 筆・オンライン 5942 筆）と、「愛知県最低賃金を 1800 円以上に引き上げるために、生計費重視・開かれた審議、中小企業支援を国に求めること及び早期発効を求める要請書」を提出しました（写真）。

要請の冒頭、西尾議長は本日発表する最低生計費試算結果（以下、生計費）にふれ、「最賃引き上げで格差是正、中小企業支援、意見陳述の実現」を要請しました。

要請団は、「審議会で生計費にかかわる資料の採用（愛労連は 4 つの資料の要請）」全国約 8 割で実施されている意見陳述の実現」「中小企業支援に対する県と国への要望」「休会時間が長い、公開審議の充実」を求めました。また、最賃近傍で働く労働者、生活を切り

詰めている青年の声を紹介しました。労働局は「生計費資料の採用は、エビデンスを確認し検討する」「意見陳述は様々な職種・形態で働く労働者の意見を聴く機会を設けることについて審議会で説明する」「中小企業支援の要望は確認する」「審議会の休会時、再開時の時刻を議事録に記載することは検討」「発効日が遅れることで労働者の生活に影響が及ぶことは理解する」「要望を審議会に伝える」と述べました。しんぶん赤旗が取材し 29 日報道しました。最賃署名は二次分（最終予定）を 7 月 9 日に提出予定です。愛労連に 8 日までをお願いします。



生計費試算調査結果の公表で記者会見

愛労連は、6 月 26 日午後、県政記者クラブで「愛知県最低生計費試算結果（若年単身世帯）-2026 年改定版」を公表する記者会見を行いました。幹事社の中京テレビ、中日新聞（6.30 報道）・読売新聞・毎日新聞・東愛知新聞社が参加しました。



司会を医労連の池田さん（書記次長）が努め、竹内創事務局長が調査の結果と意義、浅生卯一さん（元愛知東邦大学教授）が根拠と計算方法、近藤学さん（医労連組合員・介護福祉士）が低賃金の実態を発言しました。

（26 日早朝宣伝は雨天で中止しました）

AIROREN ニュース

不合理な格差なくそう

愛労連パート臨時労組連絡会総会（6/21）

6月21日（日）の午後、労働会館にて第22回パ臨連総会がハイブリッドで開催され、会場36人、オンライン5人の41人が参加しました。

総会に先立ち、職場に残る「正規と非正規の不合理な待遇差」調査結果（簡易版）を愛労連の若井副議長から報告しました。そのうえで10月1日から施行される改訂「同一労働同一賃金ガイドライン」について、生協労連の柳委員長を講師に招き学習し、当事者参加型の企画として「対話と学びあい」を実践しました。

柳さんは、「家族手当」「住宅手当」「退職金」「休暇制度」「福利厚生」など、その目的からして正規と非正規に違いはないこと、「正社員だから」は認められない、疑問が要求になることを強調。「仲間を増やし不合理な格差をなくそう」と呼びかけました。

総会では、2027年度の運動方針および新役員体制が承認されました。

【2027年度新役員（敬称略）】

代表幹事：長坂圭造（自治労連）、幹事：溝田由美子（建交労）、鈴木洋子（生協労連コープあいち労組）、瀧口想真（福祉保育労東海地本）、原真理子（愛知県医労連）、石家誠実（郵政ユニオン）、永井優子（自治労連）。

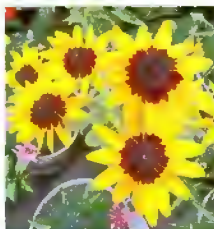


愛労連第74回定期大会

★日時：7月19日（日）10時～17時30分

★場所：労働会館東館ホール

※1年の総括と今後1年の運動方針、秋季年末闘争の議案を提案、討論します。お弁当の注文は7月10日までです。



愛労連の要請を説明

愛知地方最低賃金審議会、署名も置かれる（7/2）

7月2日（木）、愛知地方最低賃金審議会がKKRホテル名古屋で開催されました。小林洋子労働局長は、あいさつで審議会に対し「十分な議論をし、充実した審議を」と要望しました。また、前日に県知事と意見交換を行ったことを報告。「知事から物価上昇等を踏まえた適正水準への引き上げが図られるべき」と発言があったことを紹介しました。

事務局から、6月12日に全労連東海北陸ブロックが行った要請書と同26日に愛労連が行った「愛知県最低賃金を1800円以上に引き上げるために、生計費重視・開かれた審議、中小企業支援を国に求めること及び早期発効を求める要請書」の内容を説明し、併せて、中央のテーブルに置かれた1800円への引き上げを求める署名（写真）の数などを報告し、委員に回覧されました。竹内事務局長ら愛労連から5人が傍聴しました。



初！大村県知事が小林労働局長に引き上げ求める

愛知県の大村知事は7月1日、愛知労働局の小林局長と面会し、物価の上昇が長引いており最低賃金の引き上げを求めました。

大村知事は「最低賃金には生活に必要な費用を補償する側面があり、長引く物価上昇を考えると、適正な水準への引き上げがあつてしかるべきだ」と述べました。小林局長は「引き上げは地域全体の賃金の底上げの観点から重要だ。知事の発言については、審議会で内容を伝えたい」と応じました。審議会が始まる前に、知事が引き上げを求めるのは初めて。2日、NHKテレビ・ラジオ、中日新聞が報道しました。

6月5日、愛労連は愛知県知事に対し「愛知県最低賃金の引き上げに積極的な役割を發揮されることを求める要請書」を提出し、愛知県の担当課と懇談をもっていました。（愛労連NEWS720）

「意見書」標題工夫して多くの組織から提出を

愛知労働局長は7月2日「愛知県最低賃金の改正決定に係る関係労働者及び関係使用者の意見聴取に関する公示」を行いました。「意見書」を7月23日（木）までに審議会あてに提出できます。

昨年は、各組織から標題など創意工夫した意見書が59通提出されました。愛労連は、7月6日付けで「意見書提出について」の通知文を発出。事務局がまとめて、3回に分けて（9日・16日・23日を予定）、労働局賃金課に持っていく予定です。作成をお願いします。

意見陳述、未実施は 10 都県

最賃 1800 円署名、第 2 次分を提出 累計 9,400 筆

愛労連は 7 月 9 日（木）、「愛知県最低賃金を 1800 円以上とし、中小企業支援を求める要請」署名（意見陳述実現・10 月 1 日を発効日とすることなど含む）の第 2 次分 2900 筆分を愛知労働局賃金課に提出しました（写真：右は医労連の池田書記次長＝愛労連社会的な賃金闘争対策委員）。6 月 26 日に提出した第 1 次分と合わせ 9400 筆分で、昨年の 9300 筆を超え目標の 1 万筆に迫りました。16 日提出を最終とします。

今後は（昨年までの例）、7 月下旬から専門部会が始まる予定で事務局から消費者物価指数、家計調査（総務省、名古屋市 2 人以上世帯）などの説明が行われます。そこで愛労連の「最低生計費試算結果 2026 年版」の採用の可否が注目です。

続く、7 月末の本審で「署名」と「意見書」の説明が行われます。昨年、賃金課長はこの本審の場で、愛労連署名について、「個々の組合員の強い意志をこの署名を持って表している」と説明しています。

岐阜では一昨年から意見陳述が行われ、委員から「多様な意見で審議が深まった」と感想が出されました。愛知の審議会は重い腰を上げて、全国 79%の審議会では実施している「意見陳述」の場を設けるべきです。

※意見陳述を実施していない都県：群馬、東京、山梨、長野、富山、石川、福井、静岡、愛知、三重。



9 条変えるな

7 月 9 日（木）12 時から金山駅の北口で定例の 9 の日宣伝が行われ 9 人が参加（写真）。この日は愛労連の担当日で、西尾議長や佐賀事務局次長らが憲法 9 条の重要性を訴えました。署名やビラ配布で高市政権や憲法改悪（改正）に対する対話が弾みました。

学び、つながり、声上げる

第 37 回 愛労連女性協総会（7/12）

愛労連女性協は 7 月 12 日（日）、労働会館で第 37 回総会を開催し 55 人が参加しました。

第一部は、「DV被害者の実情と離婚後共同親権制度の問題を学ぶ」として、制度の導入後の未来を再現した映画「五月の雨」の上映会をおこない、映画に出演した岡村晴美弁護士からお話を聞きました。DV被害者の実情が考慮されていない問題の多い制度だが、運用させないために、各機関と連携して声を上げていくことが大切と訴えました。その後グループに分かれての対話交流では、悩みや思いを共有し好評でした。

第二部の総会は、女性協の荒川議長と来賓の愛労連の西尾議長のあいさつ後、議案を提案し討論へ。福保労、愛高教、自治労連、郵政ユニオン、医労連、建交労から発言があり、すべての議案と新役員について採択しました。「よりよい社会、よりよい世界、よりよい未来を創り上げるために、学び、つながり声をあげよう」と総会アピールを採択。最後は、愛高教が開催したロサンゼルス教職員組合のストライキ映画のシーンにちなみ、「When We Fight! We Win! We Win!」と声を掛け合い、思いを一つにしました。



市民の声で改悪止める/社保協総会



7 月 12 日（日）、愛知社保協の第 46 回定期総会が開催されました。高市内閣が軍事費を増大させる一方で、医療・社会福祉の改悪法案を次々と成立させてきましたが、多くが詳細は政令・省令で定めるものとなっており、各団体からこれを食い止めるのは市民の声だと決意が続きました。

今回の総会をもって森谷議長・小松事務局長が交代し、新議長に選出された保険医協会の早川副会長が代表してあいさつし、事務局長に年金者組合の樽松佐一さんを選出しました。会場で 55 人、Zoom で 8 人、委任状 29 人で計 92 人の参加でした。

愛労連NEWSの受信について

～700 号迎えて～

愛労連NEWSは4月6日発行で700号を迎えました。
600号は昨年7月11日でしたので一週間に平均3号の発行です。
活動をしていただいている単産・地域組織、また、愛労連の活動に参加していただいているみなさんにあらためて敬意を表します。みなさんのおかげです。

愛労連NEWSは、紙面の5割以上が写真で、文章をできる限り短くし、見やすく、さっと読める紙面作りに努力しています。また、速報性を重視しています。

現在、発行と同時に単産・地域組織あてメールで、また、LINEに登録している76人の組合員などに配信しています。単産・地域組織では、幹事会等の場で必要に応じて活用しているとうかがっています。

700号の発行を期に、まだ登録されていない単産・地域組織の役員の方にはLINEに登録して、愛労連活動、単産・地域活動の交流の場として活用いただきますようお願いします。



<https://x.gd/17NwJ>

愛労連NEWS受信

QRコード

信じられん、あり得ない

調整額削減抗議行動に仲間集まる 7.14 県庁前街宣



愛高教は7月14日（火）夕刻、愛知県庁前で「県教委に声を届ける 給料の調整額減らすな」のアピール行動を行い、愛高教をはじめ、愛労連、平和委員会の仲間など60人が参加、熱気に包まれる街宣となりました。



愛知県教育委員会の提案は、障害児学級・学校に勤務する教職員の、その勤務の困難性や専門性に対して支給されている「給料の調整額」を2年かけて半減する国の方針に準拠した提示を行っています。この日は、県教委に対して、全教職員署名4825筆の提出と申し入れも行いました。

障害児学校に勤務する教職員から「発作等の緊急搬送が日常的。職員がチームとなって緊急対応を行っている。危機管理意識の高さも障害児教育の専門性」「給与は対価、私たちの働きを表すもの、それを昨年するとは何事か」「障害児教育を最初に切り捨てるのはいかなものか。信じられん、あり得ない。これを許すと他の手当の削減にも影響する」などと訴えました。

愛労連の西尾議長をはじめ、名大職組、原水協、名高教、国公の代表が連帯のあいさつをしました。

愛高教の堀委員長は「削減案は撤回しかありません」と力強く話しました。

《新聞報道まとめ》

2025 年 07 月

- ① 07 月 22 日（中日新聞）愛労連が定期大会 憲法と平和を守り大幅賃上げ求める

2025 年 08 月

- ② 08 月 02 日（しんぶん赤旗）愛労連最低生計費調査結果 愛知地方最賃審議会で採用
③ 08 月 07 日（しんぶん赤旗）原水禁世界大会 労組も国際会議で交流
④ 08 月 15 日（しんぶん赤旗）生活保護費引き下げ違法 厚労省は判決受け謝罪を
⑤ 08 月 27 日（中日新聞）最低賃金 1140 円では物価高に見合わず 愛労連抗議

2025 年 09 月

- ⑥ 09 月 09 日（中日新聞）最賃 答申通り 1140 円に 審議会 愛労連など異議受け会合
⑦ 09 月 18 日（しんぶん赤旗）電力会社は社会的責任を 若者気候訴訟 原告ら陳述
⑧ 09 月 24 日（しんぶん赤旗）なくそう官製ワーキングプア集会 非正規公務員の処遇改善求める
⑨ 09 月 28 日（しんぶん赤旗）被爆体験次世代に継承 あいち平和のつどい

2025 年 10 月

- ⑩ 10 月 02 日（中日新聞）被爆者と高校生座談会 あいち平和のつどい
⑪ 10 月 05 日（中日新聞）名張毒ぶどう酒事件「再審で名誉回復を」支援者ら名古屋で訴え
⑫ 10 月 13 日（しんぶん赤旗）全労連レバカレ「労組は魔法のツール」
⑬ 10 月 19 日（しんぶん赤旗）過労死ない社会にしよう 愛知いの健センターセミナー
⑭ 10 月 19 日（しんぶん赤旗）最低賃金さらに高く 愛労連が呼びかける 名駅街宣
⑮ 10 月 25 日（しんぶん赤旗）自治体キャラバン始まる
⑯ 10 月 26 日（しんぶん赤旗）日本平和大会 in 愛知 大軍拡阻止へ連帯交流
⑰ 10 月 28 日（しんぶん赤旗）福祉予算削るな！愛知県民集会開催
⑱ 10 月 30 日（中日新聞）時短勤務「取れない」地方公務員 子と向き合う時間ほしい

2025 年 11 月

- ⑲ 11 月 07 日（しんぶん赤旗）地域から病院なくすな 医労連全国いっせいで統一行動 スト突入
⑳ 11 月 19 日（しんぶん赤旗）非正規労働の扱いに怒り 愛労連パ臨連元気が出る集会
㉑ 11 月 22 日（しんぶん赤旗）核禁条約入るのは今 日本被団協など署名 344 万人分提出

2025 年 12 月

- ㉒ 12 月 01 日（しんぶん赤旗）憲法いかす公平な社会へ はたらく女性の中央集会 in 愛知
㉓ 12 月 10 日（しんぶん赤旗）労働者委員を不当任命 愛労連など労働局に抗議
㉔ 12 月 12 日（しんぶん赤旗）「特定利用港湾」指定に「待った」平和団体・労働者声強める
㉕ 12 月 21 日（中日赤旗）いのちと暮らし電話 118 件 司法書士らが「なんでも相談会」

2026 年 01 月

- ㉖ 01 月 07 日（中日新聞）大幅な賃上げ訴え 愛労連が街頭活動
㉗ 01 月 09 日（中日新聞）ベネズエラ軍事攻撃に抗議 在名古屋米国領事館前で市民団体
㉘ 01 月 20 日（毎日新聞）浜岡原発全て廃炉を 市民団体中部電に申し入れ

2026 年 02 月

- ㉙ 02 月 12 日（しんぶん赤旗）トヨタに賃上げ責任迫る 愛知で総行動「巨額利益還元を」

③⑩ 02月17日（毎日新聞）「最低賃金審議の軽視」 委員の相次ぐ途中辞任に愛労連抗議

2026年03月

③⑪ 03月03日（中日新聞）ケア労働者の賃上げ 国への働きかけ要請 愛労連など県に

③⑫ 03月03日（中日新聞）「戦いの連鎖」防げ 栄で抗議活動

③⑬ 03月09日（しんぶん赤旗）非正規公務員 不平等の象徴 愛労連、女性の待遇改善訴え

③⑭ 03月13日（朝日新聞）脱原発だまっちゃおれん 避難の被災者ら150人がデモ

③⑮ 03月13日（しんぶん赤旗）春闘 医労連が全国で 名古屋で7組合がストライキ突入

③⑯ 03月14日（しんぶん赤旗）春闘で大幅賃上げ求める 愛労連が署名など協力呼びかけ

③⑰ 03月20日（しんぶん赤旗）郵政ユニオンがスト 全国15職場 低額・ゼロ回答に抗議

2026年04月

③⑱ 04月12日（中日新聞）最低賃金1800円以上求めて街頭で訴え 愛労連

③⑲ 04月20日（中日新聞）「憲法9条守れ」1000人デモ行進

④① 04月24日（中日新聞）単年契約公務員は叫ぶ 「脅し・待遇差別やめて」

④② 04月25日（中日新聞）ケア労働者6割 「仕事辞めたい」県医労連調査

④③ 04月28日（毎日新聞）看護職「辞めたい」7割超 医療・介護・福祉職5000人調査

④④ 04月28日（中日新聞）NPT会議開幕 非核岐路 直視を

2026年05月

④⑤ 05月01日（しんぶん赤旗）「女性の休日」アクション 愛労連や女性団体がアピール

④⑥ 05月02日（中日新聞）愛労連などメーデー催し 労働条件改善へ宣言採択

④⑦ 05月13日（しんぶん赤旗）愛労連青年協が企画 組合交流 刺激たっぷり

2026年06月

④⑧ 06月09日（しんぶん赤旗）国民平和大行進 核廃絶訴え14コース1500人名古屋市内で集結集会

④⑨ 06月13日（しんぶん赤旗）現職職員ら実態報告 学校司書は専任に

④⑩ 06月16日（中日新聞）小中学校と特支校に常勤の学校司書を 愛労連、県に求める

④⑪ 06月30日（中日新聞）1人暮らしの若者 最低生計費月28万円 愛労連試算「最低賃金引き上げを」

2026年07月

④⑫ 07月05日（愛知民報）愛知県最低生計費試算調査結果改定 愛労連労働局申入れ 県庁会見発表

憲法と平和を守り 大幅賃上げ求める 愛労連定期大会



冒頭であいさつする西尾市長＝名古屋市中村区のフジコミュニティセンターで

県労働組合総連合（愛労連）の第72回定期大会が21日、名古屋市中村区のフジコミュニティセンターであった。与党が過半数割れした20日投開票の参院選を振り返り、憲法と平和を守り

つつ、労働者の大幅な賃上げを求めていく運動方針を確認した。

産業団体や地域の代表者ら約100人が、現地とオンラインで参加した。西尾美沙子議長はあいさつで、

① 7月22日 新聞

参院選で躍進した参政党が掲げるスパイ防止法の制定政策や、選挙期間中に核武装を「安上がり」と述べた当選者に抗議。「労組は戦争の痛苦の経験から差別、排外主義と戦い、憲法を守り抜く」と訴えた。

賃上げに向けたこれまでの活動報告もあり、今後1年も職場、地域の人々との対話や学び合いを通じ、さらに仲間を増やす方針を決定。戦後と被爆80年の節目に合わせ、戦争や核兵器のない未来をつくる特別決議も採択した。（寺田結）

② 8月2日 しんぶん赤旗

若者の生計費など採用

愛知地方最賃審の専門部会

愛知県の最低賃金を決める愛知地方最低賃金審議会の第1回専門部会が7月29日に名古屋市中村区で開かれた。今回の専門部会では、愛労連が採用を求めた資料が初めて参考資料として委員に配布された。

採用された資料は、愛知県で若者が自立して生活するために必要な生計費を明らかにした「最低生計費調査結果（時給1806円）／

現在、愛知県の最低賃金は1077円。最低賃金審議会の二丁目一番地は、憲法25条に基づく生存権の保障です。最低賃金法第9条では「労働者の生計費」「賃金」「事業の賃金支払能力」

を考慮して最賃額を定めるとしていますが、昨年度の専門部会に提出された資料は、「生計費」2点、「賃金」4点、「支払能力」12点でした。生計費が軽視され、「事業の賃金支払能力」に偏りがあり、愛労連は必要な生計費を踏まえらるる資料の提出を求めています。

愛労連の竹内創事務局長は「毎年、中央が示す目安額に1円以上乗せるかどうかの議論が繰り返されてきたが、必要な生計費として時給1806円がテーブルにのせられた意義は大きい。さらに、最低賃金近傍で働く非正規労働者の生活実態を審議に反映するため、当事者の意見陳述を実施すべきだ」と話しました。

労働局は取材に対し、「各団体からさまざまなニーズがあり、配布を行った」と答えました。

禁止条約批准へ交流

セツシヨンⅡ 多彩な取り組み



ヒロシマデー集会のセツシヨンⅡでは、核兵器禁止条約に参加する日本を実現するための草の根の運動を交流しました。

2025年原水爆禁止国民平和大行進の参加者は、全国を巡った横断幕のぼり旗を持って登壇。通し行進者や国際青年リレー行進者などともに、元氣よくアピールしました。

全労連の秋山正臣議長は、韓国の民主労総からもらった赤いはちまき、米電気機械無線労組のシャツ、仏労働総同盟のバッジを着けて発言。日本被団協・原水協・原水禁の三者共同アピールに励まされ、日本政府の禁止条約批准に向けて「労働組合のナショナルセンターの違いを乗り越えて運動を広げる」とし、前日

草の根の運動を交流したヒロシマデー集会Ⅱ
6日、広島市中区

の労働組合国際会議で国際連帯を深めたと報告しました。

愛知県の仲間とともに登壇した自治労連県本部の長坂圭造副委員長は、ノルウェー・オスロでノーベル平和賞を受賞した被爆者の金本弘氏らが、80万所、8000人規模で被爆体験を語る会を開き、「多くの方が涙した」と紹介。すべての自治体を訪れたあいち平和行進など多彩な取り組みについて報告しました。

新日本婦人の会大阪・豊中支部の酒井美里さんは、ジェンダー平等と平和を実現したいと新婦人に入会し、世界大会に初めて参加。「核の恐ろしさを直接知らない世代だからこそ、被爆者の訴えてきた『核のない世界』への願いを風化させてはならない」と決意を述べました。

生活保護費の引き下げ違法



「厚労省は謝罪しろ」「一刻も早く違法状態を解消して」と声をあげる原告や弁護士、支援者ら＝13日、厚労省前

厚労省は判決受け謝罪を

原告らが専門委設置に抗議

国が2013～15年に生活保護費を大幅引き下げたことを違法とした最高裁判決から1カ月超がたち、原告と弁護団、支援者らが13日、厚生労働省前で抗議の声を上げました。建物の中では同省が対応を検討する専門委員会の初会合を開く。そこには原告の姿はありませんでした。

原告らを支援する「いのちのちのちで裁判全国アクション」共同代表の稲葉剛さんは、厚労省が専門家9人からなる専門委員会を設置したことに「当事者が入っていない、傍聴もできない。おかしい」と抗議。「すでに違法状態だ」と判決が出ている。これを真摯（しんしん）に受け止めるべきだ。（専門委員会設置は、問題の先延ばしでしかなく、最

高裁判決を矮小（わいしょう）化しようとしている」と批判しました。

最高裁判決後、訴訟団などは厚労省に謝罪と減額分の保護費支給など全面解決を求めて何度も要請してきました。稲葉さんは「交渉の場に現れるのは課長以下で、謝罪も行わず、実質的な話し合いもしない。まずは全国の生活保護利用者に謝ってください。そして速やかに減額分を支給すること。だ」とし、国が「当事者と向き合うまで声をあげ続ける」と訴えました。

原告のひとり、相模原市の武田新吾さん（57）は「違法状態だと結論が出てい

る。やるべきことは違法状態を解決すべく、一日でも早く減額分を支給することではないか。厚労省と石破首相は責任をとるべきだ」と憤ります。

神奈川県厚木市の原告、高橋史帆さん（42）は「先週、原告の仲間の1人が亡くなりました。減額されなければ、エアコンが買えず死ななかつたかもしれない」と涙をみせます。「生活保護基準は、就労援助や非課税基準などいくつもの制度と連動するものです。子どもの貧困が叫ばれる中、低いままだ放置するのは子どもの命を脅かすもの」だと訴えました。

厚労省が専門委初会合

厚生労働省は、生活保護基準額を引き下げた国の対応を違法と判断した6月の最高裁判決を受け、今後の対応を議論するためとして、社会保険審議会生活保護基準部会の下に有識者による専門委員会を設置し、13日に初会合を開きました。ただ、厚労省は取りま

とめの具体的な期限を示していません。

同判決は物価の下落率を根拠として生活保護費を引き下げた「デフレ調整」について、専門家の議論を経ておらず、厚労省の判断に裁量の逸脱、乱用があり違法だ」と結論。専門委は判決を受けた保護費の追加支給の水準やその対象範囲などを議論します。厚労省の担当者は「判決は『デフレ調整』は手続きに瑕疵（かし）があつたと指摘したが、『ゆがみの調整』（一般所得世帯の消費支出との比較は違法ではないとした）と指摘し、『どう整理するのが議論する』と述べました。

た。原告団は真摯（しんしん）な謝罪を求めています。厚労省の福田資厚厚労相は「判決を真摯に受け止める」と繰り返すばかりで、いまだに謝罪の言葉はありません。厚労省が提出した資料では今後の議論のテーマに「今回の最高裁判決の趣旨をどのように受け止めるか」とあり、判決の「受け止め」自体を有識者に丸投げしています。

専門委は9人の委員のうち6人が生活保護基準部会の委員から選定。初回の会合は、委員から最高裁判決の受け止めや今後の対応について意見が出ず、予定より大幅に早く終了しました。専門委では原告側の意見を聞く場を設ける予定ですが、時期は決まっています。今回の専門委は8月下旬に開催予定です。

と述べています。また、生活保護利用者は、最高裁判決の結果、保護費減額前の基準を前提とする給付請求権を有しており、事後的な減額となれば、事後法による不利益変更であり、法の不遡及（さく）の原則に違反し、到底許されないと強調しています。

減額保護費 全額支給を

全国アクションなど声明

「いのちのちのちで裁判全国アクション」と「生活保護引き下げにノー！全国訴訟ネット」は13日、声明を出し、生活保護費減額処分を違法として取り消した最高裁判決を受けて、厚生労働省が専門委員会を設置したことに抗議しました。声明は、「謝罪のうえ全面解決に向けた協議」を求め、専門委員会を改めて審理検討する必要があるはずだ

と述べています。また、生活保護利用者は、最高裁判決の結果、保護費減額前の基準を前提とする給付請求権を有しており、事後的な減額となれば、事後法による不利益変更であり、法の不遡及（さく）の原則に違反し、到底許されないと強調しています。



最低賃金の引き上げを
求めて掲げられた横断
幕＝名古屋市中区で

最低賃金1140円では
物価高に見合わず
名古屋で愛労連抗議
県労働組合総連合（愛労
連）は26日、愛知地方最低
賃金審議会が県内の最低賃
金を時給1140円とする
よう愛知労働局長に答申し
たことを受け、名古屋市中
区の地下鉄名古屋城駅の出
口前で、増額を求めて抗議
活動を展開した。
答申で引き上げ幅は過去

9月9日中日新聞

最大の63円だったものの、
国の中央最低賃金審議会が
示した目安と同額だった。
物価高が続く中、労働者の
生活実態を顧みていないと
して実施した。
愛労連傘下の組合役員15

人が参加。「最低賃金11
40円では物価高に追いつ
きません」と書かれた横断
幕を掲げ、通勤客に最低賃
金のさらなる引き上げの必
要性を訴えるチラシを配っ
た。
愛知労働局によると、今
回の答申の異議申し立てを
9月5日まで受け付けてい
る。異議があった場合、9
月8日に審議会を開く。

⑥ 9月9日中日新聞

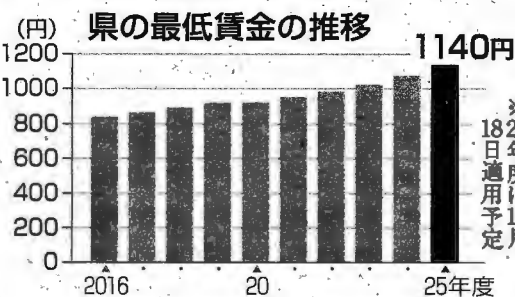
最賃 答申通り1140円に

審議会 愛労連など異議受け会合

労使の代表者や有識者で
つくる愛知地方最低賃金審
議会は8日、県内の最低賃
金を63円引き上げて時給1
140円とする答申の通り
決定することが適当である
と結論づけた。8月21日の
答申に対する異議の申し出
を受けた再度の会合だっ
た。新しい最低賃金は10月
18日から適用される見込
み。

答申での引き上げ額は過
去最大だったが、厚生労働
相の諮問機関の中央最低賃
金審議会が示した目安と同
額だった。

答申に対し、県労働組合
総連合（愛労連）などから
60件の異議が出された。目
安超えの引き上げを求める
声や、答申の前日に大村秀
章知事が「目安以上での決
着が望ましい」と会見で述



べたことが反映されてい
ないことに対する意見が目
立った。

会合で労働者側の委員は
「私たちが主張してきた金
額に届かなかったのは残念
」としつつ、「賃上げの
流れをいち早く社会に波及
させるためにも答申を尊重
したい」と説明。目安を上

回る引き上げが全国各地で
相次いだことを踏まえ「来
年度以降も賃上げの流れは
続くと考えている。波に乘
り遅れないようにしてほし
い」と要望した。使用者側
の委員も答申を尊重する
とした。

厚生省が5日に発表した
全国の答申状況によると、
引き上げ額が目安と同額だ
ったのは、愛知のほか、東
京や神奈川など7都府県だ
った。
(鈴木啓太)

電力会社は社会的責任を

若者気候訴訟 原告ら陳述

名古屋地裁

株式会社JERAなどの電力事業者10社に対し、実効性のある「二酸化炭素排出削減を求めている「明日を生きるための若者気候訴訟」の第4回口頭弁論が17日、名古屋地裁で行われました。この日は、名古屋と長崎に住む原告2人と原告弁護団が意見陳述しました。

↓関連⑥面

長崎大学4年の今岡明日美さんは、気候危機は壊滅

的な被害が起きてから対策をしても手遅れになると指摘。政府や電力会社と、訴訟を起こす形でしか対等に話すことができないことが残念だと訴え、「裁判所に公正な判決を求めると同時に、被告が市民の安全と暮らしを守るよう行動し、社会的責任を果たすことを期待します」と述べました。愛知県で教員をしている原告は、深刻な猛暑が毎年襲う中、運動会も数年前から午後の競技がなくなり、

開催時期も11月に変更になっているといいます。「プールサイドで、足をやけど



弁論後に開かれた報告会で、訴訟の意義や気候正義を求める思いを語る原告ら17日、名古屋市

した子どももいました」。暑さは教員の体力や集中力も奪うと述べ、「気候危機は子どもの未来だけではなく、教育という営みそのものを壊しています」。

この日の弁論には、米国ハワイ州最高裁判所の元裁判官、マイケル・ウィルソン氏が傍聴に訪れていました。ウィルソン氏は「日本には素晴らしい若者がいます。しかしその声に、政府や企業は耳を貸していません。みなさんの勇氣に、心から敬意を表します。私たちは、いつでもサポートします」と語りました。次回は、2026年1月8日です。



取り組みを交流するパネリストの人たち＝23日、東京都内

非正規公務員の処遇改善求める

集会で交流

第17回「なくそう！官製ワーキングプア集会 反貧困集会2025」(実行委員会主催)が23日、東京都内で開かれました。昨年、人事院・総務省が非正規公務員の「3年公募制」を廃止し、各自治体にも広がっていることを追い風に、非正規公務員の処遇改善を求める運動を交流しました。

同実行委員会の代表が、首都圏106自治体への情報公開請求の結果を報告。昨年の通知をうけ、公募を経ない再度の任用上限回数で「撤廃」した自治体は42%と、「もともと制限なし」(19%)を合わせると6割

超に上る一方、依然上限回数を設ける自治体が35%だと紹介しました。

東京都が公立学校のスクールカウンセラー(SC)を大量に雇い止めている問題について、雇い止め撤回訴訟の原告が報告。「カウセンシングは専門的で継続的な支援が必要な職務だ。雇い止めは支援を必要とする子どもや保護者の利益を害することにつながる」と訴えました。

パネルディスカッションでは労働組合の代表や研究者が登壇。北海学園大学の川村雅則教授は、鳥取県が今年度から短時間勤務でも雇用形態が正職員と同じ「鳥取方式短時間勤務制度」を導入したことにつ

いて、「非正規公務員の正規化など、処遇改善の効果も期待される」と述べました。

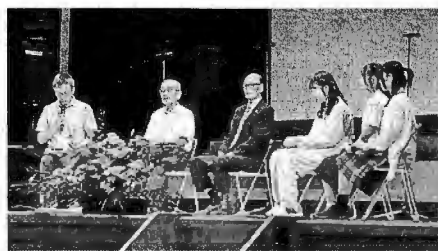
名古屋市が強行した保育職場の会計年度任用職員の大量雇い止めについて、建

交労働保育パート支部の尾崎よしみ書記長は、「人権を大切にすべき保育がないがしろにされている。全国の仲間とともに声を上げていきたい」と訴えました。

被爆体験 次世代に継承

名古屋愛友会が集い

愛知県原水爆被災者の会（愛友会）は27日、名古屋市で「あいち平和のつどい」を開きました。「追悼慰霊祭」のあとに、文化企



高校生と対談する（左2人目から右に）松田、金本の両氏＝27日、名古屋市

画が行われ、参加者は核兵器のない世界に向けて、運動をさらに広げていこうと語り合いました。

愛友会の金本弘理事長が主催者あいさつ。日本被団協がノーベル平和賞を受賞した後の取り組みが問われていると指摘し、「被爆者の証言活動を広げていきたい。核兵器禁止条約に世界の国が参加し、核兵器廃絶に向け運動していく」と決意を語りました。

文化企画では、金本理事長、松田正久さん（元愛知

教育大学学長）が「高校生平和セミナー」「高校生フェスティバル」に参加する高校生が「核兵器のない平和な未来」をテーマに語り合いました。

広島に訪れた経験を語った高校3年生の女性は「生活の上に原爆が落とされました。被爆者の体験を次の世代に引き継いでいきたい」と述べました。

「慰霊祭」に参加した長崎県で被爆した金子サヨ子さん（88）は、「禁止条約に早く参加してほしい。体力が続く限りは体験を伝えていきたい」と述べました。県内では、この1年間で105人の被爆者が亡くなったと報告がありました。



座談会で意見を交わす被爆者や高校生ら＝名古屋市昭和区の岡谷鋼機公会堂で

被爆者と高校生 座談会

名古屋 平和への思い新たに

「戦後・被爆80年 あい
ち平和のつどい」が9月27

日、名古屋市昭和区の岡谷鋼機公会堂であった。被爆者や高校生による座談会が開かれ、核抑止の考え方や、戦争を語り継ぐ方法について意見を交わした。

県原水爆被災者の会（愛友会）が主催。愛知高2年の柴田果穂さん（17）は「核抑止の緊張感が、国際関係を不安定にさせるのでは」と疑問を語った。相山学園高2年の吉田小桜さん（17）は、広島市の平和記念式典に行った時に「友達にすごいねと驚かれてうれしかった反面、自分だけが考えているようで悲しくもあった」と話した。

生後9カ月の時に広島で被爆した金本弘さん（80）＝愛友会理事長＝は「被爆の実感が湧いたのは70歳ご

戦後80年
昭和100年

ろ」と明かした。関心を持つてくれる高校生に感謝し

「戦争はいつからでも学べる」と伝えた。原水爆禁止県協議会代表理事の松田正久さん（77）も「意見を理解してくれる友達に出会える」と本心にうれしい。だからこそ、対話の技術が必要だ」と助言した。

会場では、原爆で犠牲になった女学生をテーマにした朗読劇の上演や原爆の絵

の展示などもあり、出演者や来場者らが平和への思いを新たにした。（寺田結）

⑪ 10月5日中日新聞



名張毒ぶどう酒事件 「再審で名誉回復を」

支援者ら名古屋で訴え

三重県名張市で1961年に女性5人が死亡した「名張毒ぶどう酒事件」で、2015年に獄中で病死した奥西勝・元死刑囚の命日の4日、再審開始を求

める街頭活動が名古屋市中村区の笹島交差点であった写真。支援者ら120人が参加し「再審で名誉回復を」などと呼びかけた。

奥西元死刑囚は一審で無罪となったが、二審で死刑となり最高裁で確定した。05年に「再審開始」の決定が出たが、後に取り消された。弁護団は現在、奥西元死刑囚の妹の岡美代子さん（95）＝奈良県山添村＝を請求人とする、第11次の再審請求に向け準備を進めている。元死刑囚の特別面会人だった稲生昌三さん（86）＝半田市＝は「一日も早く再審開始し、無罪を明らかにしてほしい」と訴えた。福井女子中学生殺害事件で再審無罪が確定した前川彰司さん（60）や滋賀県の病院で患者が死亡した「呼吸器事件」で再審無罪となった西山美香さん（45）らも応援に駆けつけ「真実を明らかにして」と求めた。

「労組は魔法のツール」



発言するフリードマン氏（右から2人目） 11月12日、東京都中央区

米国労働運動と未来語る

全労連レバカレ

東京都内で開かれている全労連の「労働運動交流集会2025（レバカレ）」は12日、「労働運動の未来は誰がつくるか」をテーマにトークセッションしました。労働者の教育や組織化を支援する米国の団体レイバーノーツのエレン・D・フリードマン理事長を迎え、対話の重要性や主体的参加、ボトムアップの運動について交流。フリードマン氏は「労働運動の未来はみなさんがつくるもの。直面する職場の課題を変えたいと思えるかどうかにかかっている」と訴え、日本の組合員と討論しました。

フリードマン氏は、長年労

組がトップダウンで官僚的な課題を抱えていたもの、リーマン・ショックを境に労働者から職場の不平等や非正規化反対の声が上がるようになったと指摘。労組が起こした職場の変化が多く、労働者に共有される中で教員のストライキが50万人規模で広がり、他産業にも運動が波及していると話しました。

労働運動の組織者は、分断や恐怖を乗り越えて行動する手助けをする必要があると話しました。

国内の労組代表が取り組みを報告。北海道勤医労の岡嶋さんは、諦めや忙しさを乗り越え訪問看護労働者の要求を団体交渉で取り上げ、電話相談に1分単位で時間外手当を勝ち取ったと報告。愛知自治体一般労組の塩森真由美さんは、会計年度任用職員4人で労組を立ち上げ、「ないがし

るにされていた声が労組になると誠実に対応されるようになった。労組は魔法のツールだ」と強調しました。

1人から加入できる地域労組こうとうの松井優希さんは、労働相談を通じて組織拡大を進めてきたことを報告。要求実現後に脱退する問題は中核となる人をつくることで「打開できる」と話しました。

フリードマン氏は「労働相談を個人の問題として解決するのではなく、他に同じ問題に直面している人はいないかと質問することが大切だ。そうすることで他の人も巻き込んで運動をつくることができる」と強調しました。

この日は47分科会を開催。最低賃金署名を考える分科会では「運動の入り口や組織活性化の手法と位置づけを取り組んでいる」などの意見が出されました。

⑬ 10月19日しんぶん赤旗

過労死ない社会にしよう

愛知いの健センター 遺族ら訴え

11月からの過労死等防止
啓発月間を前に「愛知働く



報告する佐戸さん（左から2人目）ら＝18日、名古屋市

た。

もののいのちと健康を守る
センター」などは18日、名古屋市内でセミナーを開きました。過労死遺族も参加し、過労死のない社会にしていこうと確認しました。

「東京過労死を考える家族の会」の佐戸恵美子さん、

佐戸さんは、当時を「死は突然だった。私が起こしてあげれば」と涙ながらに語りました。「娘は生きる希望、支えでした。人の命より大切なものはない」と述べました。

東海労働弁護団事務局長の田巻紘子弁護士、岐阜県労連の平野竜也事務局長がトークセッションしました。佐賀達也愛労連事務局次長が司会を務めました。

各県報告では、福祉保育労働組合東海地方本部の薄美穂子書記長が、組合として取り組む労働安全衛生について報告しました。

佐戸さんの長女である佐戸美和さん（当時31）は、NHK記者であった2013年に急死しました。直前の労働時間は、土日も出勤し、深夜午前3時を過ぎることも。時間外労働は過労死防止ラインを越える200時間を過ぎていまし

⑭ 10月19日しんぶん赤旗

⑭ 10月19日しんぶん赤旗

最低賃金さらに高く
愛労連が呼びかける

名駅で街頭活動

県内の最低賃金が時給1
140円に引き上げられた
18日、県労働組合総連合
(愛労連)は、名古屋・名駅
で改定をPRしたり、さら
なる引き上げを求めたりす
る街頭活動をした。写真。

傘下の労働組合の20人が
参加。JR名古屋駅前で道
行く人たちに最低賃金の引



き上げを伝えるチラシを配
ったほか、全国一律の最低
賃金の実現を求め、物価高

で労働者の暮らしが苦しく
なっていると訴えた。

マイクを握った全日本建
設交運一般労働組合県本部
の田村一志執行委員長は
「皆さんが声を上げれば、
最低賃金はもっと高い水準
になる」と呼びかけた。

県内の引き上げ額は63円
で過去最大。愛労連は暮ら
しの改善には不十分だとし
て、時給1500円の実現
を求めている。

社会保険充実して

自治体キャラバン始まる

愛知

愛知県と県内全54市町村に介護・福祉・医療などの施策充実を求める自治体キャラバン要請が21日から始まり、県社保協、愛

労連、自治労連県本部、新日本婦人の会などつくる実行委員会の取り組みです。

キャラバンは1980年から始まり、今年で45年。今回は、介護保険の第9期事業計画（24～26年）の見直し、介護保険料の引き下げ、介護人材の確保、国民健康保険料（税）の引き下げ、資格確認書の発行、福祉医療制度の拡充、子ども給食費無償化などを求めています。

21日の豊明市への要請には、西尾美沙子団長（愛労連議長）、社保協の澤田和男副議長ら15人が参加。日本共産党の郷右近修市議が同席しました。

西尾団長は、「相次ぐ物価高騰のなか、住民が安心して暮らせる社会保障施策を充実してほしい」とあい

さつ。参加者は、「住民一人あたりの介護保険料繰越金や基金が他自治体と比べて多い。十分引き下げは可能だ」、「年金生活では医療費負担が非常に大きい。国にしっかりと声をあげてほしい」などと強く要望しました。

市の担当者は学校給食費について「引き続き3分の1補助を行い、物価高騰分は保護者負担ではなく公費負担で対応したい」と回答。また、5歳児健診の支援事業を27年度から実施を検討していると応じました。

市は担当者は学校給食費について「引き続き3分の1補助を行い、物価高騰分は保護者負担ではなく公費負担で対応したい」と回答。また、5歳児健診の支援事業を27年度から実施を検討していると応じました。

あいさつする西尾団長＝21日、愛知県豊明市



大軍拡阻止へ連帯 交流

日本平和大会in愛知 全国のたたかい報告



「12式地对艦長射程ミサイル」と同じ長さの横断幕を用意し、訴える熊本の参加者＝25日、名古屋市中区

「なぐそう！ 日米軍事同盟・米軍基地 2025年日本平和大会in愛知」が25日、名古屋市内で開かれ、開会集会では大軍拡に反対する運動や、戦火の中にある、ウクライナやパレスチナの戦争被害者と連帯する市民の活動などが報告・交流されました。

熊本平和委員会の代表は、市民病院や保育所、小やミサイルを生産し、輸送・中・高校が近くにある健康をつくる川崎重工がある軍駐屯地へ12式地对艦長射程ミサイルが配備されることに自衛隊承認の人たちを含む多くの人々と一緒に反対していると紹介。イギリス・アシオア配備を断念させた運動に学び、配備撤回に向け、11月9日と24日に反対集会を行うと述べ、参加を呼びかけました。

同大会愛知実行委員会では、名古屋は軍事産業の大拠点であり、軍事産業は攻撃の標的になると指摘しました。三菱重工が郊外に移転し大規模な兵器製造を

軍需産業巡るフィールドワーク

愛知を戦争拠点にさせぬ

たたかいを呼びかけました。・福祉・教育の予算はほとんど削られている。ケア労働者は利用者の命と尊厳を守りながら懸命に働いている。5年で43兆円の予算がある。平和こそ福祉だと強調されている一方、医療調子しました。

愛知県高校生平和ゼミナールの高校3年生は、政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める高校生署名を全国で取り組んでいると語りました。

「なぐそう！ 日米軍事同盟・米軍基地2025年日本平和大会in愛知」(同実行委員会主催)は24日、大会前日のオフショナル企画として、愛知県内の軍需産業や基地を巡るフィールドワークを実施しました。マイクロボス8台に分乗した参加者210人は、F35A戦闘機の最終組み立てや次期戦闘機開発が進められようとしている三菱重工小牧南工場(豊山町)、ミサイルの開発・製造がされている同小牧北工場(小牧市)などを視察しました。

航空自衛隊小牧基地と滑走路を共同利用し、南工場が隣接する県営名古屋空港では、基地が見渡せる展望デッキから見学。住宅地にありながらひっそりな離着陸を繰り返すヘリコプターの騒音に、参加者から驚きの声が上がりました。

学習交流会では、県平和委員会副理事長の城下英一さんが講演。北工場で製造した長射程ミサイルが全国各地に配備されていく現状を紹介し、「これらは日本を守るためではなく他国に攻め込むものです。戦闘機やミサイルが愛知で造られ、『死の商人』になっている実態を広く知らせてほしい」と語りました。

新日本婦人の会小牧支部の郷治(こうじ)裕子さんは、名古屋空港周辺の住民から寄せられた騒音被害の声や墜落事故、自衛隊機からの部品落下に対する不安を語りました。

学習会後、参加者は南工場前でスタンディングをし、「愛知を戦争拠点にするな!」と声をあげました。



展望デッキで、主催スタッフの説明を聞く参加者＝24日、県営名古屋空港

福祉予算を削るな

愛知県民集会 各分野から抗議

「福祉予算を削るな！福祉を金儲けにするな！」「福祉を金儲け（もう）けにするな！愛知県民集会」が26日、名古屋市中区で開かれ



繁華街をパレードする人たち
26日、名古屋市中区

ました。福祉、保育、介護関係者ら500人が怒りの声を上げました。学童保育連絡協議会や福祉保育労働海地本など14団体でつくる実行委員会が主催。

加藤淳実行委員長は「相次ぐ法改悪によって本来、権利であるべき福祉が売買されている。みんなで怒りの声を大きくあげよう」と呼びかけました。

各分野から発言。保育士は「昨年、保育士の配置基

準が76年ぶりに見直されたが、全く人手は足りてない。子どもたちの保育園生活は其の後の人生にもつながります。子どもの権利を守るためにも人を増やしてほしい」。いのちのとりで裁判の元原告は「生活保護基準引き下げは違法だと最高裁判決（6月）が出されたあとも、国や厚労省から謝罪はありません。悔しい思いでいっぱいです」など話しました。

参加者は「人権を守る福祉制度を」と書かれたバナナを掲げ、「権利としての社会保障を実現しましょう」と集会宣言を採択。「福祉予算増やせ！」「福祉を金儲けにするな！」「福祉を金儲けにするな！」と元気いっぱいコールし、繁華街をパレードしました。

10月、育児・介護休業法の改正に伴い、地方公務員の短時間勤務制度「部分休業」も拡充された。ただ、自治体が制度の利用を認めないケースもあり、仕事と子育ての両立に苦勞する職員も少なくない。育児休

業明けに制度の利用が認められなかった中部地方の公務員女性は「子どもたちと向き合いたいのには、毎日、最低限の家事、育児をこなす時間すらない」と嘆く。

(出口有紀)

時短勤務「取れない」地方公務員

子と向き合う時間ほしい



早く帰宅できた日に、自宅の庭で子どもたちと花をつんで遊び「本当は部分休業をとって、子どもたちに習い事をさせてあげたい」と話す女性

「ママ、あそこにくじらぐも」。今夏よく晴れた日の夕方、学童保育に小学生の長男を迎えに行き、帰る途中、呼びかけられた。「分かったから、早く車に乗って」。国語で習った物語に出てくるクジラの形をした雲に似ているのかなと思ったが、運転席からは雲の端しか見えなかった。一緒にその瞬間をとらえられず、今でも後悔する。

女性が家路を急ぐのは、1歳の子どもの育児を経て職場復帰した後、勤める市

から、1日2時間の範囲内で、勤務時間を短縮する部分休業の取得が認められなかったからだ。子どもたちと過ごす時間を確保したいという女性の思いとは裏腹に、市からは、子の保育園の預かり時間を延長して対応するよう迫られた。

市の姿勢「時代錯誤」

同法改正で未就学児を持つ従業員

制度運用 自治体ごと

地方公務員の部分休業は「地方公務員育児休業法」で定められ、各自治体は同法をもとに各制度を条例などで規定、運用する。「職員に寄り添った運用ができているかは自治体による。制度がある以上、有効に活用してほしい」と総務省の担当者は話す。

公務員らでつくる自治労連愛知県本部（名古屋市）は今年、同県を含む県内55の自治体で、時短勤務制度の取得状況を調査。育休者が一定数いるのに時短勤務者が極端に少ない自治体、ゼロの自治体もあった。

時間外保育の利用や祖父母の近居を理由に取得できないケースも。子どもの世話が行き届かず悩む職員の声も届く。副執行委員長の長坂圭造さん（62）は「各職場の業務量の見直しと代替要員の確保を行わずに、取得させないよう動く自治体もある。制度があるのに、利用したい人が使えないのはおかしい」と訴える。

■保育延長を■祖父母が近居…取得断るケースも

休業にも年10日の範囲内で取得する選択肢が設けられた。一方、今ある制度を使わせない市の姿勢は「時代錯誤に思える」と女性は憤る。

帰宅後、女性はトイレに行く間もなく台所に立ち、子どもたちの夕食や入浴の準備。次の日の持ち物や宿題を確認するだけで精いっぱい、平日は子どもとゆ

つくり話す時間もない。時短勤務ができれば、朝に家事を片付け、夕方は子どもを早く迎えに行つて一緒に散歩したり、習い事に連れて行ってほしい」と求める。

の両親は遠方に住むなどして頼れない。家事、育児余力なく

て行ったりしたい。女性は「生活に余力がなく、何も子どもたちにしてやれていない」と焦る。

地域から病院なくすな

① 11月7日しんぶん赤旗



ストに突入した、みなと医療生協労働組合の組合員と、支援に駆けつけた人たち＝6日、名古屋市

医労連全国いっせい統一行動

名古屋2組合

秋闘での回答を受けて6日、医労連が全国いっせい統一行動を取り組みました。

名古屋では、みなと医療生協労働組合と名南会労働組合がそれぞれストライキに突入。病院前で集会を開き、組合員らが「賃金が上がらないと、もう限界です」「地域から病院をなくさないで」とアピールしました。

みなと医療生協労働組合(西村民子委員長)は、名古屋市熱田区にある共立総合病院に勤務する看護師と薬剤師の2人が午前8時半から1時間の指名ストに突入しました。同病院では、夏の一時金

賃上げないと もう限界

が0・4カ月もカットされました。組合は秋闘要求で、年末一時金の上積み要求や人員増などの要求をしましたが、「年末一時金は昨年と同水準」などの不十分な回答が出されたことから、スト突入を決定しました。

指名ストに参加したひとり、薬剤師の加藤真治さん(31)は、人員も足りず仕事量が増えているとして「夏の一時金のカットなどで年収が上がらず、職員全体のモチベーションが下がっています」と告発。「これでは、いずれ限界を迎えてしまいます。仕事に見合った賃金ではないということ、を、多くの人に分かたしてほしい」と訴えました。

賃上げ勝ち取ろう



講演する吉峯さん＝16日、名古屋市

非正規労働の扱いに怒り 愛労連・パ臨連が元気出る集会

愛労連パート・臨時労組連絡会（パ臨連）は16日、名古屋市内で「第28回パート・臨時・非常勤などの元気が出る集会」を開きました。

愛労連の若井和則副議長が非正規労働をめぐる情勢を報告し、「なぜこんなにひどい扱いをされているんだという怒りを運動のパワーに変えていこう」と呼びかけました。

活動交流では、非正規労働者がそれぞれの職場や労働環境を語りました。郵政労働者は「非正規の待遇を少し上げ、正規を下げる。コスト削減の意味合いはなく、労働者が団結しないよう職場内で格差をつくって

いる」。保育士は「最低賃金があがり時給もあがったが、手当が減らされ、給料は変わらなかった。きちんと賃上げを勝ち取るよう声をあげていく」など話しました。

フリー映像ディレクターの吉峯美和さんが講演。名古屋市の保育士1200人

雇い止めや戦前のフェミニズム、女性臨時社員が同一労働同一賃金を訴えた「丸子警報器事件」（1993年）の取材経緯を紹介。「社会的な問題に声をあげる女性たちを、自分ごととしてとらえ映像作品に残すことで女性たちを応援し、社会を変えたい」と話しました。



核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名とともに、
アピールするつどい参加者＝21日、東京都千代田区



外務省担当者（右）に署名を提出する（左へ）濱住治
郎日本被団協事務局長、安井正和日本原水協事務局長、
谷雅志原水禁事務局長＝21日、東京都千代田区

核禁条約 入るのは今

日本被団協など署名344万人分提出

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）は21日、核兵器のない世界の実現に向け、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名を集めている諸団体とともに、東京都内で署名共同提出集会を行い、344万9012人分の署名を外務省に提出しました。「高市早苗内閣が非核三原則見直し検討」との報道がされる中、全国から約1000人の被爆者が参加するなど、会場はいっぱいになりました。各地で呼応した取り組みが行われました。

↓関連⑬面

主催者あいさつで日本被団協の田中熙巳代表委員は、高市首相になって「台湾有事」は存立危機事態になりうるとした発言や非核三原則の見直しなど由々しき事態になっていると批判。「日本政府を禁止条約に署名・批准させるだけでなく、いまの政府をなんとかしないといけない」と厳しく指摘しました。

外務省に日本被団協の濱住治郎事務局長、原水爆禁止日本協議会（日本原水協）の安井正和事務局長、原水爆禁止日本国民会議（原水禁）の谷雅志事務局長ら各団体の代表が一言述べながら署名を手渡しました。長崎被団協の横山照子副会長が「今ですよ！ 禁止条約に入るのよ」と迫ると、会場から拍手が沸き起こりました。

全国首長九条の会呼びかけ人で東京都世田谷区長の保坂展人氏は、非核三原則見直しに断固反対と述べ、平和首長会議で禁止条約の早期批准を求める決議をあげていると紹介しました。

各党代表があいさつ。日本共産党の小池晃書記局長は「被爆者とともに、日本政府に対して非核三原則の堅持と、禁止条約参加を求めていく」と語りました。

集会後の国会前行動では、禁止条約の署名・批准を求めるとともに、非核三原則の見直しへの抗議と非核三原則の堅持を強く求める声があがりました。

憲法いかす公平な社会へ

はたらく女性の中央集会閉幕

名古屋市内で開かれていた第70回はたらく女性の中央集会(同実行委員会主催)は30日、全体会を行い、閉幕しました。2日間、職場や自営業、農山漁村で働く人らのべ約750人が参加。暮らし破壊の大軍拡に反対し、憲法と女性差別撤廃条約がいかにされる社会、ジェンダー平等と公平な社

会の実現のため共同を広げ、雇止めやハラスメント

争議の当事者らが決意や思いを訴えました。市立保育園の非正規職員は「経験や技術を積み上げて5年で雇い止めになる。市に5年目公募の撤廃を求めている」と発言。郵便局の女性社員は「13年越しの登用試験で正社員になったが、非正規の頃とほぼ同じ仕事なのに年収100万円増。どれだけ搾取されてきたのか」と述べ、非正規社員の均等待遇

と正社員化を訴えました。主催者あいさつで高木りつ実行委員長(全労連副議長)は「連帯し、沈黙せず、私たちが望む社会をつくっていく」と強調。基調報告した寺園通江事務局長は、労働時間規制の緩和や最低賃金目標の削除などジェンダー視点の政策を逆行させる高市早苗首相の姿勢を批判し、労働時間短縮や、仕事と生活の両立支援策拡充などを求めました。

韓国の全国民主労働組合総連盟(民主労総)が初参加し、金水京女性局長は「非正規の問題や男女賃金格差など日韓国は同じ悩みを

抱えている。共に闘おう」と訴えました。

岡村晴美弁護士が講演し

個人が尊重されない空間の中でハラスメントが起きることなどを指摘しました。

② 12月1日しんぶん赤旗



「戦後80年 憲法いかし、いのち、くらし、平和を守ろう」などの集会スローガンを掲げて交流する参加者=30日、名古屋市内

② 12月10日しんぶん赤旗

労働者委員を不当任命

愛労連など労働局に抗議

愛知県が1日付で第48期愛知県労働委員会委員を任命にしたことに対し、愛労連と愛知国民春闘共闘委員会、名古屋ふれあいユニオンは8日、「連合愛知」所属以外の労働組合の候補を労働者委員から排除する不当任命に対し、愛知労働局に抗議しました。

県労働委員会は、公益労働者、使用者委員それぞれ7人の21人で構成され、任期は2年間。1999年には、不当任命を争った裁判で「労働者委員の構成は多様性を有することが望ましい」（名古屋地裁）と判決が出され、知事には正が求められましたが、依然として「連合愛知」所属の大

企業労組の委員による独占状態が続いています。



抗議文を手渡す、(左から)西尾美沙子愛労連議長、鶴丸周一郎ふれあいユニオン委員長。8日、名古屋市

抗議文では、連合愛知所属者以外を排除する偏向任命の改善、公益委員に労働法を専門とする学者や弁護士を選任、女性委員割合5割をめざす、非正規や医療福祉分野からの任命を求めました。

労組役員15人が参加し、「大企業労組の委員だけでは、中小企業や非正規、医療・福祉の現場で起きている不当労働行為に苦しむ労働者に寄り添えていない」などと話しました。

愛知労働局の澤田圭紀就業推進監は任命について「総合的に判断した結果」と述べるにとどまり、具体的な判断内容や理由は明らかにしませんでした。



名古屋港の「特定利用港湾」指定に抗議する港区平和委員会の人たち＝6日、名古屋港区

コースアップ

軍港化ストップを

愛知

高市政権のもとで、大軍拡が急速に進められています。愛知県の名古屋港や三河港（蒲郡港、豊橋港、田原港）では、政府の「特定利用港湾」の指定が狙われ、指定が進んでいます。愛知の海が「戦地への玄関口」にされかねない重大局面を迎えるなか、県内の平和団体や港湾労働者は、「軍港化ストップ」の声を強めています。（愛知県・加能拓人）

「特定利用港湾」指定に「待った」 平和団体・労働者 声強める

特定利用港湾とは、国が港湾や空港の管理者と「円滑な利用の枠組み」を結び、自衛隊や海上保安庁が平時から優先的・機動的に使用できるようにする制度です。災害対応や国民保護を看板に掲げながら、実際には有事の出撃・補給拠点として民間港を軍事インフラに組み込む仕掛けです。岸田政権（当時）が安保3文書で掲げた「自衛隊・海保による空港・港湾等の機能強化」の一環として創設され、すでに北海道や九州・沖縄などで空港・港湾の指定が広がっています。

港の性格変わる

「特定利用港湾」にされれば、港の性格は根本から変わります。愛知県平和委員会の矢野創事務局長は「軍事行動が行われている空港・港湾は、戦時における文民保護について定めたジュネーブ条約の保護対象から外れ、有事では真っ先に攻撃目標になり得る」と警鐘を鳴らします。

先行指定された鹿児島港（鹿児島県）では、海上自衛隊イージス護衛艦「あし

がら」への対空ミサイル実弾2本の搭載訓練が民間港で実施されました。全国初の実弾搭載訓練であり、「防災」や「地域の安心」とはまったく別種の軍事訓練であることが浮き彫りです。南紀白浜空港（和歌山県）では川崎重工業がイスラエル製無人機「ヘロンMKII」の飛行試験を行うなど、空港・港湾の現場で「防災」の名による軍事利用が既成事実化されています。

地域経済を直撃

名古屋港は総取り扱い貨物量で日本一、三河港は自動車輸出の一大拠点として中部地方の物流を支えています。軍事拠点化は、港湾労働者や港周辺住民のいのちと暮らし、地域経済と雇用基盤を直撃するリスクそのものです。

重大な制度であるにもかかわらず、特定利用港湾の指定要件には地域住民や港湾労働者への説明・同意は含まれていません。

港湾労働者で愛労連交通運輸部会の尾崎俊介会長は「平和なくして国民生活を支えることはできません。港湾労働者として、国民の安心・安全な生活のため、港湾の軍事利用、憲法9条改憲、軍事一辺倒などいかなる戦争の企てにも反対し、平和な商業港をめざして声を上げていきます」と語ります。

三河港（管理者・大村秀章県知事）は11月11日付で指定を受け入れると国に回答。日本共産党愛知県委員会と愛知議団（しもおく奈歩県議）らは同月17日の三河港の特定利用港の指定撤回を要請しました。

先行指定された鹿児島港（鹿児島県）では、海上自衛隊イージス護衛艦「あし

いのちと暮らし 電話118件

司法書士らが「なんでも相談会」

司法書士らによる「いのちと暮らしを守る」なんでも相談会」が20日、名古屋市中熱田区の県司法書士会館であった。司法書士や弁護士らでつくる市民団体「いのちと暮らしを守る」なんでも相談会あいち」が主催し、10回目。会場に設けた6回線の電話に118件の相談があり、会館を訪れる相談者もいた。



電話で相談を受けるいのちと暮らしを守るなんでも相談会あいちのメンバーら。名古屋市中熱田区の県司法書士会館で

月11万円の生活保護を受ける40代無職女性は「生活の足しになる制度があると聞いた」と相談に来た。6月まで働いていた勤務先になじめず退職し、うつ病と診断された。家賃の支払いなどで食費は限られ「半年以上ぜいたくなものは食べられていない」などと明かすと、相談員がフードバンクの存在や支援団体を紹介した。

息子に障害がある女性は「息子が知人の指示で、消費者金融で150万円ほどお金を借りさ^{新聞}られてい^る」と電話で相談。相談員は債務整理を支援している団体を紹介した。日相続や奨学金に関する相談もあった。60、70代か^{新聞}の電話が特に多かったという。

相談会の事務局長で司法書士の水谷英二さん(67)は「一人で悩んでいる人に解決の糸口を提供できた事例もあってよかった」と振り返った。(加藤壮一郎)

大幅な賃上げ訴え 愛労連が街頭活動

名古屋

今春の春闘に向け、県労働組合総連合(愛労連)は6日、名古屋・名駅で街頭活動し、物価高を上回る賃上げの実現などを訴えた。写真。傘下の労働組合14団体から30人が参加。順にマイクを握り、「大幅な賃上げ

を」「賃上げが今年の流行語になるように」などと声を張り上げ、道行く人たちに「賃上げ交渉しよう」と書かれたチラシを手渡した。

愛労連の竹内創事務局長は「物価高騰が続き、生活を改善するほどの賃上げにはなっていない」と強調し、医療や介護の現場の改善などに取り組む考えを示した。



ベネズエラ軍事攻撃に抗議

在名古屋米国領事館前で市民団体

米国のトランプ政権によるベネズエラへの軍事攻撃に抗議する街宣活動が8日、名古屋市中村区の在名



横断幕を掲げて抗議する参加者ら＝名古屋市中村区で

②8 1月20日毎日新聞

浜岡原発全て廃炉を

市民団体 中部電に申し入れ

中部電力が浜岡原発（静岡県御前崎市）の耐震設計に関わるデータを不正に操作した問題を受け、市民団体「原発なくすあいちの会」が19日、名古屋市中東区の同社本店を訪れ、廃炉を求める申し入れを行った。

古屋米国領事館前であった。

反戦平和運動を行う市民団体「憲法をくらしと政治にいかす 改憲NO! あいち総がかり行動」の約40人が参加。「トランプ米政権によるベネズエラ侵略に抗議します」と書かれた横断幕を掲げ、参加者がマイクで「米国は国際法を踏みにじっている」「領事館はこの声をアメリカに届けろ」などと訴えた。

同団体の山本みはぎ事務局長は「今回の攻撃を認めてしまつと法の支配が崩壊してしまふ。日本政府にもきちんと非難してほしい」と話した。（水谷元海）



中部電力のデータ不正問題を受けて抗議活動を行う市民団体メンバーら＝名古屋市中東区の同社本店前で

申し入れ書では、データ不正について「再稼働ありきで安全審査のためのデータを捏造する」という暴挙に厳しく抗議する」と強調。同会は申し入れに先立ち、同社本店前で「中部電力に原発を運転する資格なし」などと書かれた横断幕を掲げるスタンディングアクションを行った。

トヨタに賃上げ責任迫る

愛知で総行動「巨額利益還元を」

大企業がため込んでいる巨額の内部留保を労働者と下請け事業者に還元し、大幅賃上げを実現しようと11日、愛知県内各地で第47回トヨタ総行動が取り組まれました。宣伝やデモに集まった参加者は「政府と大企業に社会的な役割と責任を果たさせよう」と声を上げました。主催は同実行委員会、全労連、愛労連、愛知国民春闘共闘委員会です。

名古屋市栄(さかえ)にある「久屋大通公園・光の広場」で行われた「2026国民春闘勝利決起集会」には、300人が参加しました。愛労連の西尾美沙子議長は、日本の実質賃金が下がり続けている中、大企業の内部留保は581兆円に達し、トヨタ自動車だけでも40兆円を超える見通しだと強調。「大企業の利益を還元すれば大幅賃上げは可能です。大企業や富裕層への課税強化で格差を是正し、安心な社会を実現しましょう」と述べました。

全労連の秋山正臣(まさおみ)議長は、今年の春闘では、政府や財界も賃上げの必要性は否定していないと指摘し、「問題は水準です。物価上昇と円安のなか、生活を改善させるには10%以上の賃上げ、時給1700円以上が必要です」と訴え。大幅賃上げは、労働組合が要求しなければ勝ち取れないと強調し、春闘では仲間を増やしながらか、ストライキを構えて交渉を進めようと呼びかけました。



「最低賃金審議の軽視」

愛知県労働組合総連合（愛労連）は、最低賃金を議論する「愛知地方最低賃金審議会」の労働者代表委員が任期途中で辞任したとして、「審議を軽視している」と任命権のある愛知労働局に抗議した。

審議会は労使の代表などで構成され、最低賃金法などに基き各労組が労働者の代表を推薦し、都道府県労働局長が任命。任期2年で、途中辞任した場合は補欠委員を募る。

愛労連によると、労働者代表委の途中辞任が2019年以降相次いでおり、25

委員の相次ぐ途中辞任に愛労連抗議

新聞 4月に任命された5人のうち2人が任期途中で辞任しているという。

愛労連の竹内創事務局長は9日、「昨年の議論では労働者代表委は引き上げ額に反対していた。議論を踏まえて更なる引き上げを求めるべきところ、やめてしまふと継続性が失われる」と指摘。委員の構成について「大企業の正社員ばかりで、最低賃金の影響を直接受ける中小企業や非正規労働者が含まれていない」として非正規労働者や医療・福祉分野の労働者の任命を求めた。

【道下寛子】

ケア労働者の賃上げ
国への働きかけ要請

愛労連など県に

県労働組合総連合（愛労連）などは2日、介護士や保育士など「ケア労働者」の賃金引き上げを国に働きかけるよう、県に要請した。県庁で会見した愛労連の西尾美沙子議長は「政府は臨時報酬改定を予定しているが、現場の実感『焼け石に水』。他業界との賃金格差が拡大し、離職を加速させかねない」と訴えた。

愛労連のほか、医療、介護、福祉に関わる五つの組

報酬の引き上げや労働環境改善の必要性を訴える組合の関係者ら＝県庁で



合が大村秀章知事宛ての要請書を提出。要請書では、国に報酬改定率10%以上の引き上げを求め、県として

も、居住支援や家賃補助、一時金支給などの独自支援策を実施するよう求めた。

愛労連によると、今春闘では、製造業など他産業で大幅な賃上げが予定される一方、公定価格に依存するケア労働者の賃金は伸び悩んでいる。年収でいえば、保育士は120万円、介護職は150万円ほど全産業平均と差がある。

会見した組合員らは「慢性的な人員不足の中、ワークライフバランスの確保が難しい」「安心して長く働ける環境づくりが不可欠」と求めた。



「戦いの連鎖」防げ 栄で抗議活動

市民団体「愛知県平和委員会」は2日、名古屋・栄で抗議活動をした。約30人が歩道で「米国、イスラエルの先制攻撃に抗議」と記した横断幕などを掲げ、戦闘中止を求め演説した。写真。

坂本敏彦事務局次長(60)は今回の攻撃が武力行使を禁じた国連憲章に明確に違反しているとし「今すぐにやめろと言つことが大事だ」と呼びかけた。イランの最高指導者ハメネイ師が殺害されたことについて「一国の指導者が一方的に殺されることがあつてはならない」と批判した。

県立高校職員らの労働組合で働く松本陵子さん(47)は、日本政府が攻撃の是非を明確に評価していないことに白いて「米国に何も言えない姿を子どもに見せたくない。政府が言わないなら、代わりに間接的に言っていると伝えたい」と述べた。

原水爆禁止県協議会の松田正久代表理事(78)も駆けつけ「武力による支配を許せば、戦いの連鎖につながる。軍力で平和を作れないことを米国はアフガン戦争などで味わったのではなかったか」と語気を強めた。

現場の実態を語る西尾議長(左端)ら＝6日、名古屋市



非正規公務員 不平等の象徴 愛労連、女性の待遇改善訴え

名古屋

愛労連は6日、名古屋市で非正規公務員制度の改善を求める記者会見を開きました。女性比率の高い会計年度任用職員の「5年雇止め」の実態を告発し、日本社会に残るジェンダー不平等の象徴だと指摘。西尾美沙子議長は、「自治体におけるジェンダー平等の実現、不合理な格差の是正と雇用の安定を求めていきたい」と話しました。

大府市で20年以上にわたり保育士として働いてきた塩森真由美さんは、正規・非正規における仕事と育児の両立支援における格差な

どをあげ、「会計年度任用職員の処遇改善は後回しになり、改善が進んでいません。時短勤務の取得状況の格差は自治体の女性問題に対する意識の格差であり、ジェンダー意識のあり方につながっています」と述べました。

全日本建設交通一般労働組合保育パート支部の尾崎よしみ書記長は、年度末で名古屋市の保育職場で160人の会計年度任用職員が雇止めになるおそれがあると紹介。「今月中旬の可否で仕事を失うことになるが、4月から無収入になります。安心して働き続けられるようにしてほしい」と訴えました。



脱原発だまっちゃおれん

避難の被災者ら150人がデモ

害は終わらない」「安全なんて机上の空論」などとシュプレヒコールを上げながら、繁華街をデモ行進した。(松島研人)



愛知県や岐阜県に避難した被災者らでつくる「だまっちゃおれん! 原発事故人権侵害訴訟 愛知・岐阜」が主催。市民団体ら約150人が参加した。

東京電力福島第一原発事故から15年。11日夜、脱原発を訴える集会が名古屋市中区の久屋大通公園であった。事故を受け

集会では、脱原発について「私たちの守りたいものを守るため、声を上げ続ける」とする宣言を採択。参加者はその後、「原発事故は終わっていない!」などと書かれた横断幕を持ち、「被曝の被

脱原発を訴えデモ行進する参加者11名名古屋市中区

春闘 医労連が全国で

医労連は12日、26春闘の全国いっせい行動にとりくみました。

名古屋 時限ストも決行

名古屋では、春闘回答を受けて7組合がストライキに突入しました。名古屋市熱田区にある協立総合病院では、みなと医療生協労働組合に所属する組合員5人が1時間の時限ストを決行しました。

同病院前では、組合員や支援に駆けつけた人たちが支援集会を行いました。

ストに突入した外来看護師の女性は、同病院では何



「全職員の賃上げを」「看護師増やせ」とアピールする組合員ら＝12日、名古屋市熱田区

年もベアがなく、公的病院と比べても初任給が月4万5万円ほど低い状態だと言います。「それでも職員は必死で働いています。安

心して働き続けられる賃金、職場をつくるために声を上げたい」と訴えました。同じくストに突入した薬剤師の加藤真治さん(31)は、「誰かが休んでも代わりが居ないので、そのままの状態と同じ業務をしている状態です。賃金を上げて、薬剤師の人員を確保してほしい」と述べました。



シールアンケートへの協力を呼びかける参加者＝12日、名古屋市

春闘で大幅賃上げ求める

愛労連が署名など協力呼びかけ

名古屋

春闘での大幅賃上げや処遇改善などを求めている日、愛労連が名古屋市にある名古屋駅前で宣伝しました。集まった参加者はシールアンケートや署名への協力も呼びかけながら、すべての働く人の賃上げを実現する

ために「労働組合に入つて、みんなで賃上げ交渉しよう」とアピールしました。

西尾美沙子議長は、今年

の春闘でベースアップを勝ち取った組合がいくつか生まれていくもの、物価上昇に追いつく賃上げにはなっていないと指摘。「いま若者の2人に1人が奨学金の返済を抱えており、家賃も上昇しています。『いまの賃金では生活できない』と声を上げて、みんなの賃上げで社会全体を底上げしていきましょう」と呼びか

けました。

参加した各組合からも発言がありました。福祉保育労東海地本の林知佳さん(35)は、障害者福祉施設で働いています。賃金が低く抑えられているもとで新規採用者も少なく、育児を理由に退職する職員がいるなど現場は大変な状況のなかで踏ん張っていると訴え、「私たちは専門職です。頑張っているのに報われない状況を変えたい」と述べ、国からの適切な支援を求めました。

③⑦ 3月20日しんぶん赤旗

春闘勝利へ団結する
集会参加者＝19日、
名古屋市中村区

郵政ユニオンがスト 全国15職場

月3.1万円賃上げを 低額・ゼロ回答に抗議



郵政産業労働者ユニオンは19日、月額3万1000円の賃上げや時間額全国一律1700円以上の要求に対して、会社側の低額・ゼロ回答に抗議し、全国15職場（東京、愛知、大阪、兵庫、広島、香川、高知、福岡、長崎）で代表35人がストライキに入りました。日本郵便は、ベースアップだけでなく定期昇給も実施しないとの回答から、ベア1・9%、定昇実施へ回答を

前進させていますが、非正規社員にはゼロ回答です。

◇ 名古屋市では1人がストライキに参加しました。名古屋中央郵便局前（名古屋市中村区）では、支援団体らがストライキ突入集会を開き、25人が26春闘勝利と大幅賃上げへ連帯の声をあげました。

ストライキに参加したのは、貯金事務センターのシニアスタッフとして働く内海美穂子さん。貯金事務センターでは新規採用が10年以上なく、高齢化で社員が減り続けていると指摘し、「少ない人数で仕事をしているのに、会社は人員過剰と判断しており、驚きとともに現場の声が届いていないことに怒りを感じる」と強調。「非正規差別をなくし、働く者が平等に幸せを感じられるよう賃金アップ、待遇改善のため最後までたたかう」と話しました。郵政ユニオン東海地本の藤井剛委員長は「非正規時給1700円以上、正社員月額3万1000円以上の引き上げ」の目標を掲げ、「物価高騰のなかで暮らしを底上げするために譲れない最低限の防衛ラインだ」と述べ、「最後まで粘り強く一歩も引かずたたかい抜く」と語りました。愛知や静岡から支援団体、政党が連帯あいさつしました。

最低賃金1800円以上
求めて街頭で訴え

愛労連

最低賃金の引き上げを求めて、県労働組合総連合（愛労連）傘下の労働組合の25人が9日夕、名古屋・名駅で街頭活動をした。チラシを配りながら、マイクを手に不安定な国際情勢に

触れ「生活を切り詰めて、やっとの暮らし」「声を上げ、大幅な引き上げを実現しよう」など訴えた。中小企業への財政支援も求めた。

2日

県内の最低賃金は昨年10月に時給1140円に引き上げられた。愛労連は、名古屋市内で20代が1人暮らしをするには最低でも時給1800円が必要だと試算。1800円以上への引き上げを求めて署名を募り、愛知地方最低賃金審議会と愛知労働局に提出するとしている。



最低賃金の引き上げを訴える愛労連の参加者ら＝名古屋・名駅で

「憲法9条守れ」1000人デモ行進 名古屋



護憲を訴えるデモ行進する参加者＝名古屋・栄で

憲法9条の改憲に反対し非戦を呼びかけるデモ行進が19日、名古屋・栄の久屋大通公園周辺であり、約千人が1帯を練り歩いた。県内の護憲団体や個人でつくる「憲法をくらしと政治にいかす改憲NO!あいち総がかり行動」が主

催。参加者はプラカードやのぼり旗を掲げながら「9条守れ」「武力で平和はつくれない」と声を上げ、沿道にアピールした。行進前に公園であった集会では有志がマイクを握り、母親や弁護士などさまざまな立場から平和への思

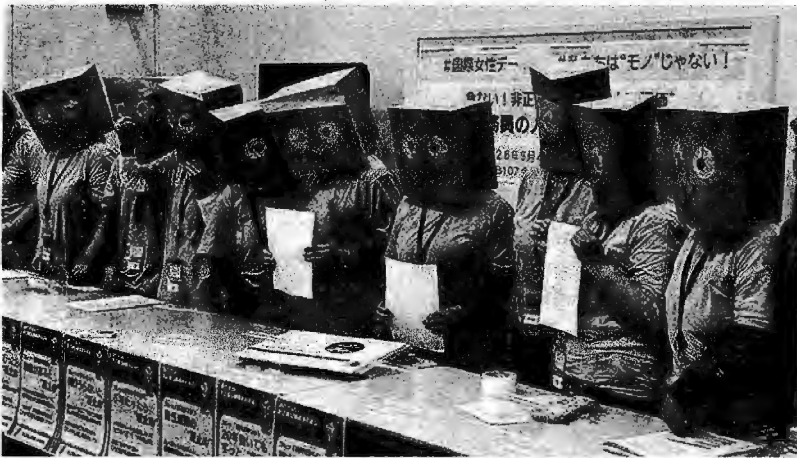
いを訴えた。

（山岸弓華）

不当な評価

妊娠報告、雇い止め

単年契約公務員は叫ぶ



紙袋をかぶり会計年度任用職員や非正規の国家公務員の実情を訴えた女性たち＝国会内で

地方自治体の非正規公務員の9割を占め、原則1年度ごとに雇用契約する「会計年度任用職員」。労働組合での活動などを理由に不当に低い人事評価を受けたり、年度替わりを前に妊娠を上司に告げたところ、雇い止めの通告を受けたといった悪質な事例が相次いでいる。制度の改善を求める当事者たちを取材した。

(佐藤裕介)

「組合つぶしの人事評価だと思った。怖かった」

こう打ち明けるのは、愛知県の自治体にある保育園で保育士として働く会計年度任用職員の60代女性。正規職員と比べて給与水準が低く、特別休暇なども取りにくい会計年度任用職員の待遇改善を求め、同じ立場の女性職員24人でつくる労働組合のリーダーとして、自治体側と交渉してきた。

3月26日に自身の「人事評価報告書」を受け取り、その内容に驚いた。保育業務に関する人事評価の低さが、「全体講評」の欄に書いてあったのは女性の組合活動への批判的なコメントばかり。精いつばい業務にあたっているのに「保育業務に専任していただくよ

「脅し・待遇差別やめて」

「お願いします」などとも書かれていた。「総合評価」は「求められるレベルを下回る」とされ、雇い止めとなる「d」評価の一手手前の「c」となっていた。

2007年から働き続けるが、毎年度の契約更新が必要で雇用環境は不安定だった。それでも、大好きな子どものために業務に打ち込み、評価はほぼ毎年、最高評価の「a」だった。だが、23年度にこの自治体で初の労組を結成すると、同年度以降、2年連続で「b」評価を付けられてきた。

25年度は取得可能な年休の日数について自治体側と交渉していたといい、女性は「人事評価」を利用した非正規職員への脅しや差別をやめて正当な人事評価をしてほしい」と訴える。

総務省によると、会計年度任用職員は全国に約68万人いる。自治体での窓口対応や保育、DV相談など業務は多岐にわたるが、8割近くは女性だ。毎年度の契約更新が必要なため職場での立場は弱く、突然の雇い止めやハラスメントが横行しているとの指摘がある。

3月4日には、先の女性を含む会計年度任用職員や、同じく任期が原則1年とされる非正規の国家

公務員(期間業務職員)ら計約110人が国会内の集会に参加。「身バレ」しないよう紙袋をかぶり、理不尽な制度の実情を訴えた。

中国地方の自治体で6年間、会計年度任用職員として働いてきた40代の女性は「24年秋に『25年3月に出産予定のため産休育休を取得したい』と上司に伝えたところ『3月に出産して4月に休む人は契約更新できない』と言われた」。

納得できず、自治体の総務課に確認すると、これまで大きな業務上のミスをしたこともないのに「更新できないのは勤務態度が理由」とだけ伝えられ、一転して「妊娠」ではなく「人事評価」が雇い止めの理由だと説明されたという。

和光大の竹信三恵子名誉教授(労働社会学)は「1年ごとの任用とされているため、会計年度任用職員の人事評価は人材を育成するのではなく『切る』ための制度になっている」と指摘。「人事評価に対する反論権を認めたり、詳細な評価の内容が本人に伝えられない場合、自治体に開示義務を課すといった制度の改善が必要ではないか」と話している。

ケア労働者6割 「仕事辞めたい」

看護・介護職…県医労連調査

県医療介護福祉労働組合連合会（県医労連、名古屋市中）は23日、看護師や介護職などケア労働者の約6割が「仕事を辞めたい」と答えたとの調査結果を公表した。県庁で会見した県医労連のメンバーは「人手不足と過重労働で離職が相次いでいる」と述べ、賃金引き上げなどの処遇改善を求めた。

調査は昨年12月～今年1月、県医労連に加盟する病院や介護施設など、計9カ所に所属する看護師や介護福祉士、ケアマネジャーら計1456人を対象に実施。「仕事を辞めたいと思うか」との質問に対し、回答者の64%に当たる943

人が「思う」などと答えた。

退職を考えた理由については「患者・家族からのクレーム」が最も多い24.4%（30.5%）。「人手不足で仕事がつつい」が17.6%（22%）、「賃金・一時金が少ない」が16.5%（20.6%）が続いた。会見に同席した看護師の30代女性は「業務量の多さに疲れて辞める看護師がいる」と説明。介護福祉士の50代男性は「低賃金で新人が入らない。診療報酬や介護報酬を手厚くして」と要望した。（大島宏一郎）

4月25日中日新聞



ケア労働者の処遇改善を訴える県医労連のメンバーら＝県庁で

④2 4月28日毎日新聞

看護職「辞めたい」7割超

患者らクレーム理由最多

愛知県内の医療・介護・福祉職約5000人に実施したアンケート（回答数1456人）で、「仕事を辞めたい」と答えた看護職の割合が74.4%に上った。理由は患者らからのクレームが最も多く、低賃金や人手不足を上回った。

【藤頭一郎】

アンケートは、県医療介護福祉労働組合連合会（県医労連）が春闘に合わせて毎年実施。今回は昨年末から今年1月末にかけて尋ね、県内9カ所の施設で働く看護師や介護福祉士らが回答した。

「仕事を辞めたいと思うことがありますか」との設問について、「いつも思う」と「ときどき思う」が全体で64.8%だった。看護職（614人）が約10%高かった。選択式の原因では、「カスハラ

医療・介護・福祉職5000人調査



医療や介護の現場での状況を説明する現役の看護師や介護福祉士ら＝愛知県庁で

を含む患者・家族からのクレーム」（30.5%）が最多で、「人手不足で仕事がつつい」現役の看護師や介護福祉士、ケアマネジャー（22.0%）「賃金・一時金が少ない」（20%）も参加。患者・家族と

のトラブルとして、フルネームが記された看護師の名札を勝手に写真で撮ってSNSにアップしたり、指定されたヨークルトを毎日同じ時間に食べさせるように要望されたりするケースがあったことが報告された。

医療の現場だけでなく、利用者宅で1対1で接する機会のある介護・福祉の現場でも、理不尽な要求を受けるケースがあったという。

県医労連は、実効性のあるカスハラ対策やケア労働者に対する処遇改善支援策を実施することなどを求め、県に要望書を提出した。矢野彩子書記長は他業種と比べて賃上げが遅れている点も指摘し、「離職の歯止めをかけるためにも大幅な賃上げとハラスメントをなくすことが必要だ」と話していた。

非核岐路 直視を

NPT会議開幕

【ニューヨーク＝共同】核拡散防止条約(NPT)再検討会議が27日午前(日本時間27日深夜)、ニューヨークの国連本部で開幕した。核保有国が軍拡に動く中、「核なき世界」に向けた軍縮・不拡散の礎石であるNPT体制の維持、再建を目指す。保有国を含め、加盟国が協調できるかどうかが問われる重大な岐路となる。被爆者や被爆地の首長らも参加し、核廃絶を訴える。●関連⑥面



米ニューヨークの国連本部前をデモ行進する被爆者ら(26日(時事))

【ニューヨーク＝時事】NPT再検討会議開幕を翌日に控えた26日、訪米した被爆者や関係者が核兵器廃絶を訴えるデモ行進を行った。主催者によると200人以上が参加し、「ノーモア・ヒロシマ、ナガサキ」の声を上げてニューヨーク市中心部マンハッタンを国連本部に向けて約1キロ練り歩いた。

出発前の集会でスピーチした被団協の浜住治郎事務局長は「原爆投下による地獄の体験を子や孫、世界の人々に絶対に味わわせてはならない」と強調。今回の会議は「条約の在り方が問われる分岐点になる」との見

被爆者 NYで訴え

方も示した。

長崎県から参加した高校生平和大使の才津結愛さんも英語でスピーチ。「被爆者の方と過ごせる時間は限られている。思いを受け継ぐ一人に加わってほしい」と呼び掛けた。

米平和団体が主催し、韓国の被爆2世なども集会に参加した。

大阪府から行進に加わった山下しのぶさん(83)は2歳の時に広島で被爆。「NPTの価値がだんだん薄れてきていると感じる。もう少し元気になって、核廃絶に向けてちゃんと動いてほしい」と思いを語った。

国連のグテレス事務総長が冒頭で演説。核弾頭の増加や核保有論の台頭に危機感を示し「条約に再び生命を吹き込む必要がある」と述べ、核廃絶に向けた各国の結束を呼びかけた。続く

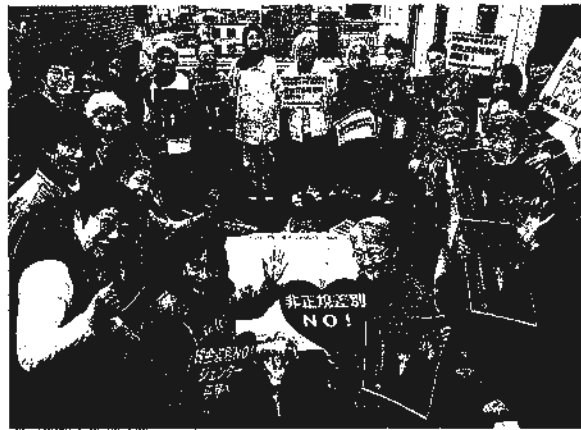
5月1日の非政府組織(NGO)セッションでは、日本原水爆被害者団体協議会(被団協)事務局長で胎内被爆者の浜住治郎さん(80)や広島、長崎の首長らが演説し、核廃絶を各国に求める。

会議は5月22日まで約4週間。原則5年に1度開かれ、過去2回続けて最終文書採択できなかった。3回連続の決裂となれば条約の信頼性が失われかねず、今回は何らかの形で成果文書採択することが期待される。

て各国代表による一般討論演説が30日まで行われる。日本を含む非核保有12カ国でつくる「軍縮・不拡散イニシアチブ(NPDI)」は、核保有国に対し核削減への具体的措置を求める合意文書案を提出している。

「女性の休日」職場でアピール

全労連女性部 各地で創意工夫



「女性の休日」アクションでジェンダー平等を訴えた愛労連や女性団体の人たち＝名古屋市

アクションのモデルは51年前のアイスランドで9割の女性が参加した同名のストライキ。同国がジェンダー平等先進国へ進む契機となった取り組みです。日本ではアクション実行委員会が3月6～8日の国際女性デーまで全国一斉アクションを呼びかけ、300カ所以上で展開されました。

「女性は集まることがたかい」と、全労連女性部は各労組にボトムアップの取り組みを提起。本部の女性役員はこの日、全員が事務所での仕事を休み、国際水準から遅れる働き方や生活環境を考える機会を率先してつくりました。

男女賃金格差がワースト2位の愛知県では、愛労連も参加する実行委員会が映画試写会や元NHK解説委員の山本恵子さんの講演などを開催し、300人以上が参加。交流も盛り上がり「アイスランドも以前は日本と同じ状態だったことに驚いた。日本も運動を変えていかなければ」などの感想が寄せられました。愛労連女性協議会の担当者には、「職場や家庭でモヤモヤを抱えていた女性たちがつながり『声を上げてもいい』と感じられる場をつくれて良かった。女性たちの連帯の輪を今後の運動の力にしたい」と話します。

きょう5月1日はメーデーです。今年、賃金格差や家事労働の負担を強いられ、睡眠時間を削って働く

日本の女性たちのジェンダー平等を求める闘いが大きく広がりました。仕事や家事、育児を一齐に休む「女性の休日」アクションです。全労連女性部はアクションに賛同し、春闘方針を決める集会で各職場・組織での取り組みを呼びかけ、行動への参加を広げました。

香川県の職場では、事務用品や室名札など目につく場所に「女性の休日」ステッカーが貼られました。記された文字は「誰のためでもない自分だけの1日」。

東京都内の職場では「休めなくてもせめて定時退社に」と、「本日、定時で失礼します」の卓上カードを作成しアピールしました。

全国各地で地域の女性団体と連携した映画上映会やトークショー、「おさんぽデモ」など楽しみを交えた取り組みが行われました。

労働条件改善へ宣言採択

名古屋 愛労連などメーデー催し



県労働組合総連合（愛労連）などの実行委員会による県中央メーデーが1日、名古屋・栄のヒサヤオオドリパークであった。最低賃金の引き上げといった労働条件の改善を求める宣言を採択した。

労働組合など250団体の約800人（主催者発表）が参加した。実行委員長は西尾美沙子・愛労連議長は「人間らしく暮らすには時給1800円以上が必要。軍事費を削り（介護福祉の）ケア労働者の賃上げ、中小企業支援を実現しよう」と呼びかけた。参加者は軽快な音楽に合わせてシユプレヒコールを上げ、核兵器廃絶や男女の賃金格差是正なども訴えた。

この日は県内5カ所でも地域メーデーがあり、主催者発表で計千人が参加した。（川添智史）

愛労連青年協が企画

愛労連（愛知県労働組合総連合）青年協議会は10日、愛知県南知多町の海岸で「新歓地引き網ツアー」を開催しました。保育、医療、工場などで働く労働者やその家族・友人など44人が参加。青空のもと、力を合わせて網を引き上げるとたくさんの魚がかかり歓声が沸きました。

網を引き上げた後、参加者は隣接するバーベキュー場で取った魚を食べながら歓談し交流を深めました。

初めての地引き網に「思っていたより網が重かった」と笑顔で語る、福祉保育所所属の保育士、服部瑠生（たまき）さん（25）は「同じ職種の人との関わりだけでと低賃金も当たり前と感じてしまうけれど、い

組合交流
刺激たっぷり



ろいろな職種の人が集うこのような場所では、保育士の賃金がいかに安い実感できる」と言います。

全医労所属の看護師、茅野公恵さん（34）は勤務先の人手不足を訴えます。「要求してもなかなか人が増えないが、組合で声をあげないとさらに苦しくなっていくから活動を続けたい」

福祉保育所に所属する保育士の四宮末南美さん（34）

は、若者が組合に加入しないことに悩んでいます。「組合で活動し話し合うことで刺激や学びがあります。今回のような楽しい企画に『一緒に行こう』と誘うところから始めたい」と語りました。

澁谷成美・青年協議会議長は、「これからもさまざまな企画でつながりをつくり、仲間を増やすことを大事にしたい」と話しました。

④7 6月9日しんぶん赤旗

核廃絶訴え14コース1500人

名古屋市内で集結集会



原水爆禁止平和大行進
(東京―広島コース)は7
日、名古屋市内で集中行進
とピースアクション(集結
集会)をしました。雨が降
るなか、全体で1500人
が14コースを行進し、集結
会場をめざして元気に歩き
ました。



雨のなか行進し、平和への
思いをアピールする人
たち＝7日、名古屋市

平和行進に初めて参加し
た会社員(32)は、「自分
が力になるかわからないけ
ど、やらなかったことで後
悔したくない」と語り、「こ
れまでの常識では考えられ
ないような法律が次つぎつ

くられている。いまの自分
にできることをやっていた
い」と話しました。

集会で、愛知県原水爆被
災者の会(愛友会)事務局
長の大村義則さんは、5月
に米ニューヨークの国連本
部で開かれたNPT(核不
拡散条約)再検討会議で、
核軍縮に向けた最終文書が
不採択になったと述べ、「圧
倒的多数の賛成があつた
が、核に固執するわずかな
国によつて合意できず、被
爆国の日本政府も役割を果
たしていない。反対したア
メリカでも市民が立ち上が
っている。国際的な連帯を
強めていこう」と呼びかけ
ました。全国通し行進者の
三浦コト子さん、尾崎庸美
さん、県内通し行進者らが

決意表明しました。

2026年6月16日



愛労連などが今春に県内の全自治体を対象に実施したアンケートによると、各学校に常勤の学校司書を置いている自治体は56%で、およそ半数の自治体で配置されていない。配置する自治体

小中学校と特支校に常勤の学校司書を 愛労連、県に求める
「学校図書館の日」の11日に合わせ、県労働組合総連合（愛労連）が名古屋市熱田区の労働会館で会見し、県内の小中学校と特別支援学校に常勤の学校司書を配置するよう県に求めた

写真

自治体のうち、76%で学校司書が複数校を兼任し、日によって学校にいない状態であることも分かった。

愛労連側は会見で「子どもたちの読書と教育に地域間格差が生まれている」と指摘。学校司書の多くが非常勤の会計年度任用職員で不安定な雇用環境にあるこ

とや、専門職であるにも関わらず約半数が課税の控除額を考慮し、年収103万円以内に抑える働き方をしていることを問題視した。

県内で勤務する学校司書2人も会見に出席。三つの小中学校で兼任する女性は「子どもに身近なはずの図書館が居場所になり得ず、

学校ごとに受けられる支援に差が生まれてしまう。安心して仕事を続け、学校図書館を学びの中心にした」と訴えた。

この日、愛労連は大村秀章知事と副知事・教育長に対し、全ての学校に学校司書を配置するよう緊急要請書を提出した。（田川 聖実）

学校司書は専任に

愛労連会見 現役職員ら実態報告



要請書を手渡す西尾美沙子・愛労連議長（手前右）＝11日、愛知県庁

愛労連 愛知県労働組合総連合は「学校図書館の日」の11日、「子どもたちに専任の学校司書を」と求める記者会見を開きました。現役の学校司書らが参加し、現場の実態について報告しました。

自治労連本部の松井克徳氏は、県内の自治体に行ったアンケートで、県内54市町村のうち公立小中学校の図書館に司書を配置していない自治体が24カ所もあることが判明したと報告。司書を置く自治体でも8割近くが複数校を兼務させていることを告げました。

さらに、司書を置く自治体の8割以上で学校司書の要件に満たない週平均20時間以内に制限しているとして、「専門的な仕事をしていける人をいかに安く使うかを追求した結果に見える」と指摘しました。

小中学校3校を掛け持ちする現役司書は、司書の仕事について、蔵書の手入れや本のレファレンスなどをあげ、学校図書館が子どもの居場所として機能していることも説明。「現状では子どもたちと継続的にかわる時間も、教員と連携して授業支援を行う時間も十分に確保できません」と訴えました。

会見後、参加者は県庁を訪れ、学校司書をすべての学校図書館に配置することや、「1校1名」で専任（フルタイム）を原則とする正規職員として配置することなどを市町村に働きかけるよう求める要請を行いました。

2026年6月18日

1人暮らしの若者 最低生計費 月28万円 愛労連試算「最低賃金引き上げを」



最低賃金の引き上げなどを求める愛労連の関係者ら＝県庁で

県労働組合総連合（愛労連）は26日、1人暮らしの若者が自立して暮らすための「最低生計費」として、月28万円が必要になるとの試算を発表した。2015年の調査結果を基に物価動向や若者の生活実態を反映して改定した。月150時間働く場合、時給が1800円台になるとし、最低賃金の引き上げを訴えた。

改定した生計費は26年4月時点で、名古屋市中川区の賃貸住宅で暮らす25歳の若者をモデルとした。食費や住居費、光熱・水道費だけでなく、家事用品や娯楽、社会保険といった費用を含む。

15年は国の統計調査や愛労連の独自調査から月22万7千円と試算。今回、若者の意見や名古屋市消費者物価指数を踏まえて見直したところ、11年間で約24%増えた。静岡県立大短期大学部の中沢秀一准教授が監修し、愛知東邦大元教授の浅生卯一さんが協力した。

県内の最低賃金は昨年10月に1140円に引き上げられた。ただ月150時間の勤務では月収17万1千円となり、愛労連の試算を11万円ほど下回る。竹内創事務局長は県庁で開いた会見

で「最低賃金は働く人が心も体も健やかに生活し、働き続けられる賃金でなければいけない。生計費は最低賃金審議の一丁目一番地だと思っている」と述べた。

（鈴木啓太）

知事の日

27日▽午後1時5分 モリコロパークで大規模噴水に出席▽1時30分 ジブリパークを視察（以上長久手市）▽3時55分 斎藤吾朗夏のアトリエ展を視察（西尾市）

28日▽午前9時 わんぱく相撲愛知ブロック大会に出席（西尾市）▽9時35分 県大東宝音楽祭に出席（安城市）▽11時15分 カナダデーパーティーに出席（春日井市）▽午後1時半 あいち山車まつりの日本一協議会理事会・総会に出席▽2時55分 「かがやけあいちサステイナブル研究所」開所式に出席

29日▽午前8時45分 各局との打ち合わせ▽9時30分 東宮広対▽10時10分 天野小牧市長、久保田岩倉市長から都市計画道路「宮日井崎の早期事業化に関する要望書」を受領▽11時 東レ新研究所「マテリアルイノベーションセンター」開所式に出席▽午後1時20分 各局との打ち合わせ▽1時5分 議会関係打ち合わせ▽1時40分 議会関係打ち合わせ▽2時 議会関係打ち合わせ▽2時10分 県市長会・加藤会長（南沢市長）、太田副会長（北名古屋市長）、小山副会長（みよし市長）が来訪▽2時半 令和8年度6月補正予算（追加発表）について臨時記者会見▽3時5分 名古屋高速道路公社運営会議に出席▽4時20分 一般国道301号道路整備促進期成同盟会の太田会長（豊田市長）、下江副会長（新城市長）から要望書を受領▽5時 マンション管理業協会中部支部懇親会に出席▽5時35分 各局との打ち合わせ

愛知県最低生計費試算調査結果 2026年改定

時給 1889円、月 28万円

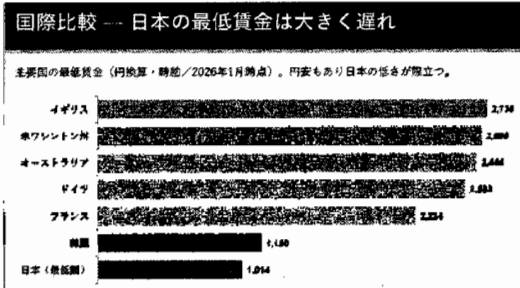
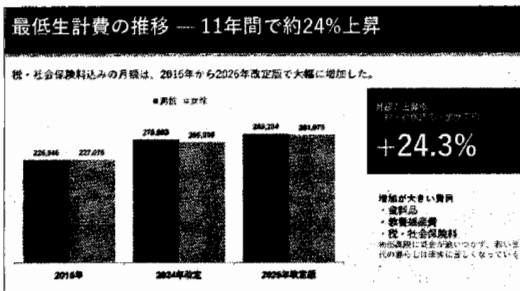
若者が未来描ける最低賃金を



愛労連は6月26日、最低生計費試算を2026年改定、いますぐ最低賃金を時給1800円への引き上げを求める1万2442人分の署名提出と県最低賃金審議会での同試算活用を厚労省愛知労働局に申し入れ、県庁で会見しました。

愛労連 労働局申入れ、県庁会見発表

県政記者クラブで最賃資料を説明する竹内創愛労連事務局長と同役員など＝6月26日、愛知県庁



低い日本

日本の最低賃金は非常に低く、欧米の半額、隣の韓国に抜かれました(左下グラフ)。この現状を打開するためには、最賃の大幅な引き上げが必要です。

愛労連(愛知県労働組合総連合)は6月26日、愛知の最低生計費の試算を最新に改定。その結果、時給で1889円、月額で約28万円が必要だと明らかにしました。

最低生計費
同試算は、住居費、食費、光熱費、税と社会保障料等々を細かく積みあげたもの。その考え方は、愛知県で25歳の単身者が「健康で文化的な最低限の生活を送るために、いくらか必要なのか。生命を維持するだけのぎりぎりの生活でも極端な節約を前提にした生活」の署名を提出。時給労働者の生活実態を直接

愛労連は5日に、大村秀章県知事に「国や地方の最賃審議会任せにせず引き上げに前向きな意見表明」と「中小企業・小規模事業者への県独自の支援策」を要請しています。

同26日午前、愛知労働局と愛知地方最低賃金審議会に、愛知県の最低賃金を1800円以上に引き上げる要請書と1万2442人の署名を提出。時給労働者の生活実態を直接

愛知労働局へ 署名12,442人

説明する意見陳述の機会も強く要求しました(37道府県が実施)。

午後、県庁で記者会見。最低生計費の試算と結果について説明

し、最賃をいますぐ1800円以上に引き上げるよう強く求めると表明しました。

2015年との比較で最低生計費は、24・3%も大幅に上昇(左上グラフ)。増加が大きい費用は食料品、税と社会保障料など。物価高騰に賃金が追いつかない上に公的負担がのしかかっています。

愛知労働局に申し入れる西尾美沙子愛労連議長と同役員たち＝6月26日、名古屋